

# 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事

## 実施設計図

令和7年3月

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部



図面目録

図面番号	名 称	縮尺(A1)	備 考
01	図面目録・位置図	NO SCALE	
02	計画平面図	1:400	
03～04	園路標準断面図	1:10	
05	撤去平面図（施設構造物）	1:400	
06～07	撤去拡大平面図（施設構造物）	1:150	
08	撤去平面図（伐採樹木）	1:400	
09～11	撤去拡大平面図（伐採樹木）	1:150	
12～13	現況樹木一覧表	NO SCALE	
14	割付平面図	1:400	
15～17	割付拡大平面図	1:150	
18	造成平面図	1:400	
19～21	造成拡大平面図	1:150	
22～32	造成断面図（１）～（11）	1:50	
33	給水設備平面図	1:300	
34	雨水排水設備平面図	1:300	
35	電気設備平面図	1:300	
36	電気設備拡大平面図	1:150	
37	舗装平面図	1:400	
38～40	舗装拡大平面図	1:150	
41	施設平面図（１）	1:400	
42～44	施設拡大平面図（１）	1:150	
45	施設平面図（２）	1:400	
46～48	施設拡大平面図（２）	1:150	
49	植栽平面図（単木）	1:400	
50～52	植栽拡大平面図（単木）	1:100	
53	植栽平面図（寄植え）	1:400	
54～55	植栽拡大平面図（寄植え）	1:100	
56	詳細図（１）	図 示	撤去工（ガードレール、道路標識、コンクリート構造物）
57～68	詳細図（２）～（３）	図 示	法面工（ブロック土留め）
59～61	詳細図（４）～（６）	図 示	法面工（木製杭土留め）
62	詳細図（７）	図 示	法面工（菱形金網土留め）/擁壁工（丸太土留め）/発生材再利用工（パイルスト、インセトリル）
63	詳細図（８）	図 示	植栽工（植穴改良、樹木支柱、マルチング、クレマチス支柱）
64	詳細図（９）	図 示	雨水排水設備工（砕石側溝、放流管、集水樹）/給水設備工（散水栓、不凍水抜栓、給水管）
65	詳細図（10）	図 示	電気設備工（電線管）
66	詳細図（11）	図 示	園路広場整備工（アスファルト舗装、土舗装、木チップ敷き、緑石）
67	詳細図（12）	図 示	園路広場整備工（土居木階段）/区画線工（白線）
68	詳細図（13）	図 示	修景施設整備工（花活け）
69	詳細図（14）	図 示	エントランス拡大図（１）
70	詳細図（15）	図 示	エントランス拡大図（２）
71	詳細図（16）	図 示	エントランス拡大図（３）
72～73	詳細図（17）～（18）	図 示	修景施設整備工（レリカウォール）
74	詳細図（19）	図 示	サービス施設整備工（カウンター手すり、展望テラスベンチ）
75	詳細図（20）	図 示	サービス施設整備工（参拝広場ベンチ）
76	詳細図（21）	図 示	管理施設整備工（門扉、アルミ製フェンス）
77	詳細図（22）	図 示	管理施設整備工（獣害対策フェンス、ロープ柵）
78	詳細図（23）	図 示	管理施設整備工（ガードレール）
79	詳細図（24）	図 示	管理施設整備工（入口案内サイン、サイン板）

合計 79枚

位置図



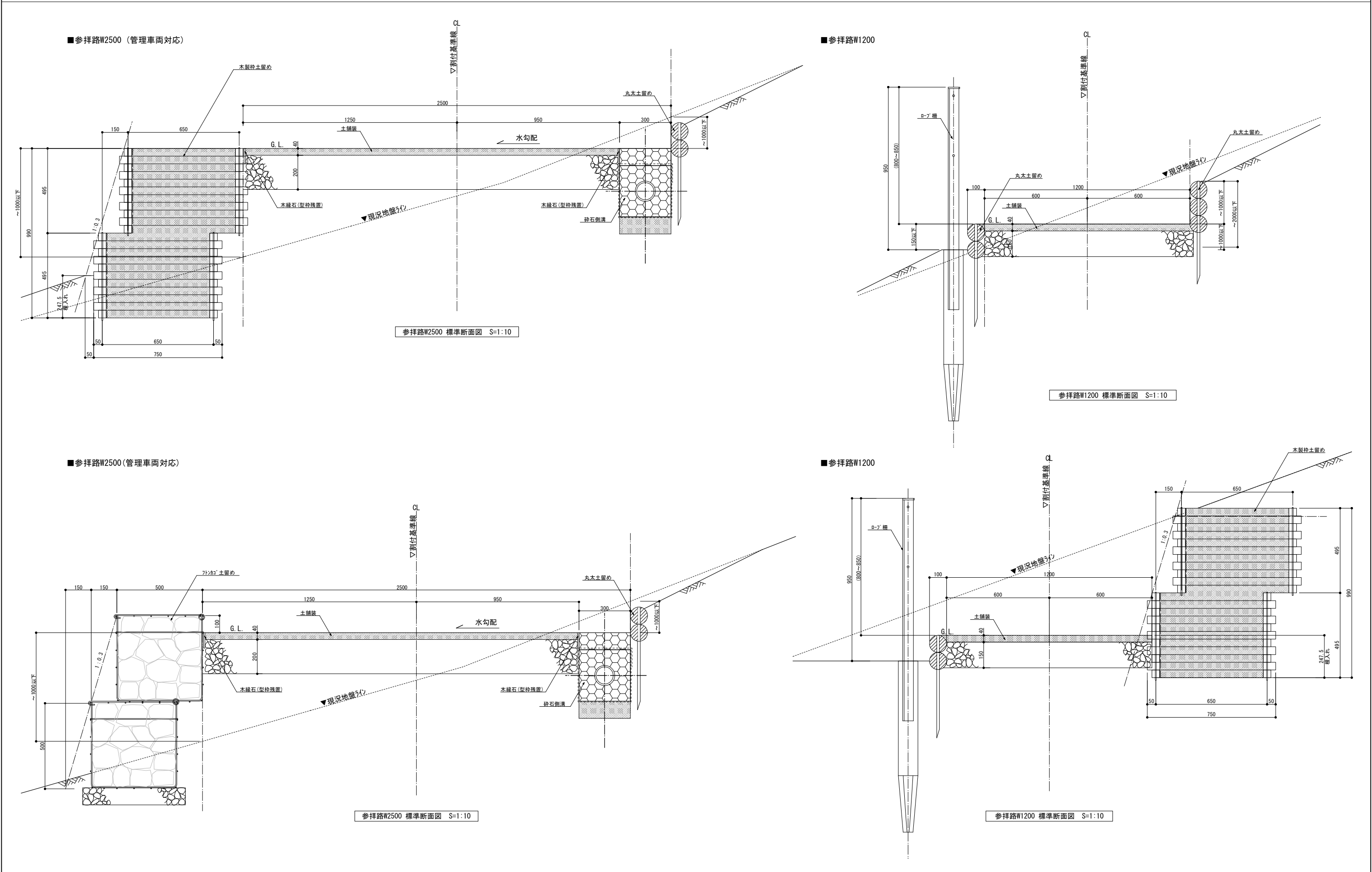
※この地図は、国土交通省 国土地理院 地図閲覧サービスの画像を使用したものである。



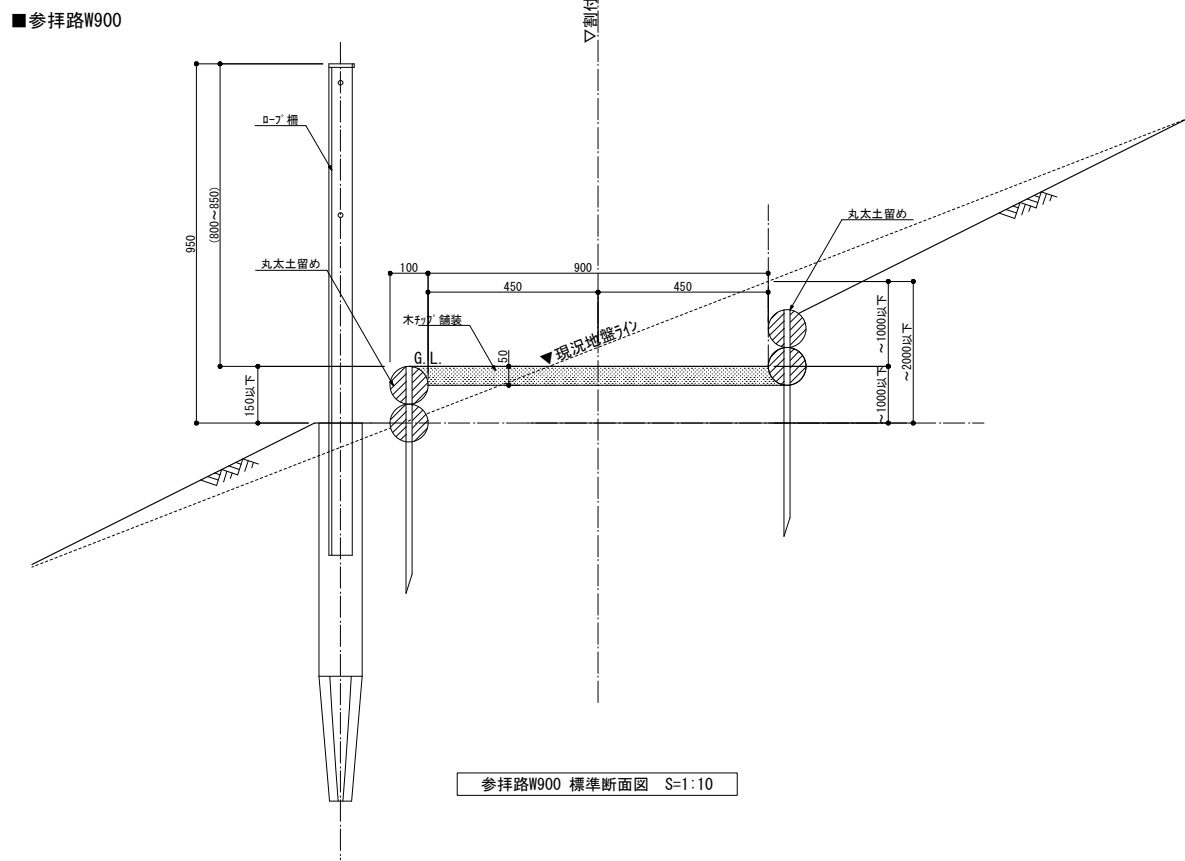
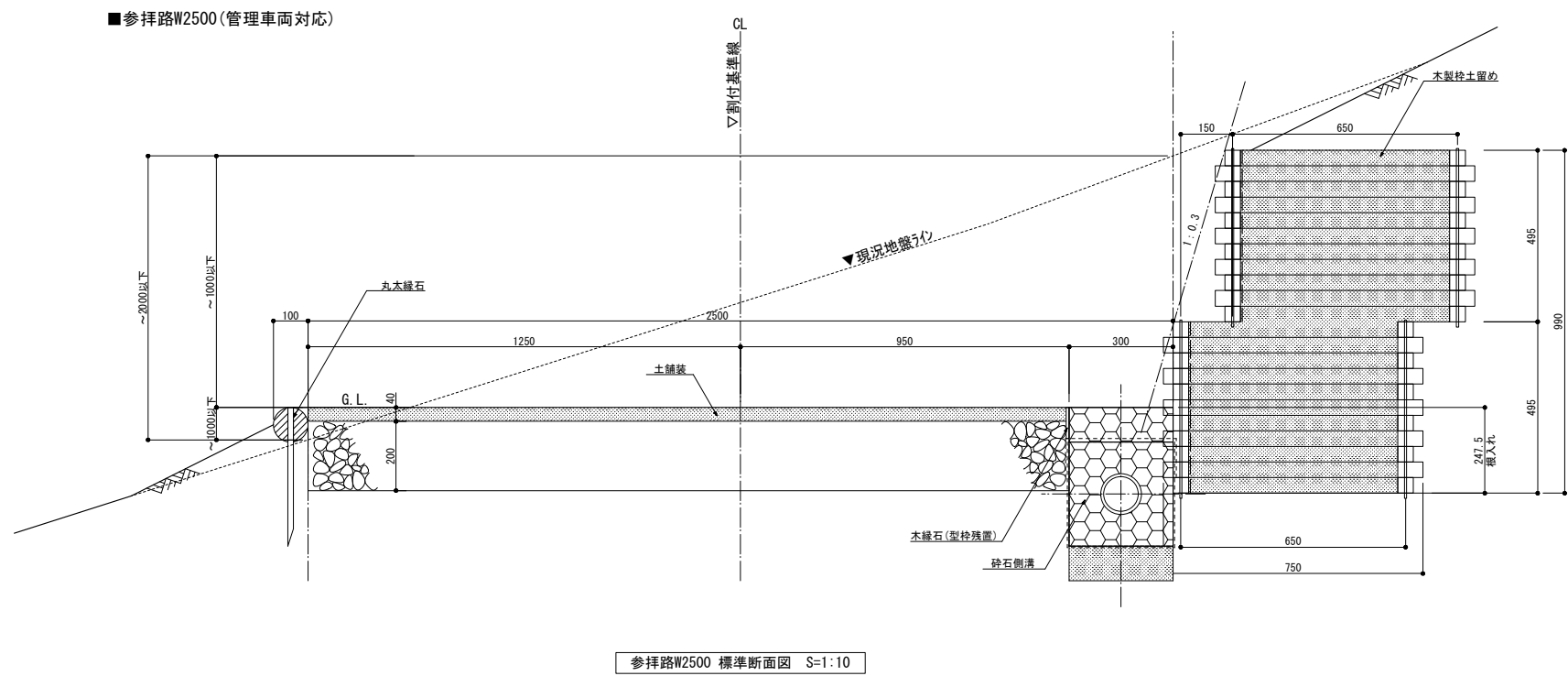


		公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部	縮尺	工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（１２区エリア）整備工事	No. 2 / 79
			A1:S=1/400, A3:S=1/800		
			設計	図面名称 計画平面図	
			令和 7 年    3 月		

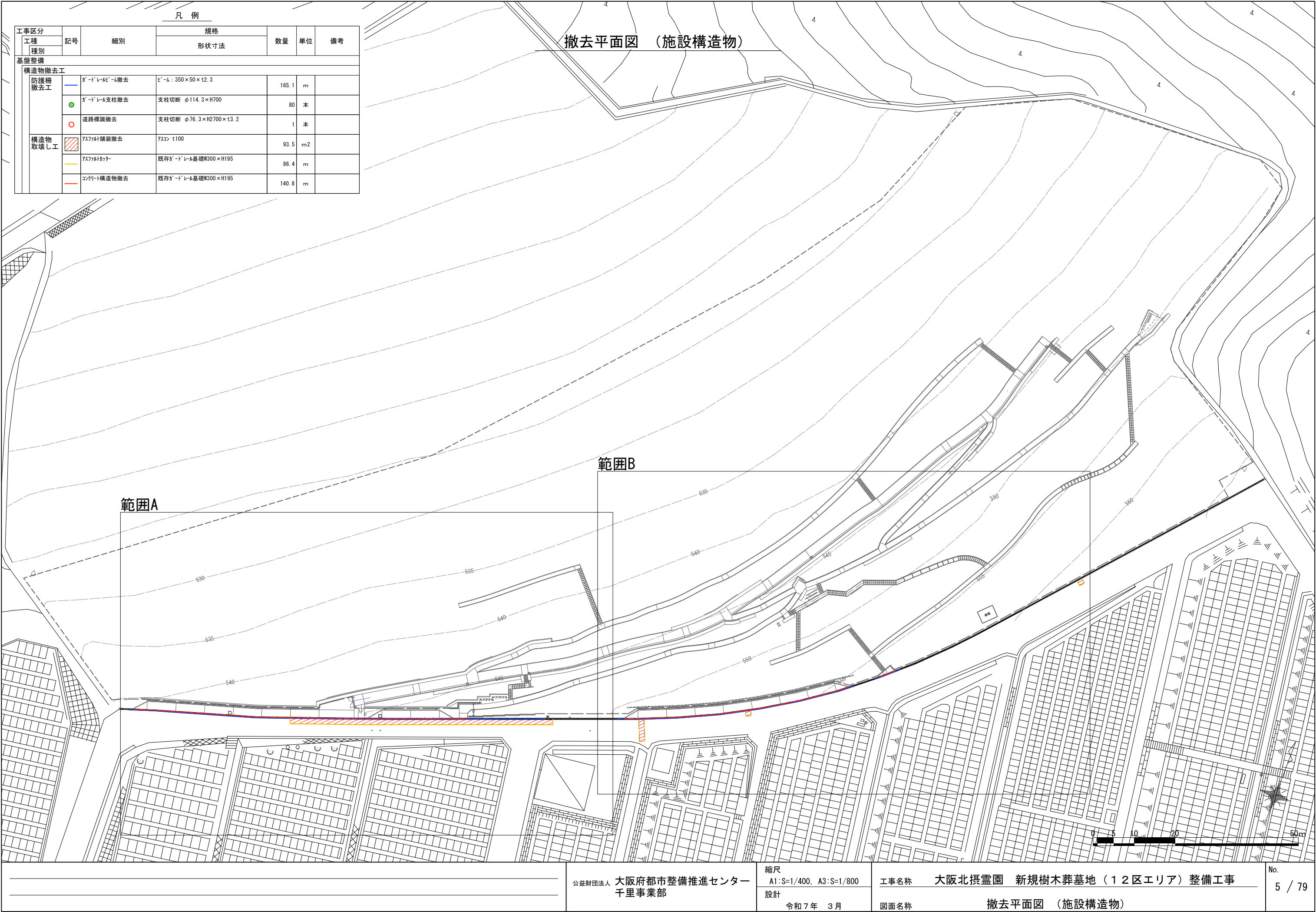














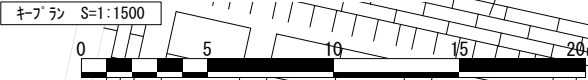
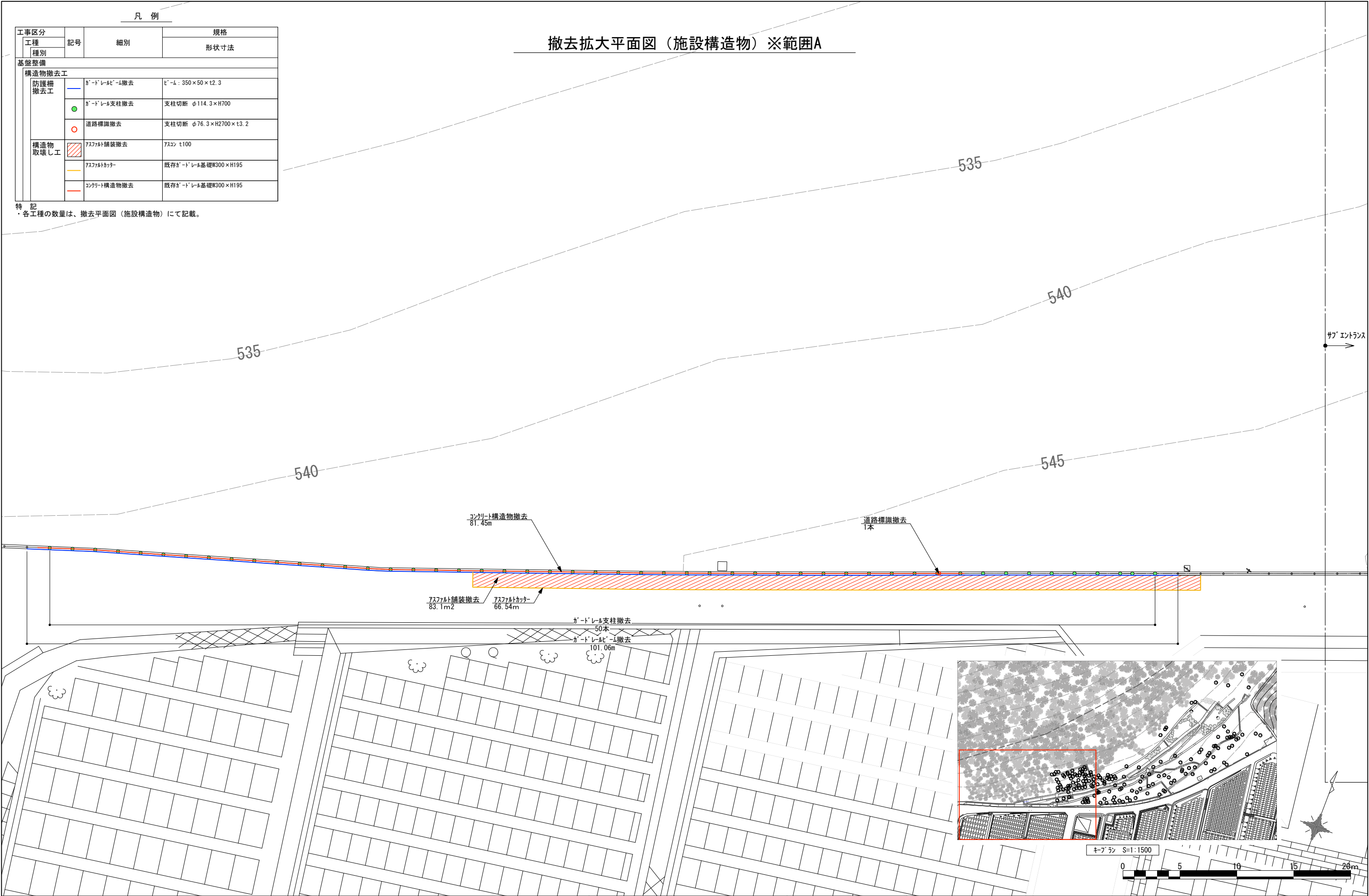










凡 例				
工事区分		記号	細別	規格
工種	種別			形状寸法
基盤整備				
構造物撤去工				
防護柵撤去工		ガードレール撤去	幅員：350×50×t2.3	
		ガードレール支柱撤去	支柱切断 φ114.3×H700	
		道路標識撤去	支柱切断 φ76.3×H2700×t3.2	
構造物取壊し工		アスファルト舗装撤去	アスコン t100	
		アスファルトカッター	既存ガードレール基礎W300×H195	
		コンクリート構造物撤去	既存ガードレール基礎W300×H195	

特 記  
・各工種の数量は、撤去平面図（施設構造物）にて記載。

撤去拡大平面図（施設構造物）※範囲A

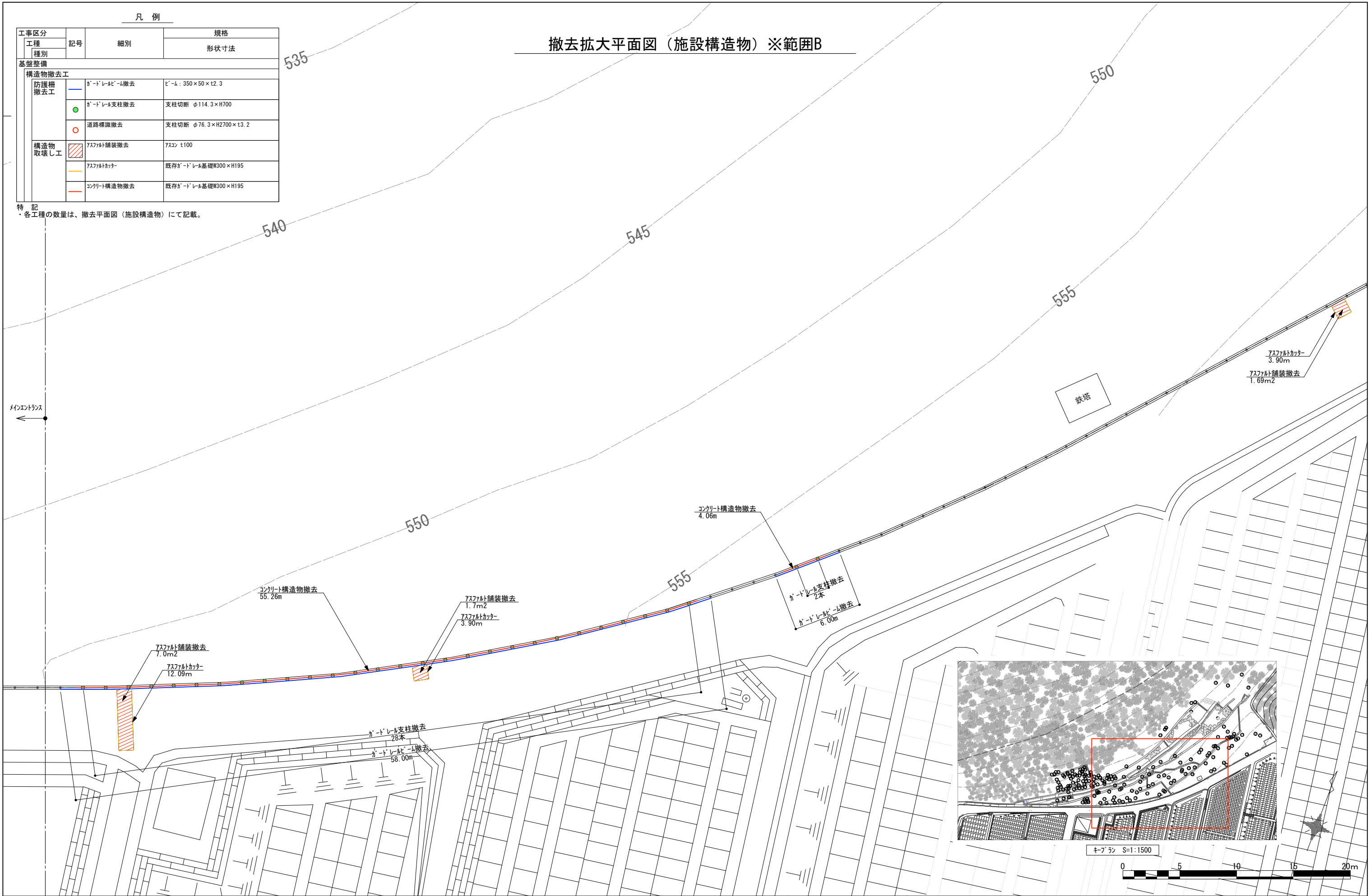


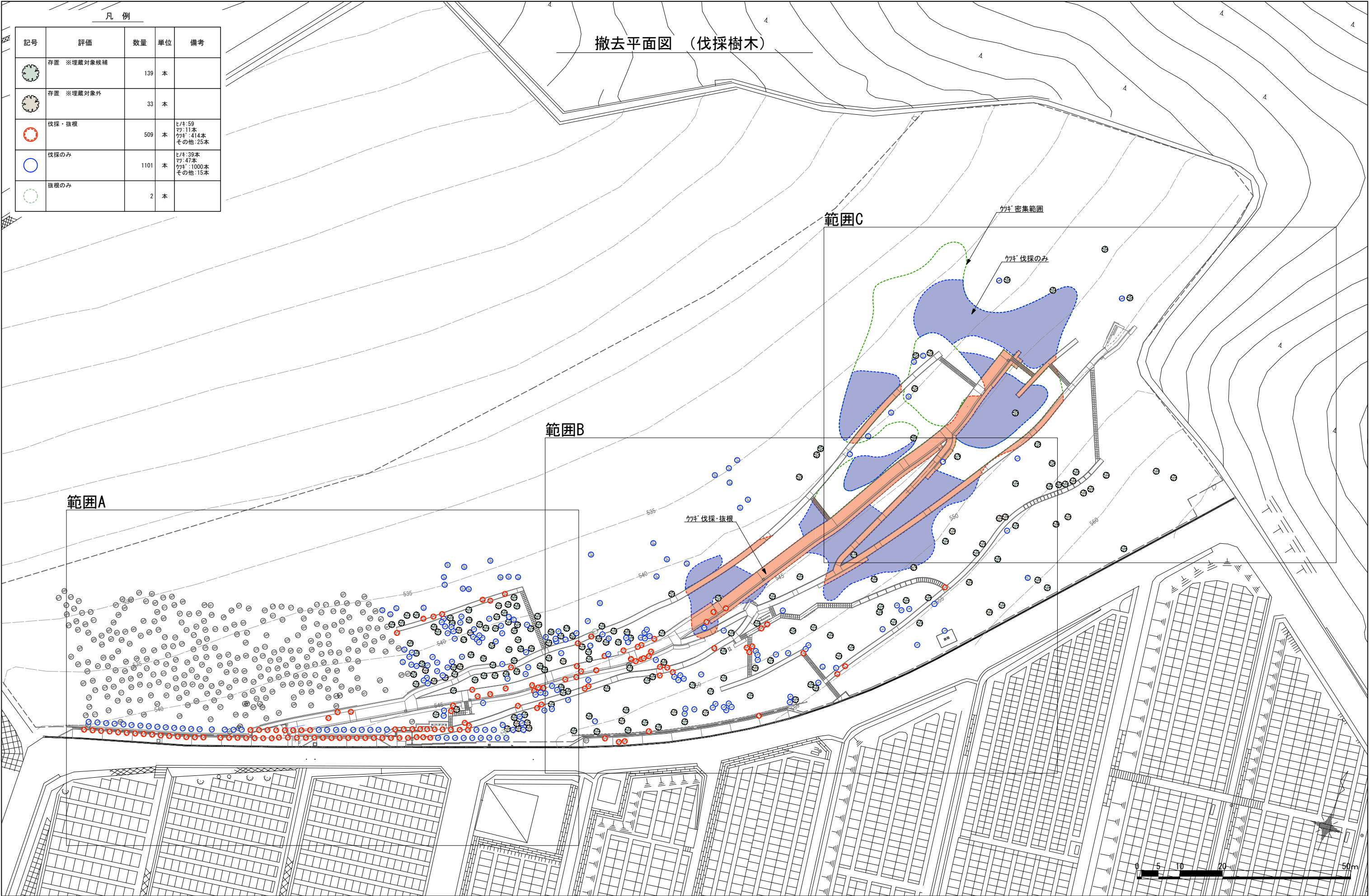


凡 例				
工事区分		記号	細別	規格
工種				形状寸法
種別				
基盤整備				
構造物撤去工				
防護柵撤去工			ガードレールビーム撤去	ビーム：350×50×t2.3
			ガードレール支柱撤去	支柱切断 φ114.3×H700
			道路標識撤去	支柱切断 φ76.3×H2700×t3.2
構造物取壊し工			アスファルト舗装撤去	アスコン t100
			アスファルトカッター	既存ガードレール基礎W300×H195
			コンクリート構造物撤去	既存ガードレール基礎W300×H195

特 記  
・各工程の数量は、撤去平面図（施設構造物）にて記載。

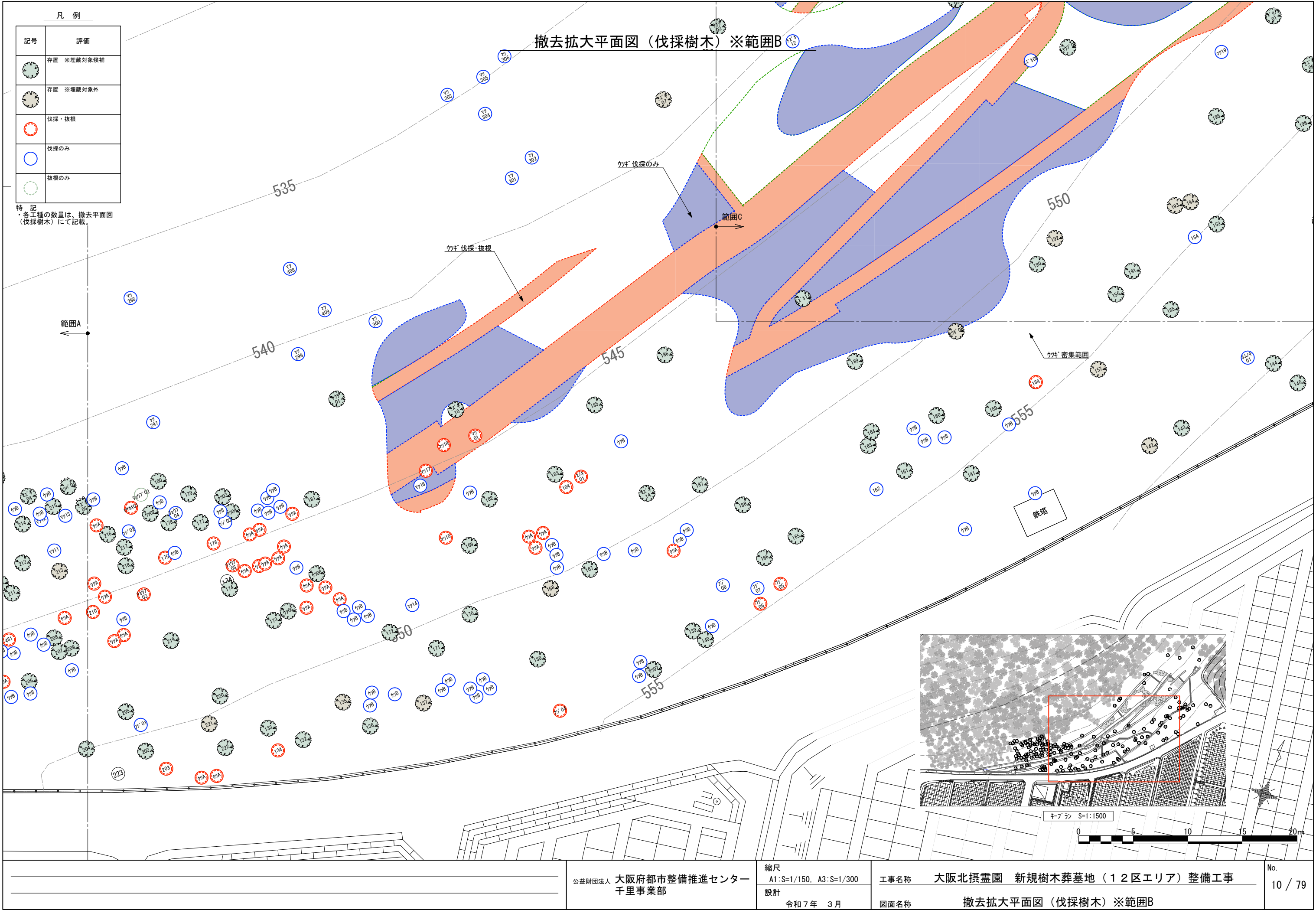
撤去拡大平面図（施設構造物）※範囲B



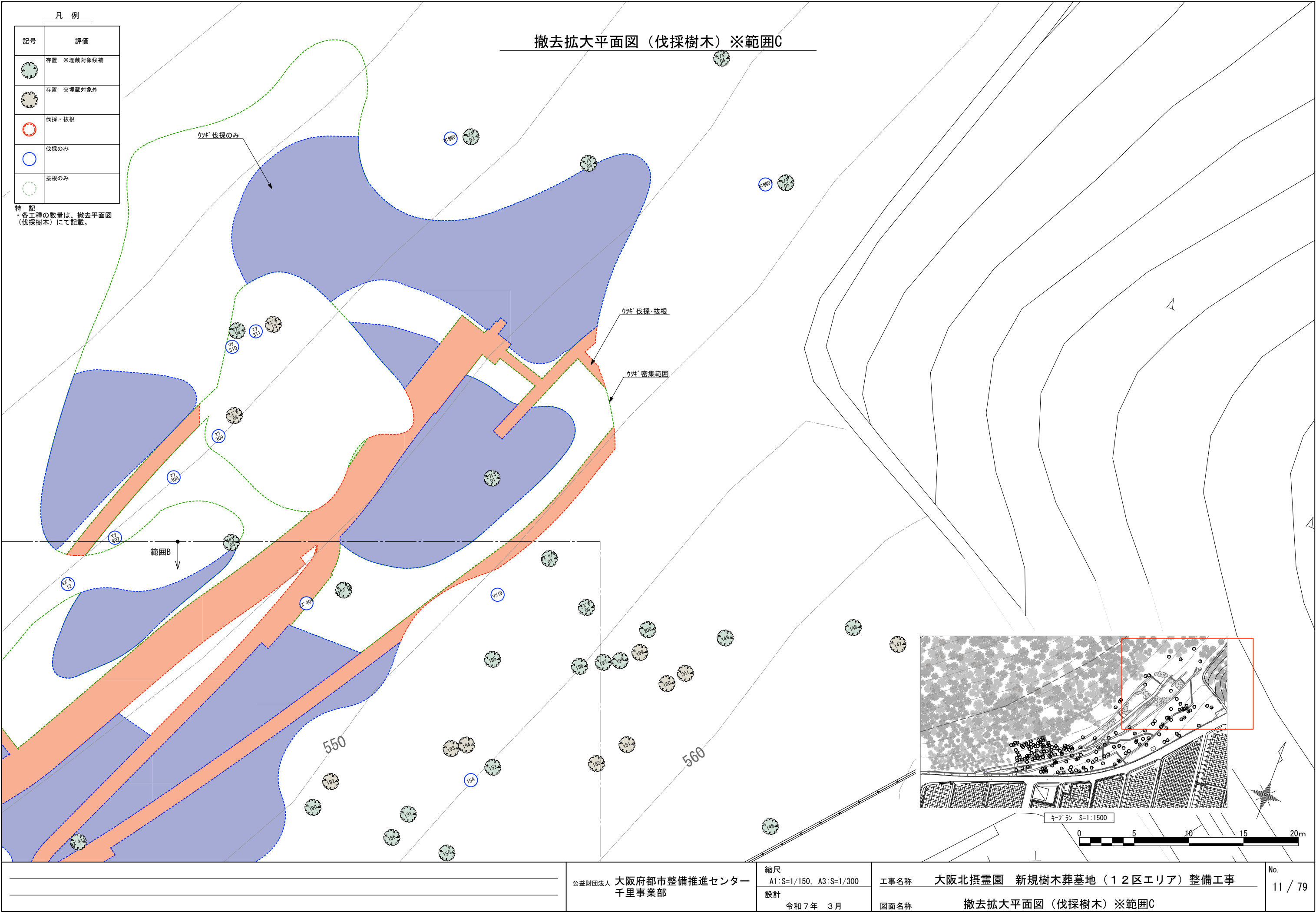












■現況樹木一覧表

番号	樹木名	H	C	W	樹勢	備考	評価
132	ヤマザクラ	10	0.95		◎		存置
133	ミズキ	8	0.42		◎		存置
134	ミズキ	6	0.28		◎		伐採・抜根
135	マユミ	2	0.21		○	株立	存置
136	エゴノキ	3	0.4		◎	株立	存置
137	クサギ	4	0.23		○		存置
138	ミズキ	6	1.28		◎		存置
139	ヤマザクラ	8	1.26		◎		存置
140	ミズキ	8	1.37		◎	要剪定	存置
141	エノキ	8	1.65		◎	根張り大きい	存置
142	マユミ	6	0.55		○		存置
143	エノキ	10	1.2		◎		存置
144	エノキ	6	0.51		◎		存置
145	ナンキンハゼ	2	0.24		◎	株立	存置
146	ナンキンハゼ	5	0.83		◎		存置
147	マユミ	2	0.6		◎	ナニバーテブ なし	存置
148	ミズキ	12	1.17		◎		存置
149	ミズキ	10	1.16		◎		存置
150	マユミ	3	0.25		○		存置
151	リョウブ	2	0.3		○		存置
152	マユミ	2	0.25		○		存置
153	エゴノキ	4	0.67		◎		存置
154	エゴノキ	3	0.54		×		伐採のみ
155	ヤマザクラ	10	1.36		◎		存置
156	エゴノキ	5	0.7		◎		存置
157	ネムノキ	12	1.3		○	株立 要剪定	存置
158	イボタノキ	2	0.33		○		伐採・抜根
159	クリ	5	0.49		◎		存置
160	ミズキ	8	0.8		◎		存置
161	ミズキ	8	0.67		◎		存置
162	ミズキ	6	0.39		×		伐採のみ
163	エノキ	8	0.57		◎		存置
164	ヤマザクラ	10	1.2		◎		存置
165	ヤマザクラ	10	1.17		◎		存置
166	ミズキ	10	1.5		◎		存置
167	クスギ	8	0.59		◎		存置
168	マユミ	4	0.53		○	株立	存置
169	ミズキ	10	1.33		◎	株立	存置
170	ナンキンハゼ	5	0.26		◎		存置
171	リョウブ	5	0.3		◎		存置
172	ウリハダカエデ	6	0.48		◎		存置
173	コナラ	12	1.12		◎		存置
174	カリン	10	0.92		◎	コブシの可能性あり	存置
175	リョウブ	7	0.53		×		伐採・抜根
176	リョウブ	5	0.38		◎		伐採・抜根
177	ミズキ	10	0.82		◎		存置
178	リョウブ	5	0.3		◎		存置
179	リョウブ	4	0.45		◎		存置
180	リョウブ	5	0.42		◎	株立	存置
181	ムラサキシキブ	5	0.9		◎	株立	存置
182	ミズキ	10	0.79		◎		存置
183	ヤマザクラ	8	0.69		◎		存置
184	ミズキ	3	0.31		×		伐採・抜根
185	ミズキ	10	0.52		◎		存置
186	ヤマザクラ	8	2.02		◎		存置

番号	樹木名	H	C	W	樹勢	備考	評価
187	ミズキ	8	0.6		◎	要剪定	存置
188	クロモジ	4	0.23		◎		存置
189	エノキ	3	0.32		◎		存置
190	エノキ	10	1.6		◎		存置
191	エノキ	8	0.89		◎		存置
192	エノキ	4	0.37		○		存置
193	エゴノキ	2	0.4		◎	株立	存置
194	タニウツギ	6	0.63		○	株立	存置
195	ミズキ	10	0.81		◎	株立	存置
196	ミズキ	10	0.9		◎		存置
197	ミズキ	10	0.91		◎	株立	存置
198	ミズキ	10	0.84		◎	株立	存置
199	エゴノキ	5	0.7		◎	株立	存置
200	エゴノキ	6	0.52		◎	株立	存置
201	ゴマキ	2	0.15		○		存置
202	エノキ	4	0.26		◎		存置
203	ミズキ	5	0.41		◎		伐採・抜根
204	ヤマザクラ	8	0.88		◎		存置
205	ヤマザクラ	10	0.74		◎		存置
206	ミズキ	6	0.27		◎		存置
207	ミズキ	6	0.37		◎		存置
208	リョウブ	3	0.45		◎		存置
209	ミズキ	6	0.26		◎		存置
210	ミズキ	5	0.25		◎		伐採・抜根
211	ミズキ	6	0.3		◎		存置
212	ウリハダカエデ	8	0.33		◎		存置
213	アセビ	2	0.12		○	要剪定	存置
214	ソヨゴ	6	0.75		◎	株立	存置
215	ミズキ	8	0.38		◎		存置
216	リョウブ	5	0.2		◎		存置
217	サクラ	8	0.61		◎		存置
218	カリン	8	0.78		◎	根張り大きい	存置
219	ミズキ	10	0.82		◎	根張り大きい	存置
220	サクラ	8	0.43		◎		存置
221	ミツバツツジ	3	0.63		○	株立	存置
222	ヤマザクラ	10	0.88		◎		存置
224	ムラサキシキブ	2	0.6		○	株立	存置
225	ミズキ	3	0.3		○		存置
226	ウバメガシ	4	0.31		○	群生	存置
227	ツゲ	2	0.42		◎	株立	存置
228	ミズキ	6	0.46		◎	斜面下側に根張り	存置
229	ミズキ	6	0.5		◎		存置
230	ミズキ	6	0.47		◎		伐採・抜根
232	ムラサキシキブ	2	0.12		○		存置
233	ミズキ	10	0.54		◎		存置
234	ミズキ	6	0.19		◎		伐採・抜根
235	ミズキ	8	1.22		◎		存置
236	タラ	3	0.15		○		伐採・抜根
237	ミズキ	10	0.84		△	株立	伐採・抜根
437	リョウブ	5	0.46		◎		存置
438	ミズキ	7	0.39		○		存置
439	ミズキ	7	0.37		○		存置
440	ミズキ	7	0.37		◎		存置
441	ムラサキシキブ	4	0.38		◎	株立、部分枯	存置
442	リョウブ	5	0.24		×		存置

番号	樹木名	H	C	W	樹勢	備考	評価
443	リョウブ	4	0.28		×		存置
444	ミズキ	7	0.43		◎		存置
445	ミズキ	8	0.48		◎		存置
446	ミズキ	8	0.29		◎		存置
447	ホオノキ	8	0.49		◎		存置
448	ミズキ	6	0.43		◎		存置
449	ミズキ	5	0.33		×		伐採・抜根
450	ミズキ	6	0.38		×		伐採・抜根
451	ミズキ	2	0.1		×		伐採・抜根
452	ミズキ	6	0.32		◎		存置
453	ミズキ	6	0.38		◎		存置
454	エノキ	2	0.13		◎		存置
455	ムラサキシキブ	2	0.16		◎		存置
456	リョウブ	5	0.55		×	株立	伐採のみ
457	ヤブムラサキ	2	0.1		◎		存置
458	ミズキ	6	0.29		◎		存置
459	ミズキ	2	0.1		◎		存置
460	ウリハダカエデ	2	0.16		◎		存置
461	ミズキ	7	0.28		◎		存置
462	ミズキ	8	0.23		◎		存置
463	ヤシャブシ	10	0.63		◎		存置
464	ミズキ	8	0.33		◎		存置
465	ミズキ	6	0.31		◎		存置
466	ミズキ	6	0.2		◎		存置
467	ミズキ	8	0.34		◎		存置
468	ヒイラギ	2	0.17		◎		存置
469	ミズキ	5	0.21		◎		存置
470	ミズキ	7	0.32		◎		存置
471	ミズキ	5	0.29		◎		存置
472	エゴノキ	3	0.24		◎		存置
473	ソヨゴ	3	0.18		×		伐採のみ
474	ミズキ	6	0.28		◎		存置
475	アオモジ	5	0.2		◎		存置
476	ミズキ	8	0.26		◎		存置
477	リョウブ	6	0.77		◎	株立	存置
478	タラ	6	0.41		○		存置
479	タラ	5	0.26		○		存置
480	クロモジ	2	0.15		◎		存置
481	クロモジ	5	0.19		◎		存置
482	ソヨゴ	4	0.25		◎		存置
483	リョウブ	4	0.42		◎	株立	存置
484	クロモジ	2	0.11		◎		存置
485	ミズキ	12	0.88		◎		存置
486	リョウブ	7	0.32		×		伐採のみ
487	ヒイラギ	3	0.18		◎		伐採・抜根
488	アオモジ	3	0.18		◎		伐採・抜根
489	ソヨゴ	6	0.49		◎		存置
490	アオモジ	5	0.18		◎		存置
491	ムラサキシキブ	3	0.1		◎		存置
492	ミズキ	10	0.91		◎	株立	存置
493	リョウブ	6	0.37		×		伐採・抜根
494	ヤマザクラ	10	0.65		◎		存置
ウツギ'01	ウツギ					ナニバーテブ なし	存置
ウツギ'02	ウツギ					青ナニバーテブ'109	存置
ウツギ'03	ウツギ					青ナニバーテブ'106	存置

特 記  
・数字3ケタの樹木番号は2023年度に行われた樹木調査に基づいており、既存樹木に打たれた黄色のナンバートープにて確認できる。  
・樹木番号に樹種名（カタカナ）になっておるものは前述の調査対象外の樹木であり、本工事における設計内で新たに確認されたものである。一部に青色のナンバートープが打たれているが、特に標示の無いものもある。  
・伐採対象の樹木は設計内において桃色の識別トーブが巻かれているが、特に標示の無いものもある。  
・ナンバートープや識別トーブは、樹木の生長や自然状況により確認が困難な場合がある。伐採工事においてはその点に留意し、存置または伐採の判断がつかない場合は、監督員の指示による。

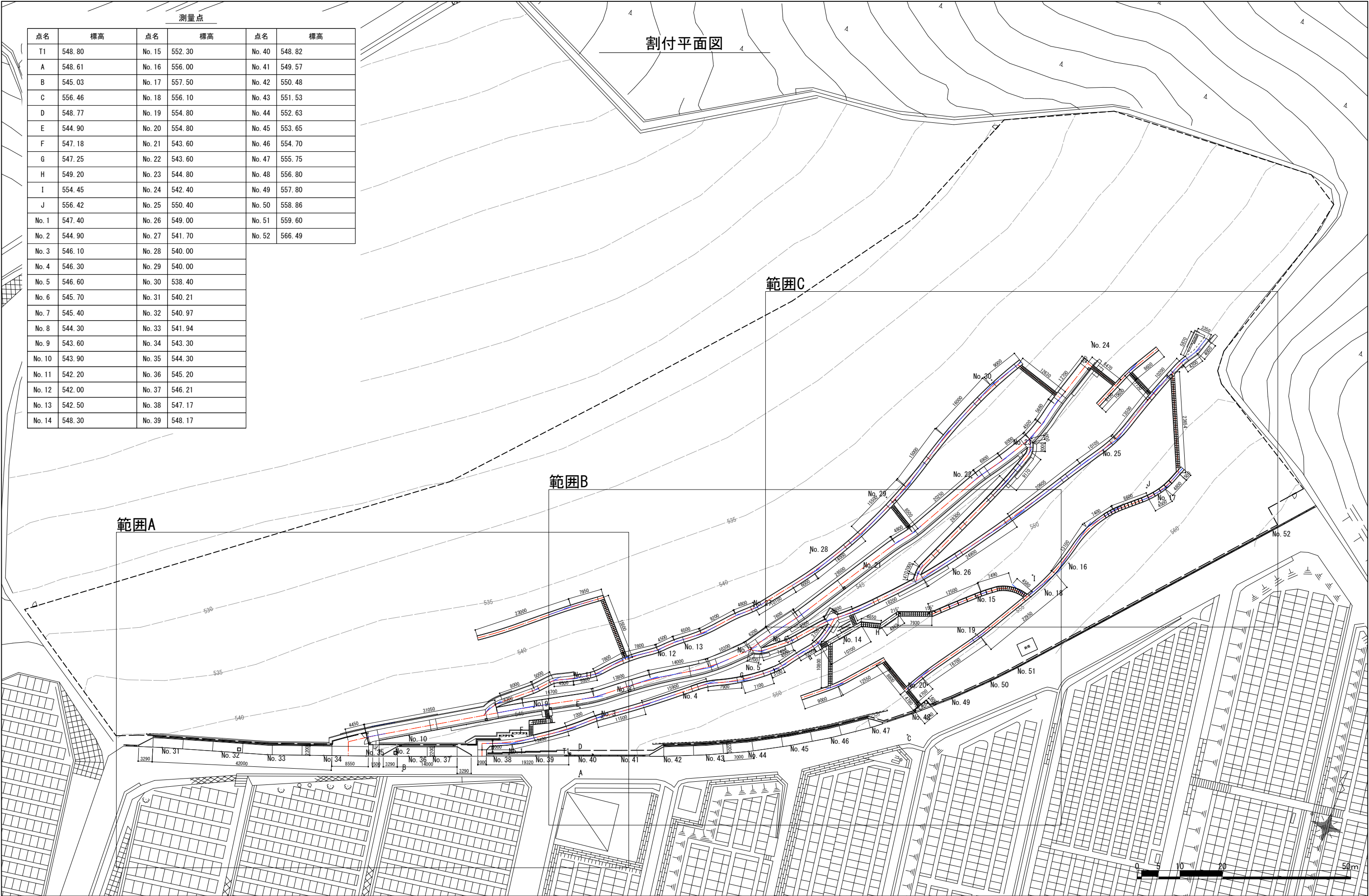


■現況樹木一覧表

番号	樹木名	H	C	W	樹勢	備考	評価
ウツギ 04	ウツギ					青ナンバ―テープ 105	存置
ウツギ 05	ウツギ					青ナンバ―テープ 104	存置
ウツギ 06	ウツギ					青ナンバ―テープ 106	存置
ウツギ 07	ウツギ					青ナンバ―テープ 102	存置
ウツギ 08	ウツギ				△	ナンバ―テープ なし	存置
ウツギ A	ウツギ 414本	平均 2～4	平均 0.15		◎		伐採・抜根
ウツギ B	ウツギ 1000本	平均 2～4	平均 0.15		◎		伐採のみ
エノキ01	エノキ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採・抜根
エノキ02	エノキ	13	1.4		◎	ナンバ―テープ なし	存置
エノキ03	エノキ	10	1.5		◎	ナンバ―テープ なし	存置
エノキ04	エノキ	10	2		◎	ナンバ―テープ なし	存置
エノキ05	エノキ					ナンバ―テープ なし	存置
クロモジ 01					◎	青ナンバ―テープ 114	存置
ササ01					◎	3m離して園路通す	存置
ササ02		15	1.8		◎	3m離して園路通す	存置
ササ03		10	1		◎		存置
ササ04		12	1.5		◎		存置
サトウリ01	サトウリ	8			◎	株立	存置
ニワトコ01	ニワトコノキ	7	0.7		◎		存置
ネムノキ01	ネムノキ	－	1.5		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
ヒサカキ01	ヒサカキ	－	－		○	青ナンバ―テープ 108	伐採・抜根
フジ 01	フジ	－	0.4		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
フジ 02	フジ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
フジ 03	フジ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
フジ 04	フジ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採・抜根
フジ 05	フジ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採・抜根
フジ 06	フジ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採・抜根
フジ 07	フジ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
フジ 08	フジ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
不明01					×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
不明02					×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
マツ01	マツ	－	1.1		×	ナンバ―テープ なし	伐採・抜根
マツ02	マツ	－	0.9		×	ナンバ―テープ なし	伐採・抜根
マツ03	マツ	－	1.5		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
マツ04	マツ	－	1.5		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
マツ05	マツ	－	1.2		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
マツ06	マツ	－	0.87		×	青ナンバ―テープ 52	伐採のみ
マツ07	マツ	－	0.87, 0.75		×	青ナンバ―テープ 59、株立	伐採のみ
マツ08	マツ	－	0.72, 0.63		×	青ナンバ―テープ 57、株立	伐採・抜根
マツ09	マツ	－	0.6		×	青ナンバ―テープ 61	伐採のみ
マツ10	マツ	－	1.02		×	青ナンバ―テープ 49	伐採のみ
マツ11	マツ	－	0.72		×	青ナンバ―テープ 64	伐採のみ
マツ12	マツ	－	0.84		×	青ナンバ―テープ 67	伐採のみ
マツ13	マツ	－	0.84, 0.84		×	青ナンバ―テープ 69、株立	伐採のみ
マツ14	マツ				×	青ナンバ―テープ 112	伐採のみ
マツ15	マツ				×		伐採・抜根
マツ16	マツ				×		伐採のみ
マツ17	マツ				×		伐採・抜根
マツ18	マツ				×		伐採・抜根
マツ19	マツ				×		伐採のみ
マツ20	マツ				×		伐採のみ
ミズキ 01	ミズキ	8	1.5		◎	ナンバ―テープ なし、株立	存置
ミズキ 02	ミズキ	－	－		◎	青ナンバ―テープ 115	存置
ミズキ 03	ミズキ	－	－		×		伐採のみ
ミズキ 04	ミズキ	－	－		◎	青ナンバ―テープ 113	存置

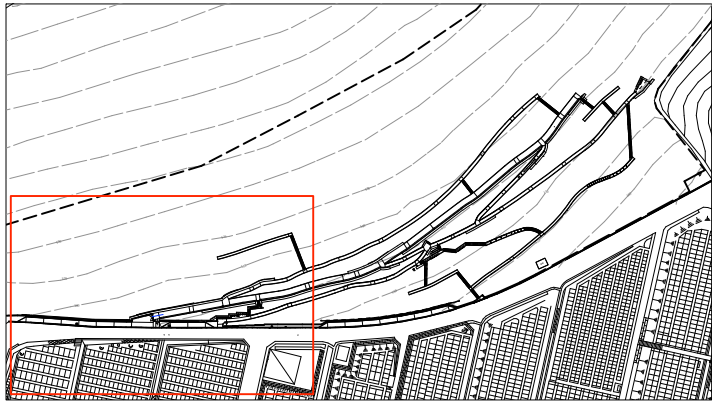
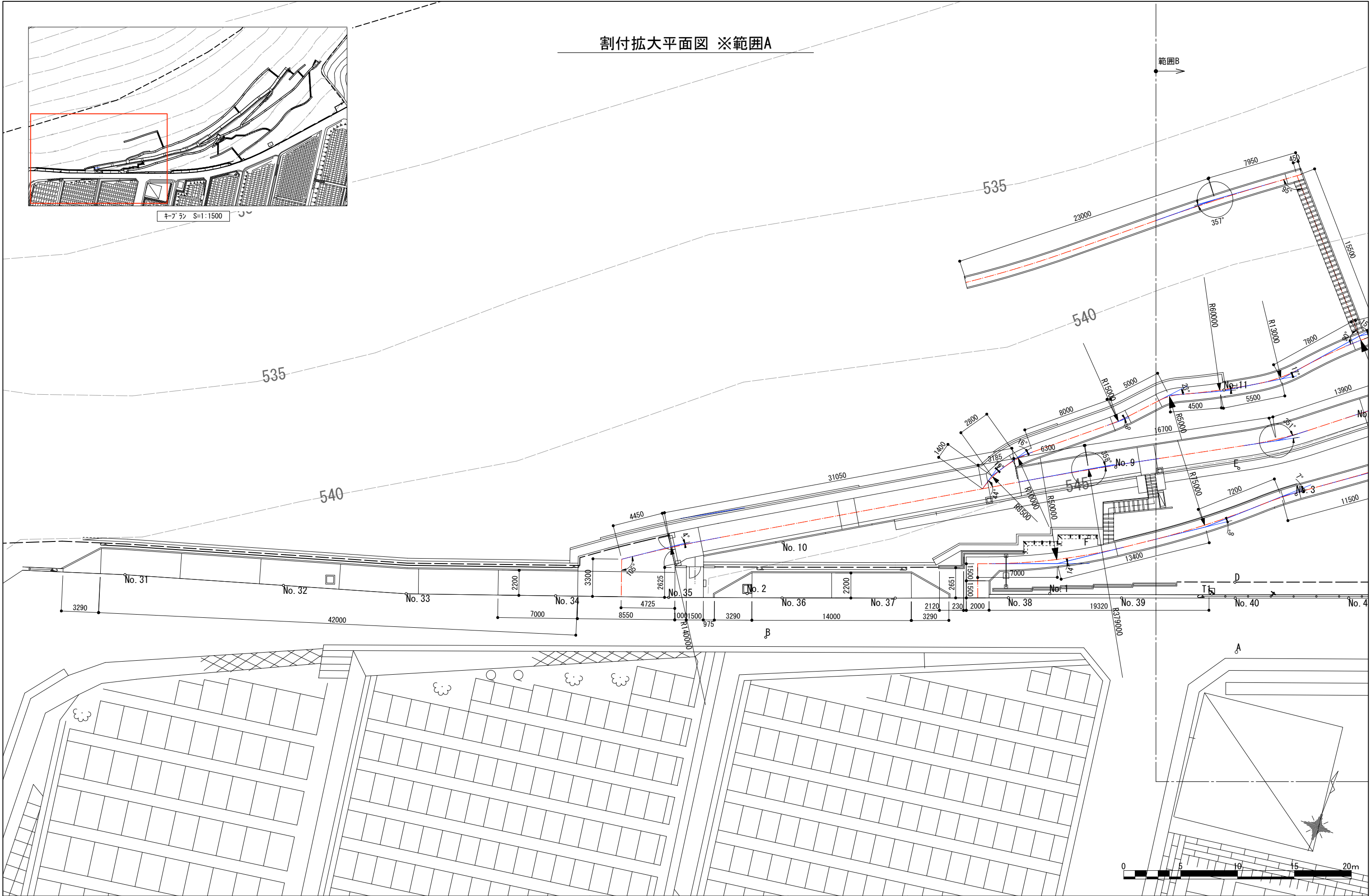
番号	樹木名		C	W	樹勢	備考	評価
ミズキ 05	ミズキ	－	－		◎	青ナンバ―テープ 110	存置
ミズキ 06	ミズキ	8	－		◎		存置
ミズキ 07	ミズキ	8	－		◎	株立	存置
ミズキ 08	ミズキ	－	－		◎		存置
ミズキ 09	ミズキ	10	－		◎	株立	伐採のみ
ミズキ 10	ミズキ	－	－		◎		存置
ミズキ 11	ミズキ	6	0.3		◎		存置
ミズキ 12	ミズキ	－	－		◎		伐採のみ
ミズキ 13	ミズキ	－	－		◎	マツに隣接	存置
ミズキ 14	ミズキ				◎	青ナンバ―テープ 101	存置
ミズキ 15	ミズキ				◎	青ナンバ―テープ 116	存置
ミズキ 16	ミズキ				◎	青ナンバ―テープ 118	存置
ミツバツツジ 01	ミツバツツジ	－	－		◎	青ナンバ―テープ 111	存置
ミツバツツジ 02	ミツバツツジ	－	－		◎	サクラ02と近接	存置
リョウブ 01	リョウブ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
リョウブ 02	リョウブ	－	－		×	ナンバ―テープ なし、伐採済	抜根
リョウブ 03	リョウブ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採・抜根
リョウブ 04	リョウブ	－	－		×	ナンバ―テープ なし	伐採のみ
リョウブ 05	リョウブ	－	－		×		伐採・抜根
リョウブ 06	リョウブ	6	0.8		◎		存置
ヒノキA	ヒノキ 59本	平均 12	平均 0.85		◎		伐採・抜根
ヒノキB	ヒノキ 39本	平均 12	平均 0.85		◎		伐採のみ
ヒノキC	ヒノキ 1本		平均 0.85		◎		抜根
	マツ 11本		平均0.37		×		伐採・抜根
	マツ 47本		平均0.44		×		伐採のみ

特 記  
・数字3ケタの樹木番号は2023年度に行われた樹木調査に基づいており、既存樹木に打たれた黄色のナンバ―テープにて確認できる。  
・樹木番号に樹種名（カタカナ）になっておるものは前述の調査対象外の樹木であり、本工事における設計内で新たに確認されたものである。一部に青色のナンバ―テープが打たれているが、特に標示の無いものもある。  
・伐採対象の樹木は設計内において桃色の識別テープが巻かれているが、特に標示の無いものもある。  
・ナンバ―テープや識別テープは、樹木の生長や自然状況により確認が困難な場合がある。伐採工事においてはその点に留意し、存置または伐採の判断がつかない場合は、監督員の指示による。

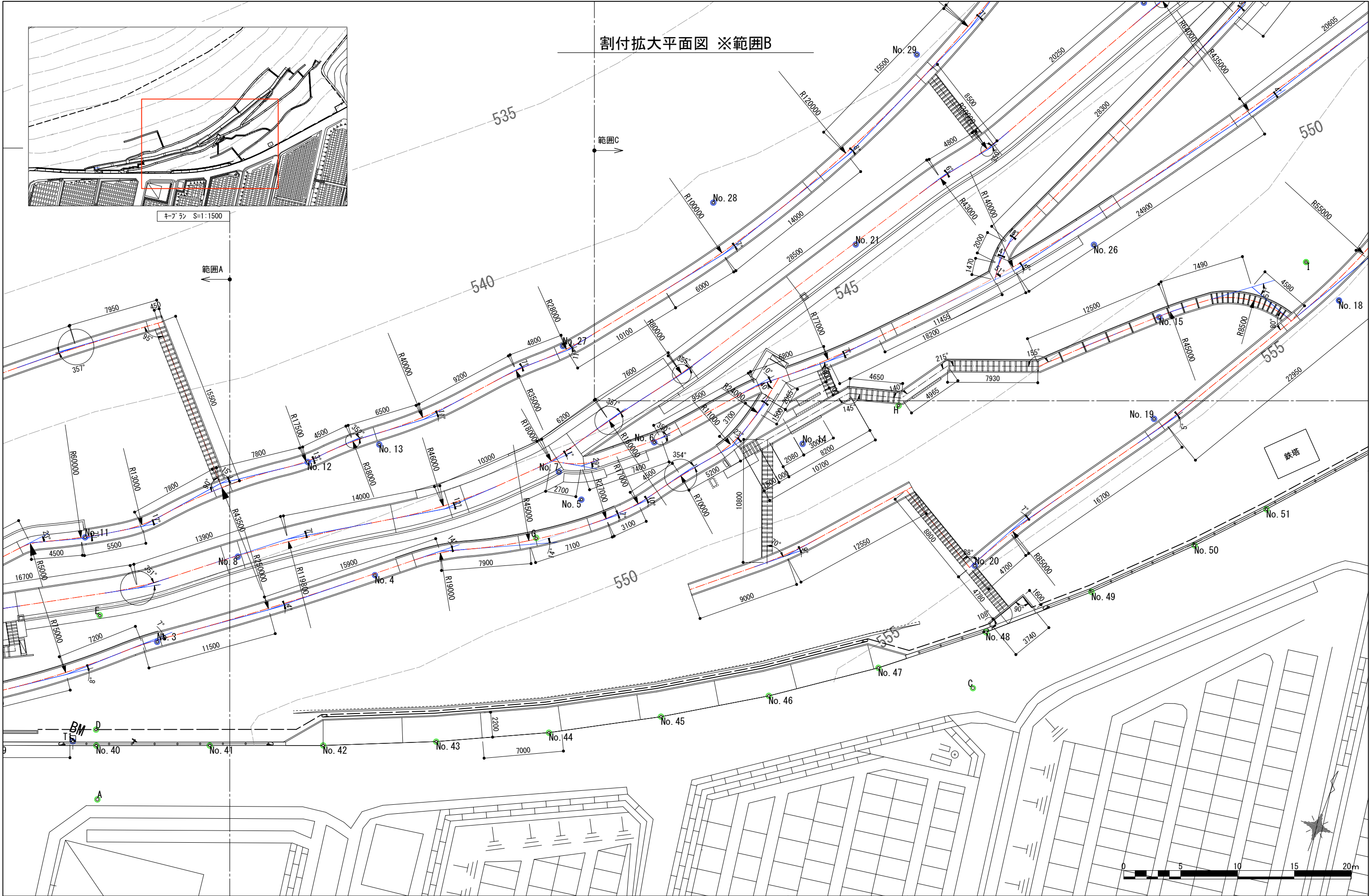




割付拡大平面図 ※範囲A



キープラン S=1:1500



割付拡大平面図 ※範囲B

範囲C

範囲A

キープラン S=1:1500

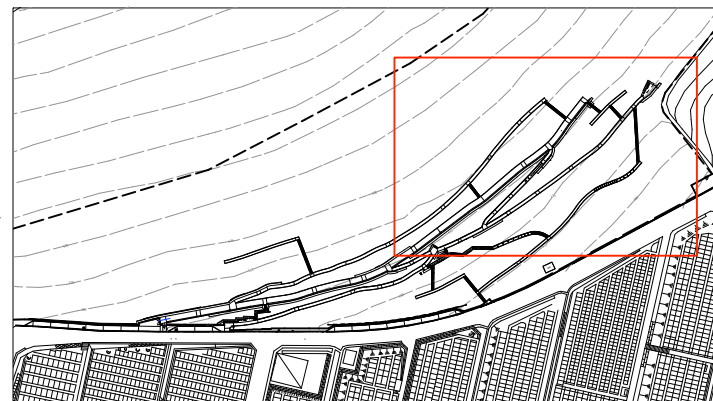
550

550

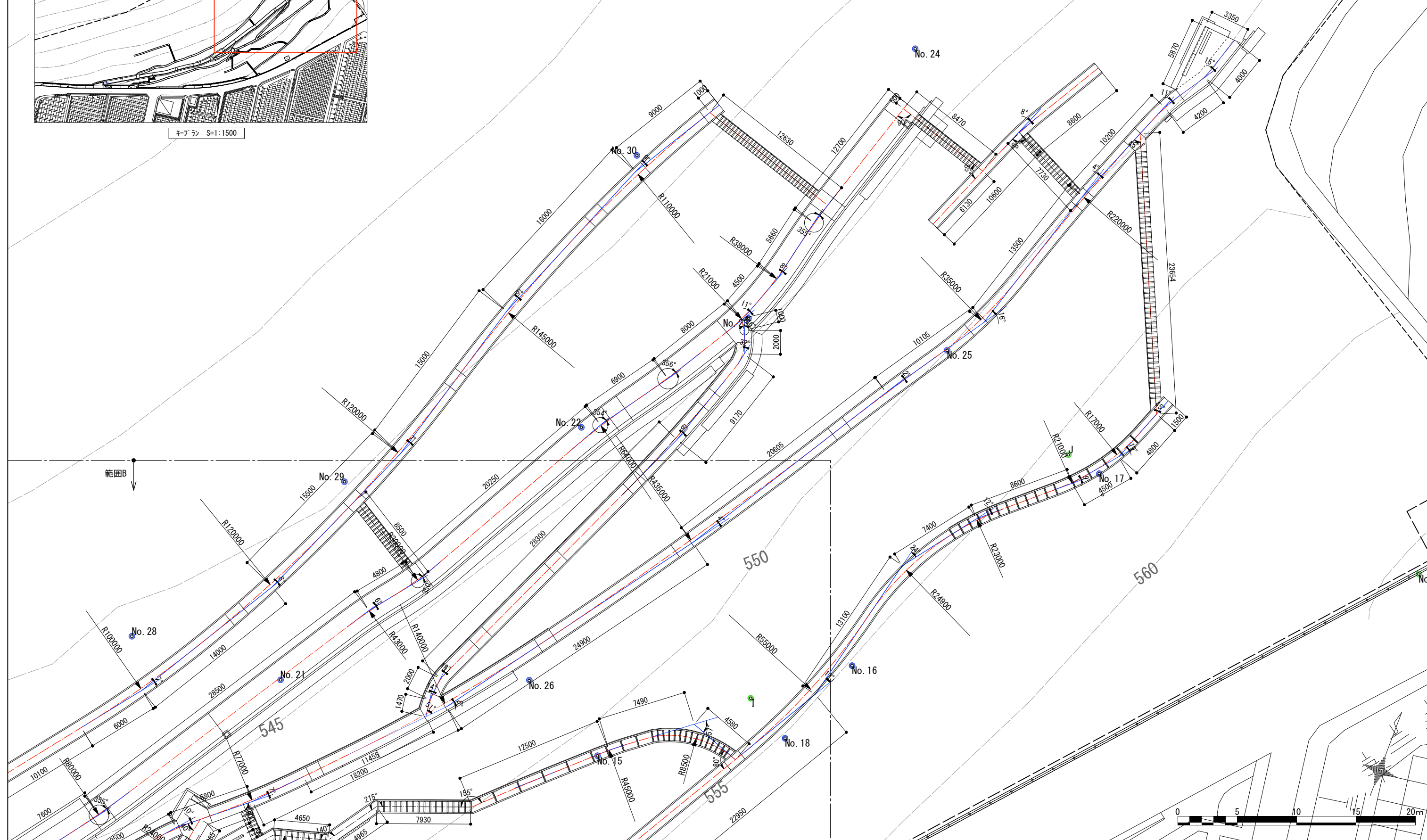
鉄塔

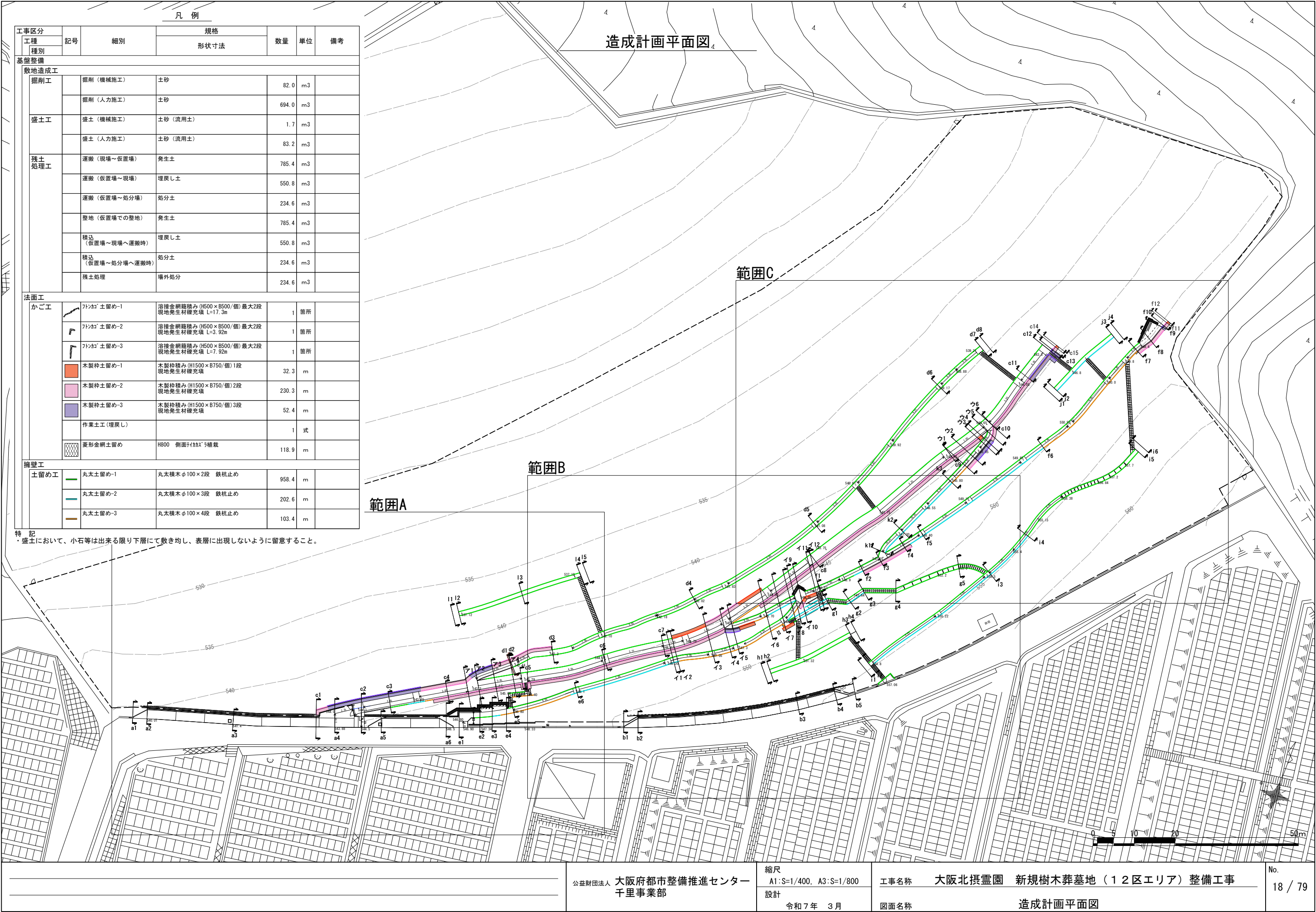
0 5 10 15 20m





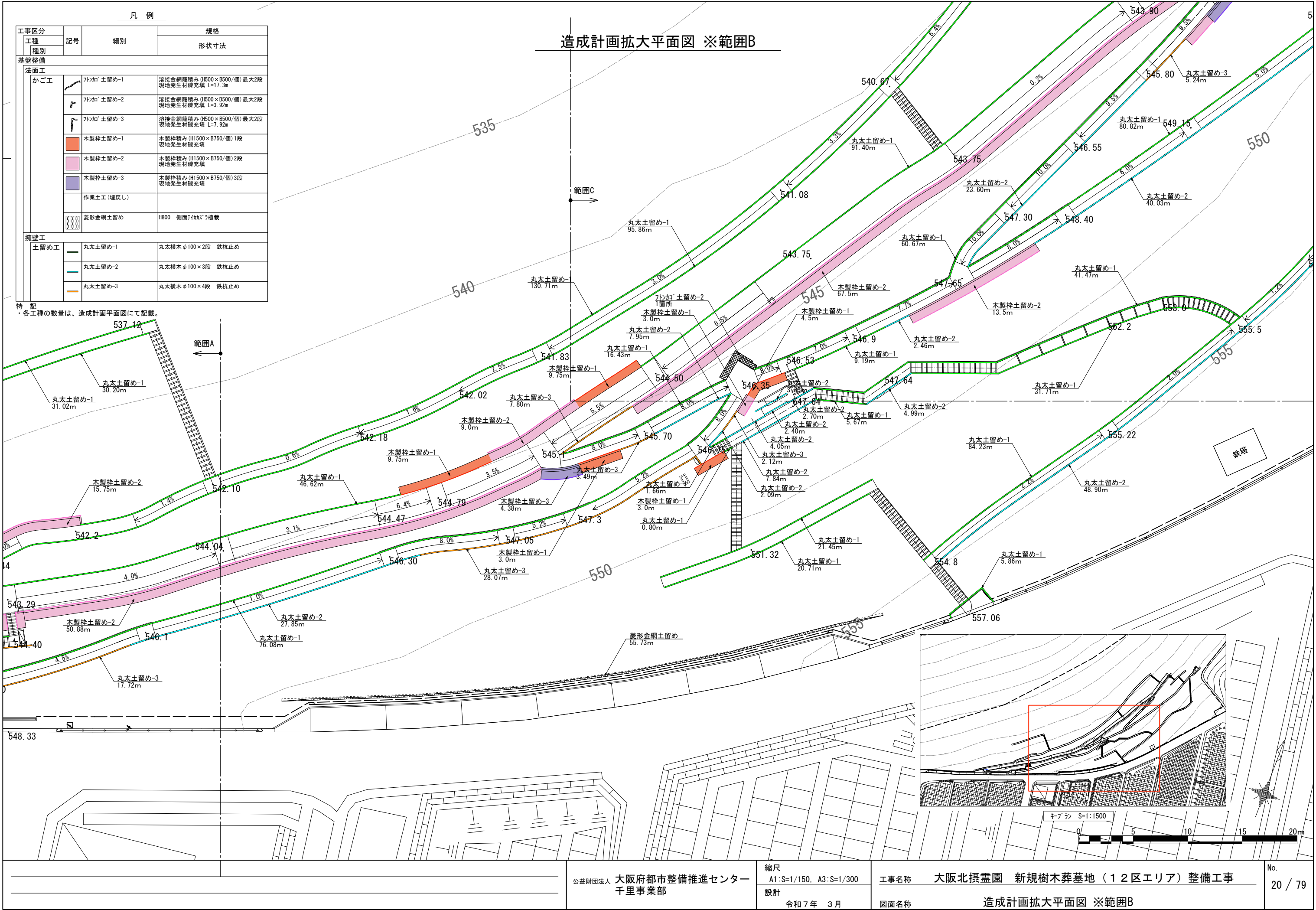
割付拡大平面図 ※範囲C













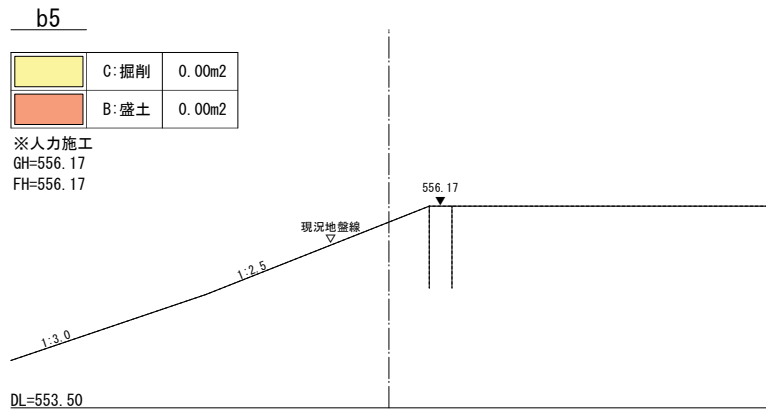
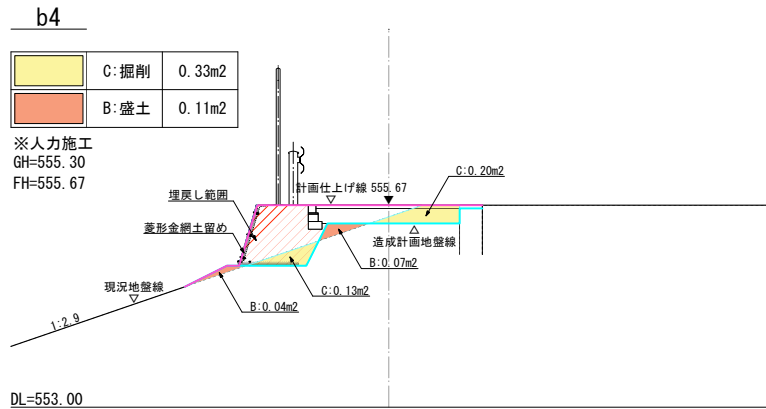
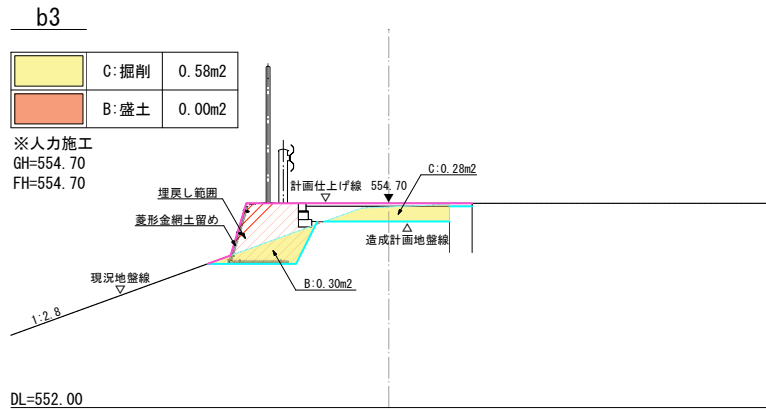
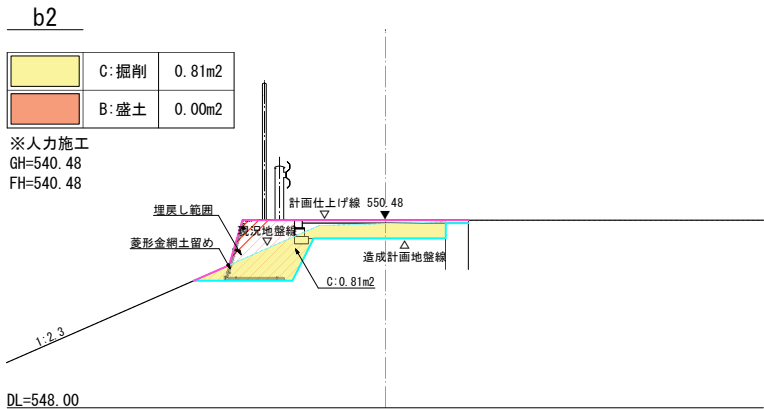
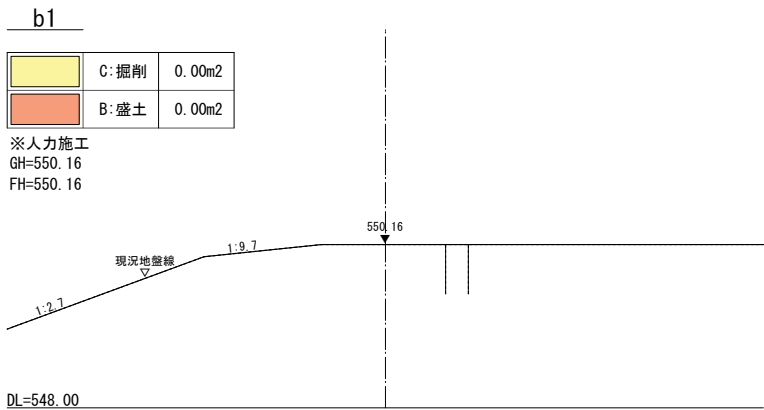
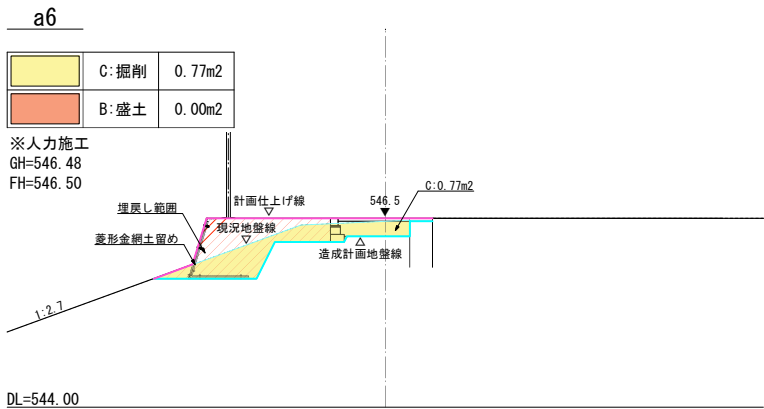
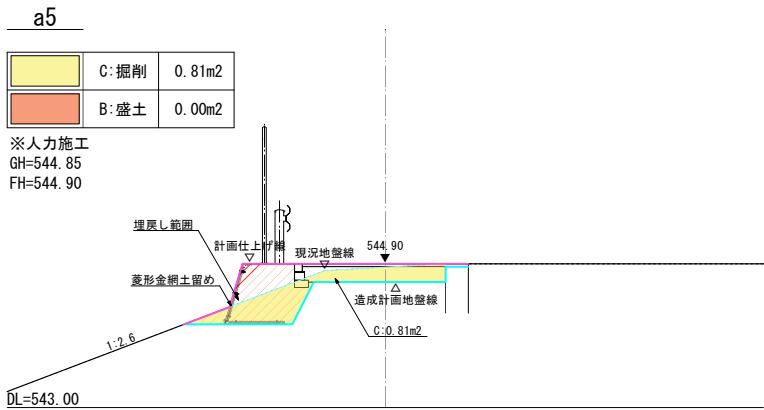
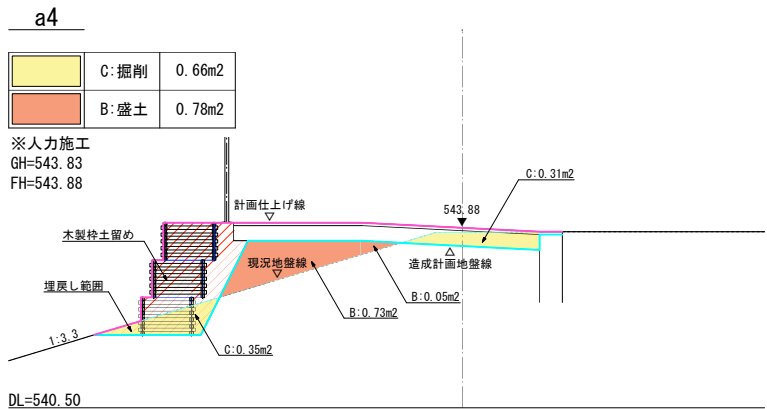
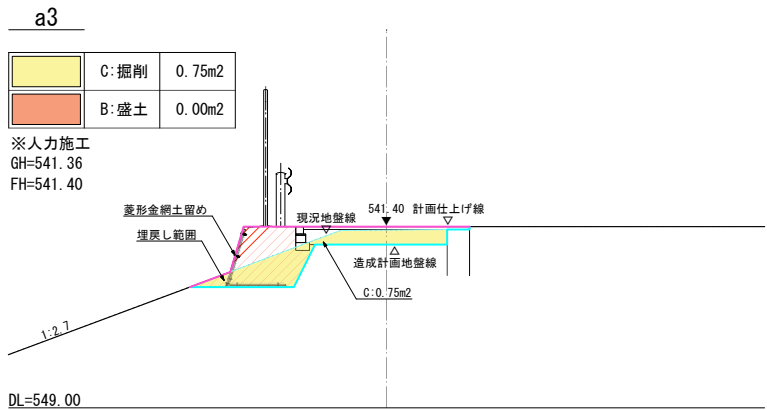
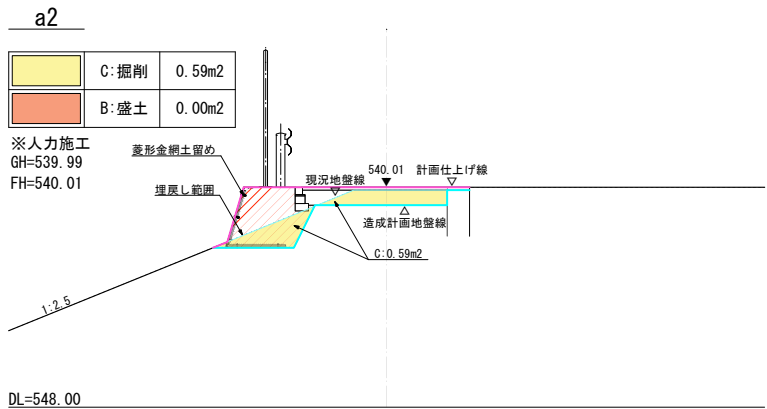
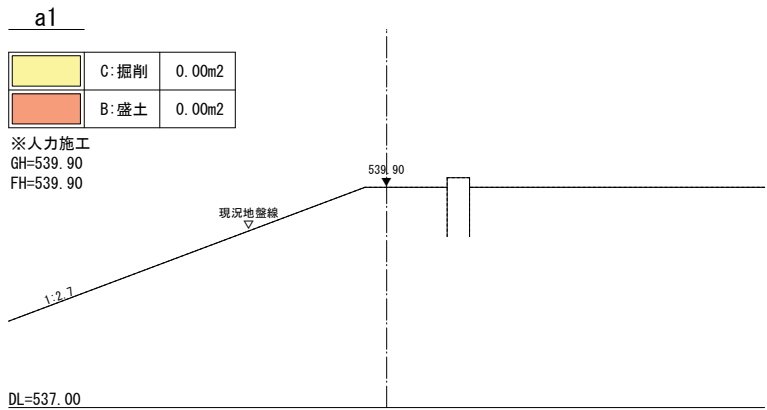
特 記  
・各工種の数量は、造成計画平面図にて記載。

凡 例

工事区分		記号	細別	規格
工種	種別			形状寸法
基盤整備				
法面工				
かご工		フシカゴ 土留め-1	溶接金網籠積み (H500×B500/個) 最大2段 現地発生材確充填 L=17.3m	
		フシカゴ 土留め-2	溶接金網籠積み (H500×B500/個) 最大2段 現地発生材確充填 L=3.92m	
		フシカゴ 土留め-3	溶接金網籠積み (H500×B500/個) 最大2段 現地発生材確充填 L=7.92m	
		木製枠土留め-1	木製枠積み (H1500×B750/個) 1段 現地発生材確充填	
		木製枠土留め-2	木製枠積み (H1500×B750/個) 2段 現地発生材確充填	
		木製枠土留め-3	木製枠積み (H1500×B750/個) 3段 現地発生材確充填	
		作業土工 (埋戻し)		
		菱形金網土留め	H800 側面フシカゴラ補装	
擁壁工				
土留め工		丸太土留め-1	丸太横木φ100×2段 鉄杭止め	
		丸太土留め-2	丸太横木φ100×3段 鉄杭止め	
		丸太土留め-3	丸太横木φ100×4段 鉄杭止め	

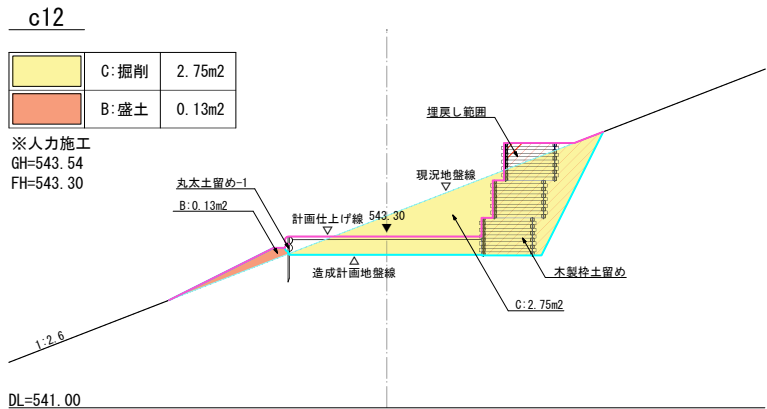
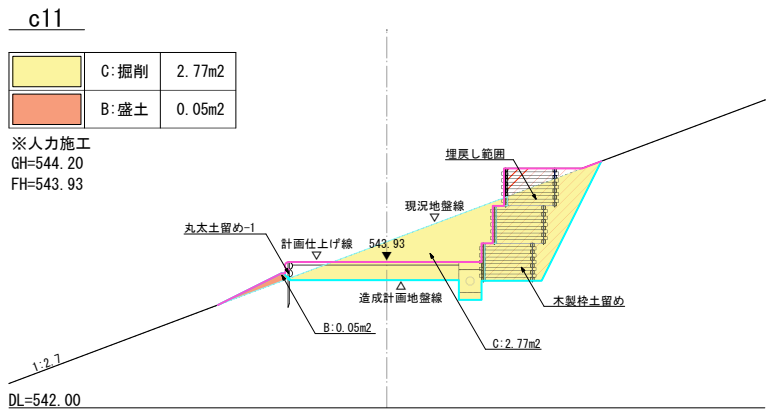
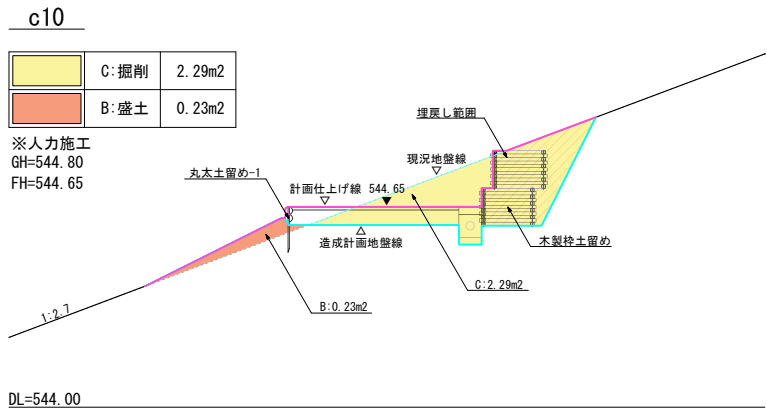
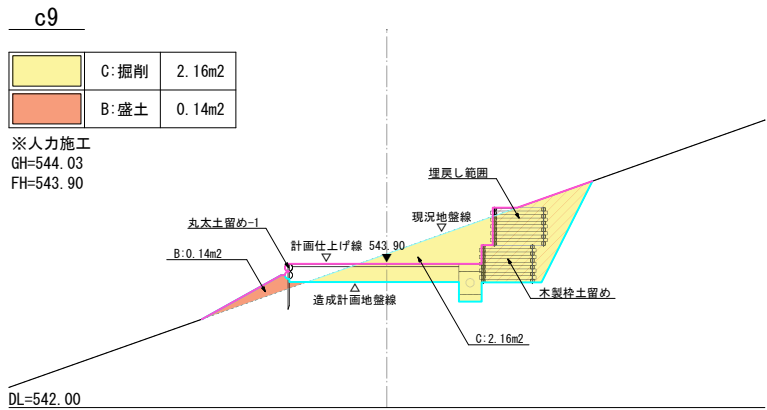
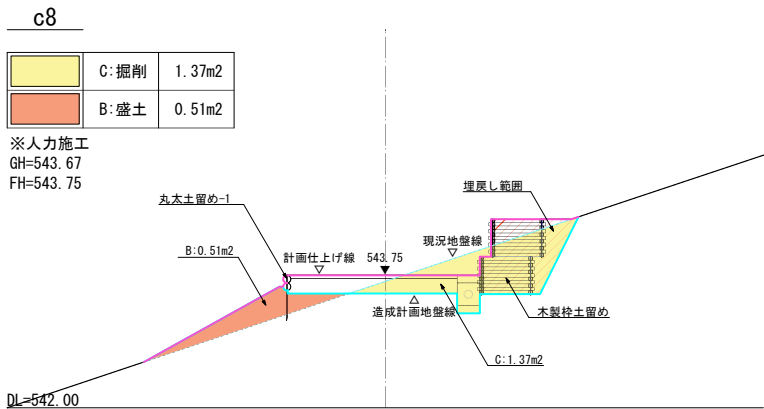
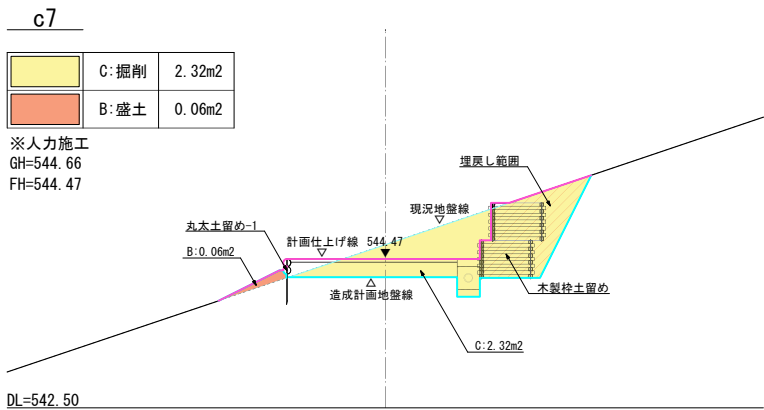
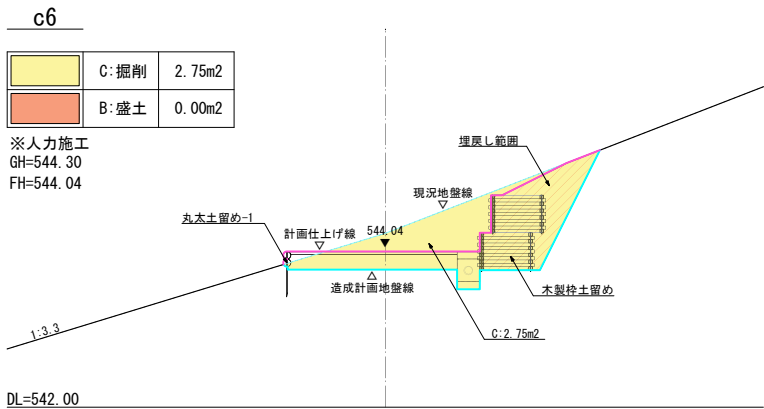
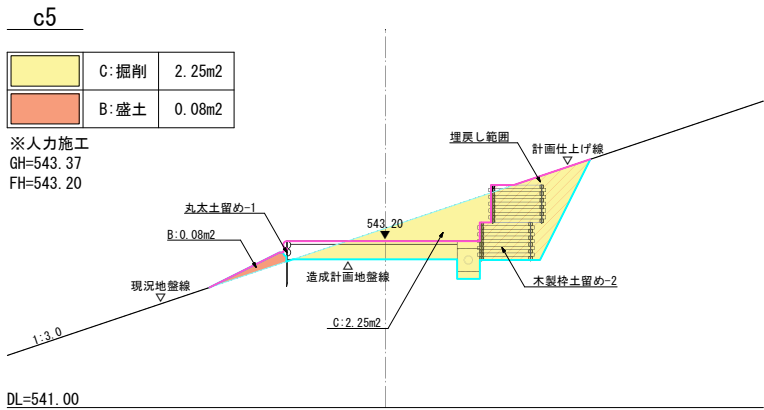
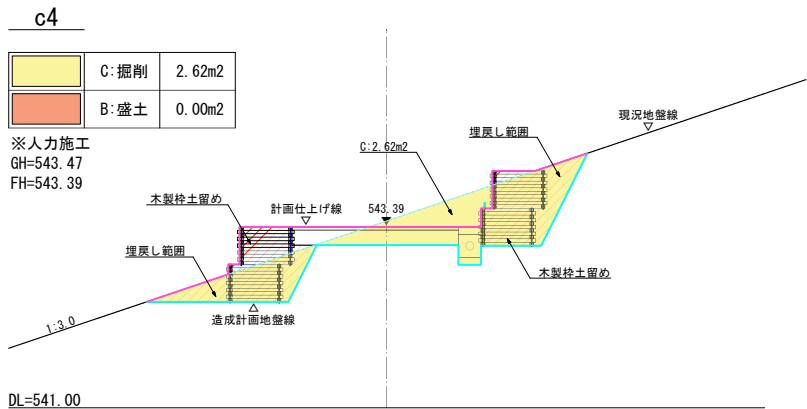
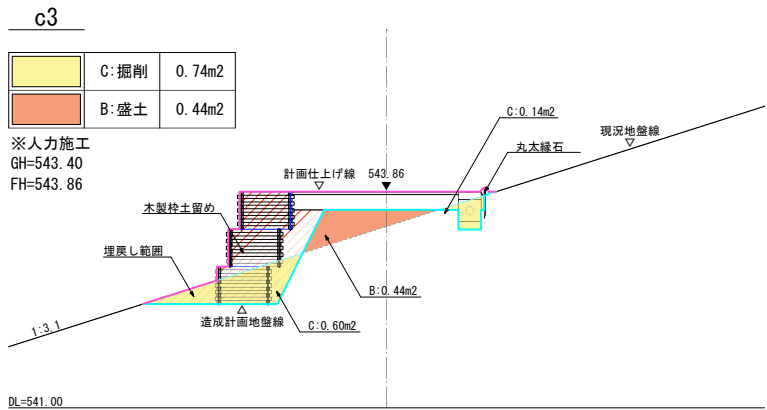
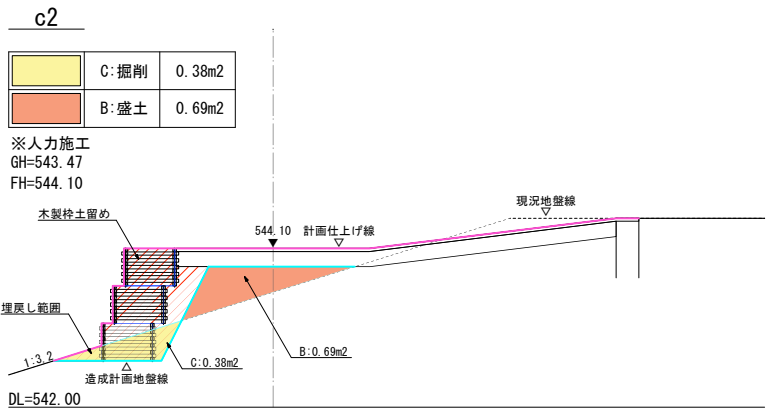
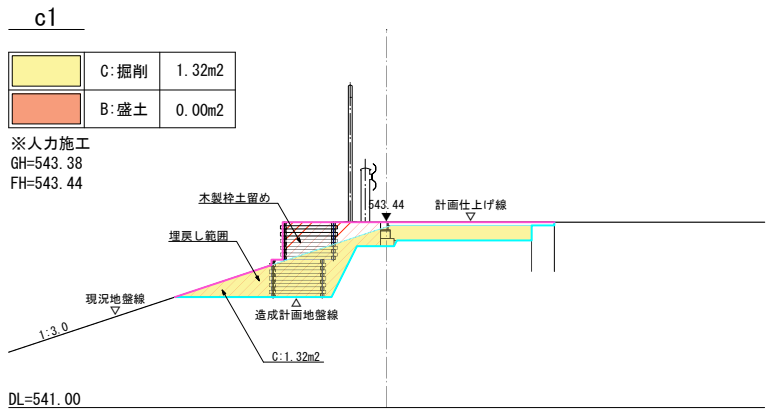
特 記  
・各工種の数量は、造成計画平面図にて記載。

造成計画拡大平面図 ※範囲C

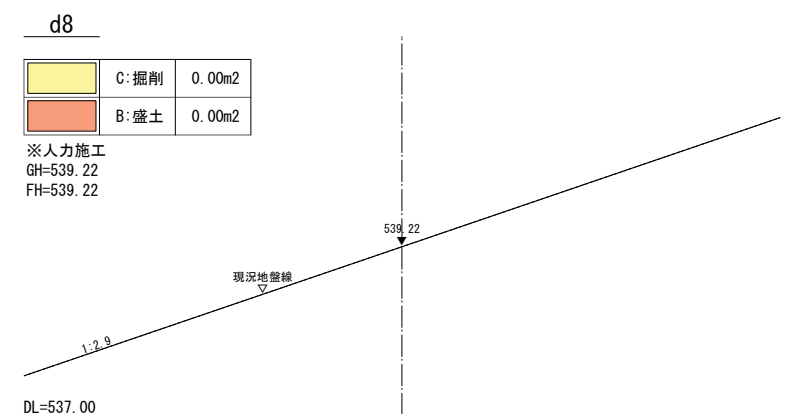
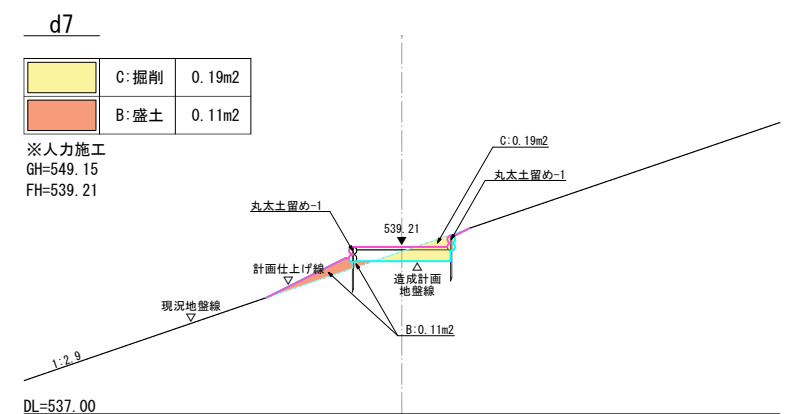
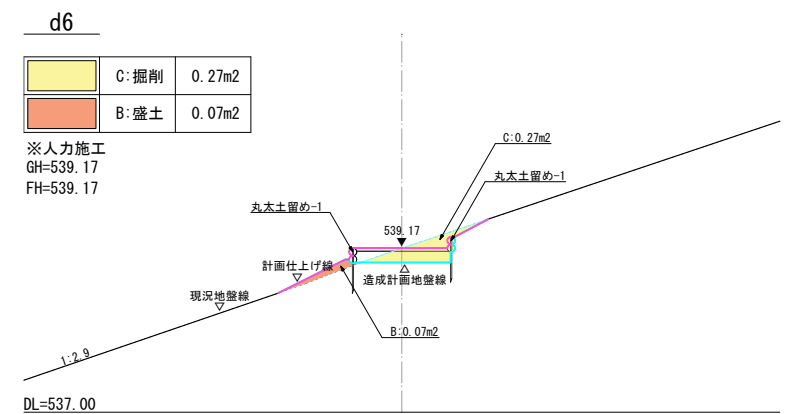
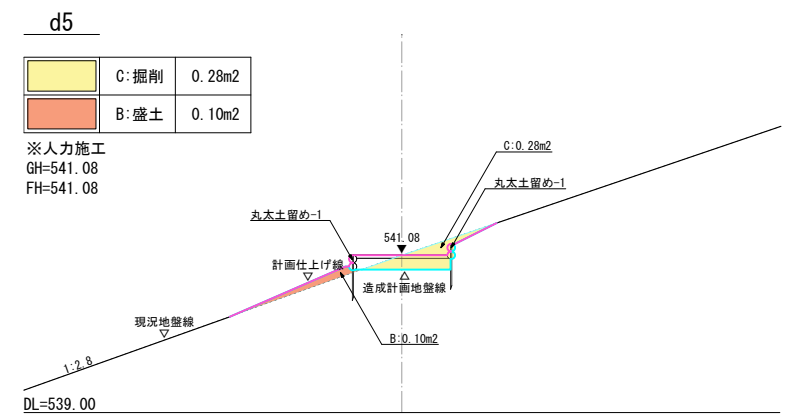
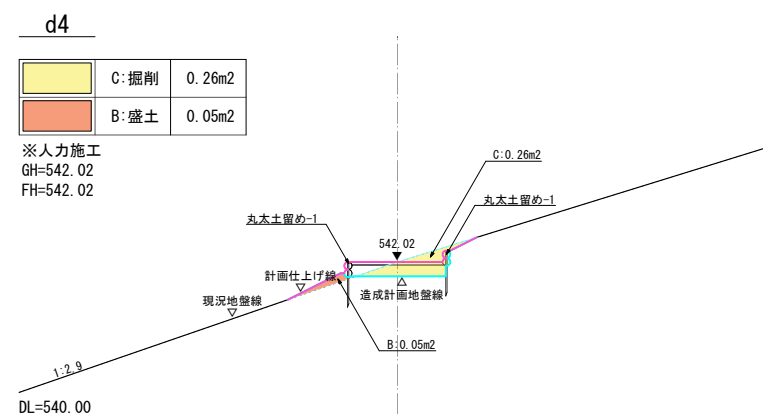
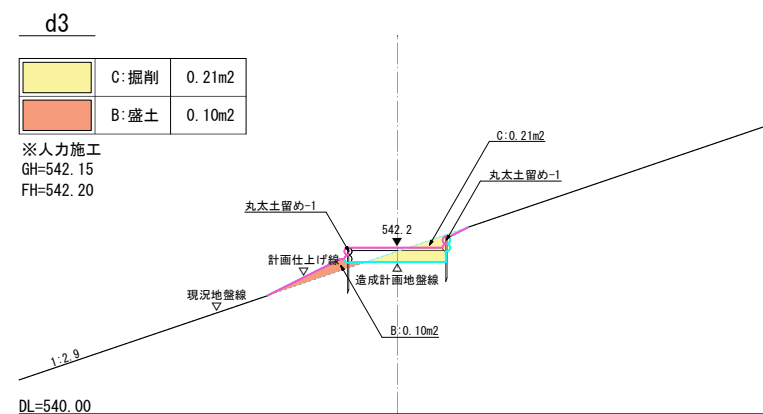
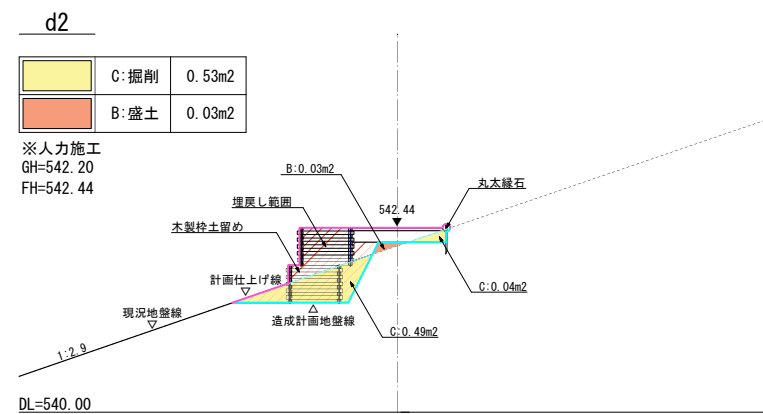
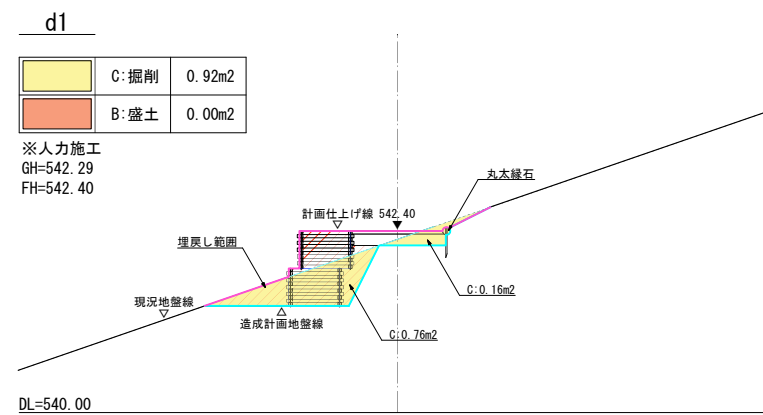
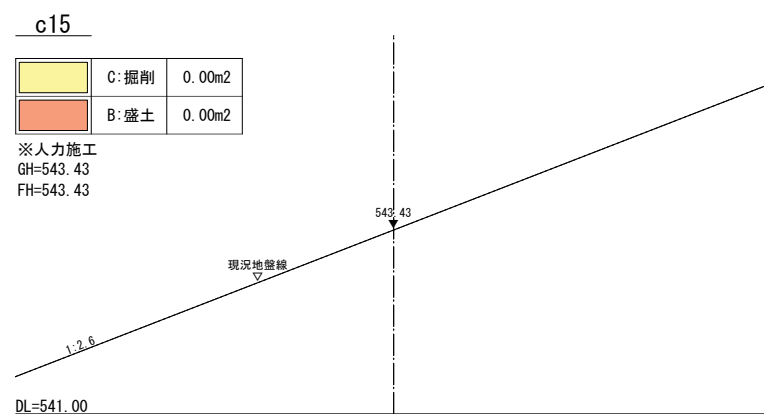
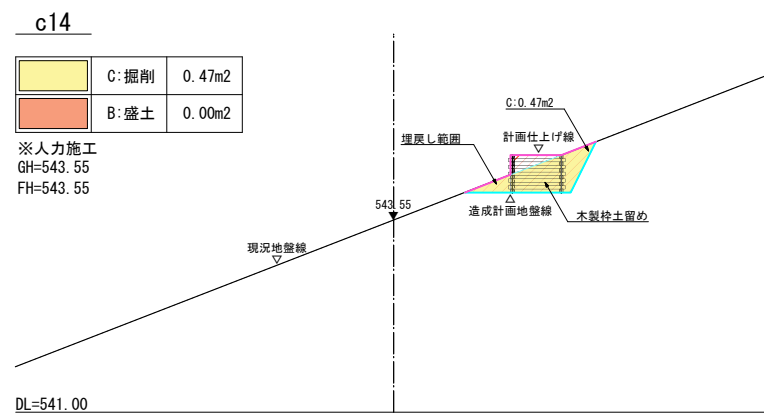
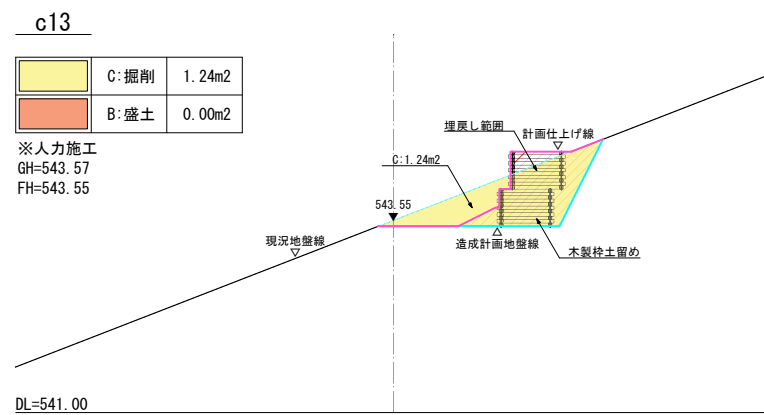


特記  
・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。



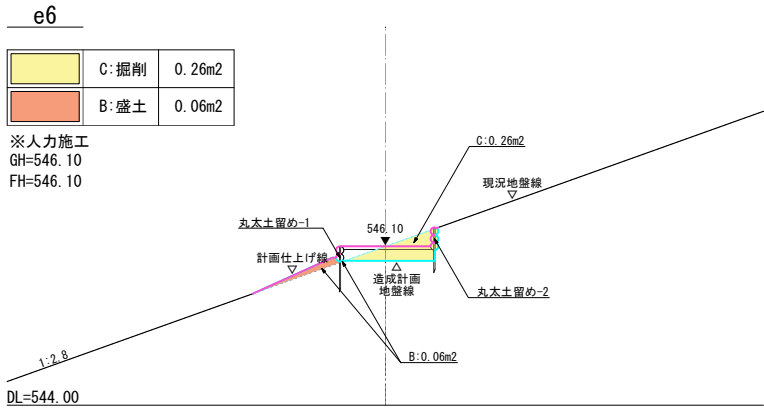
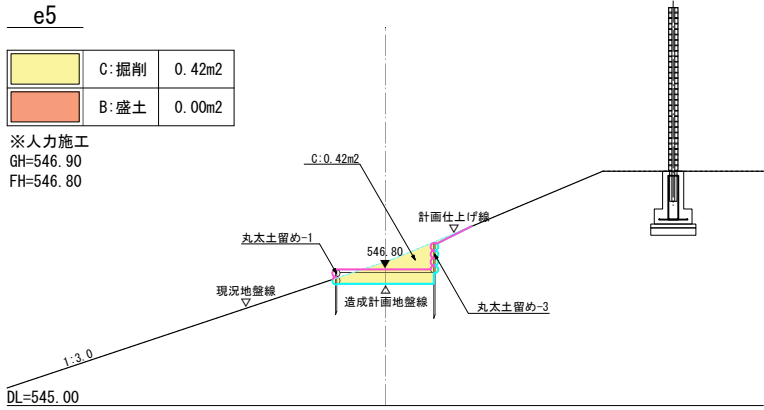
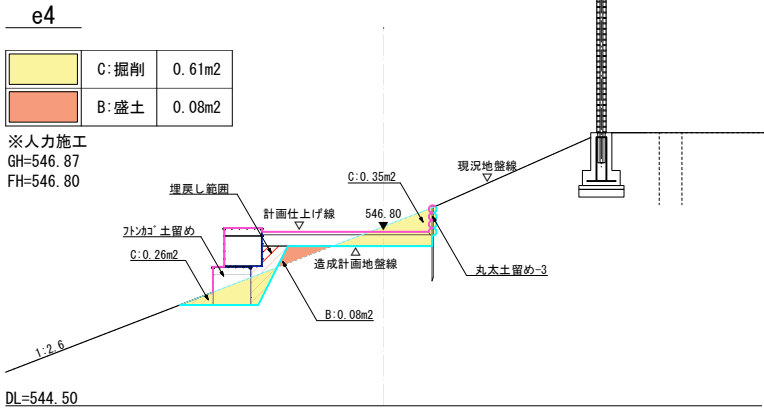
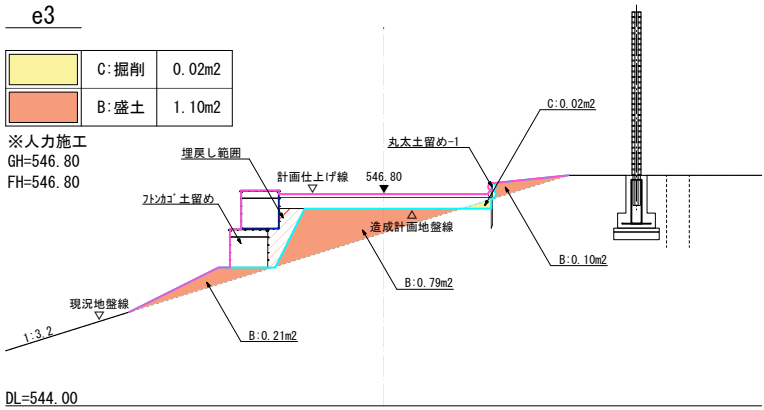
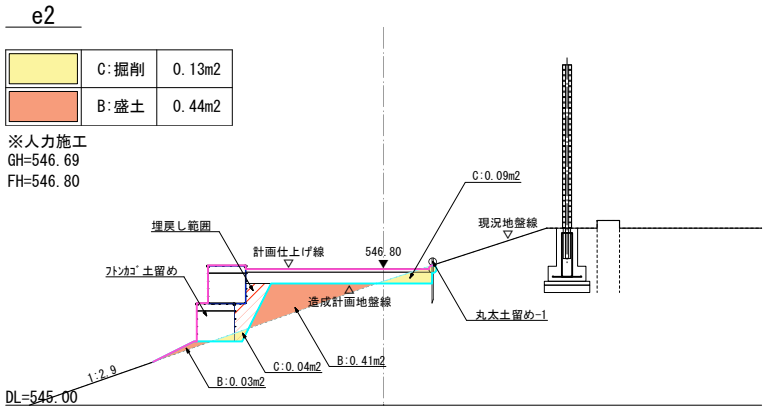
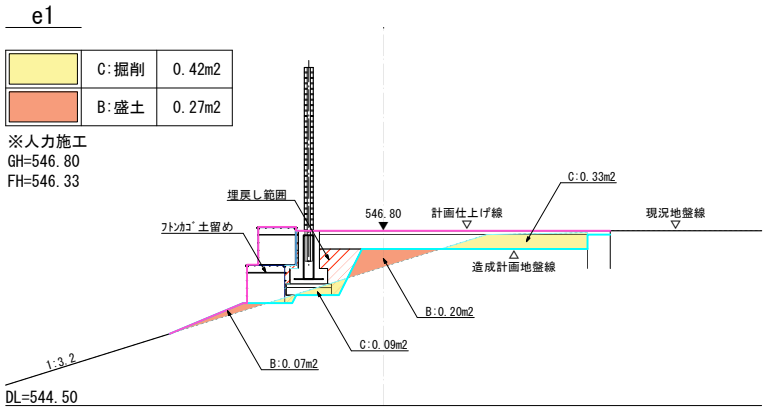


特 記  
・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。

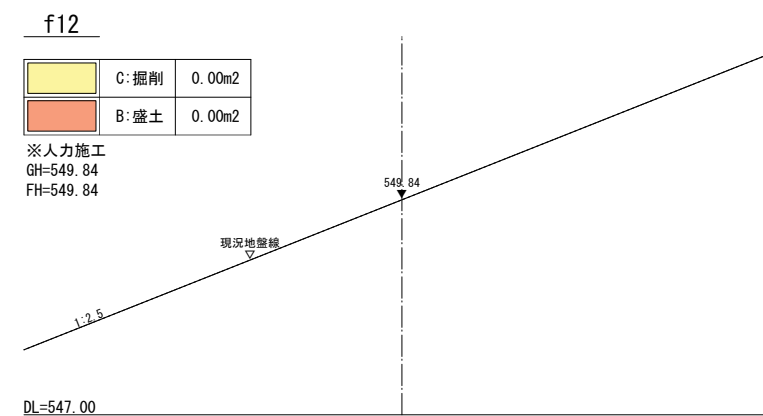
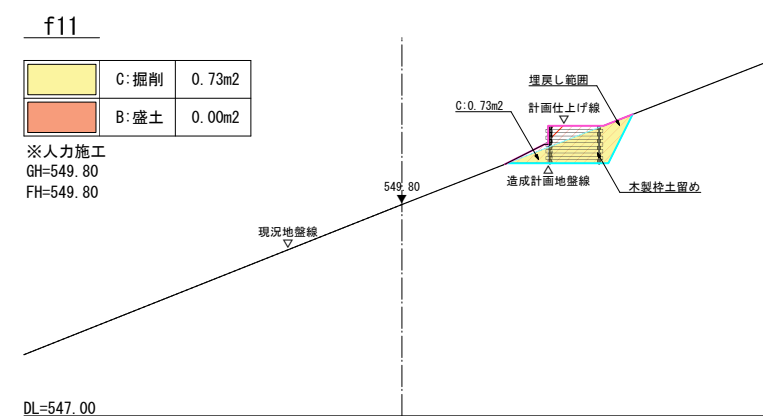
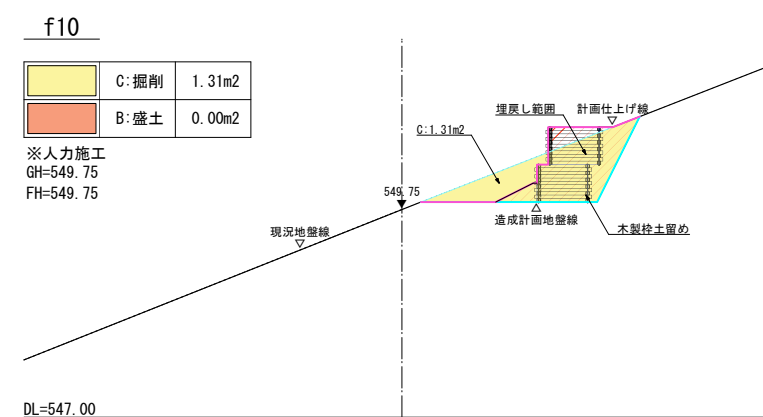
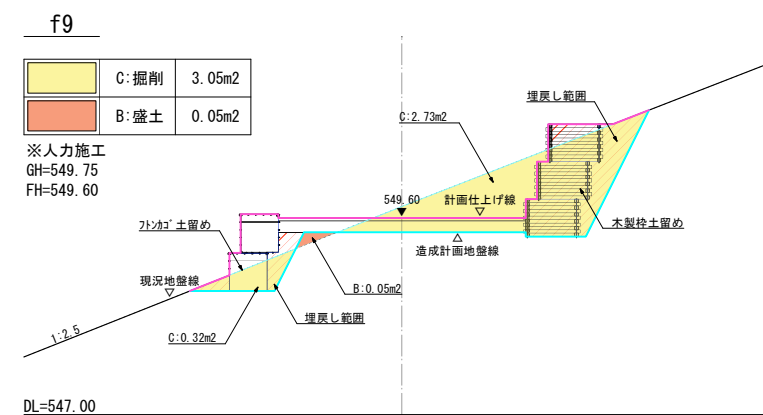
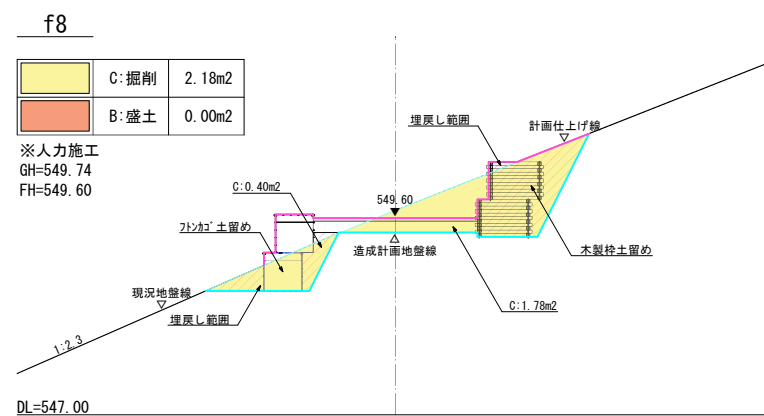
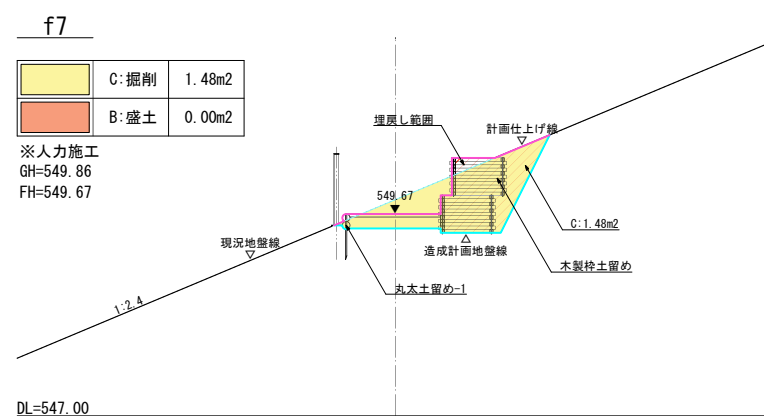
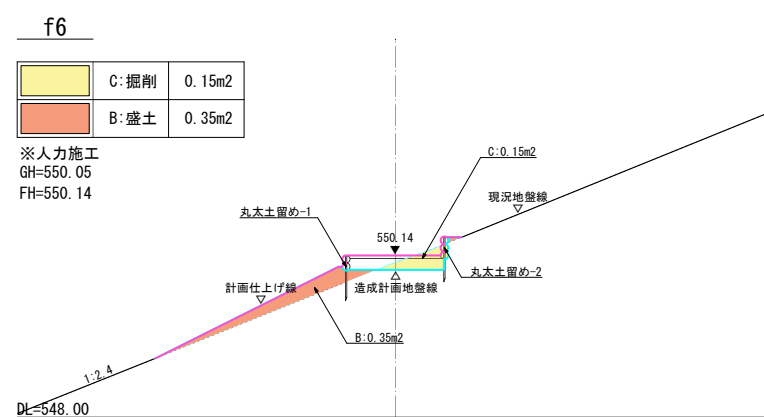
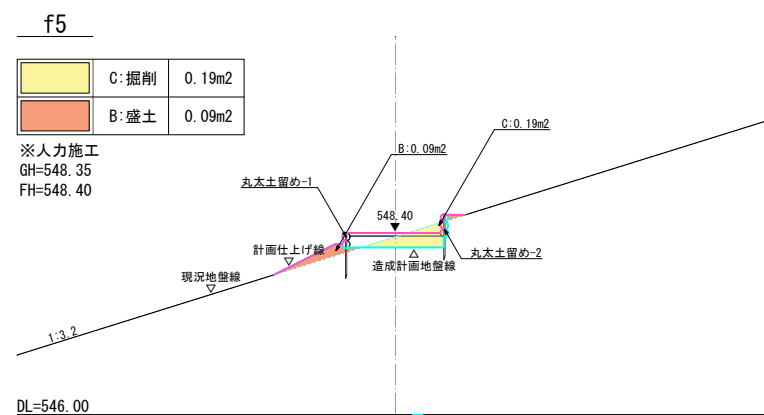
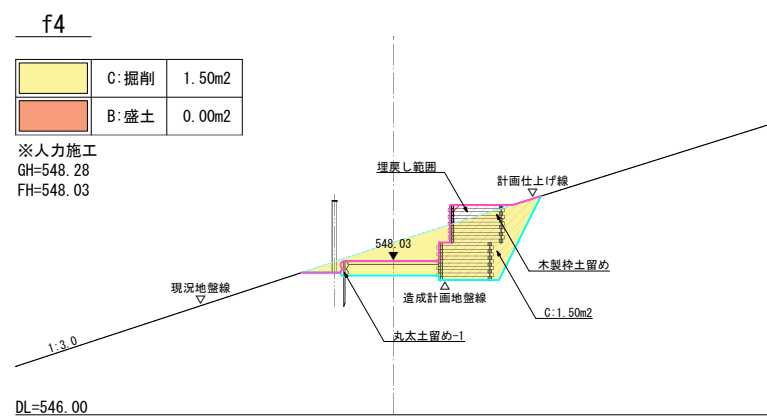
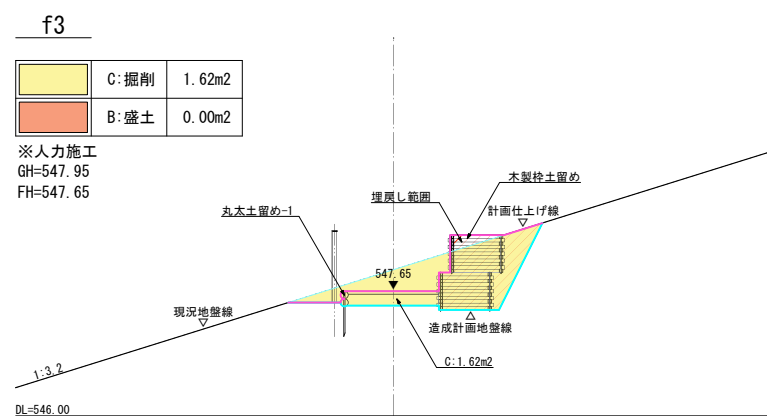
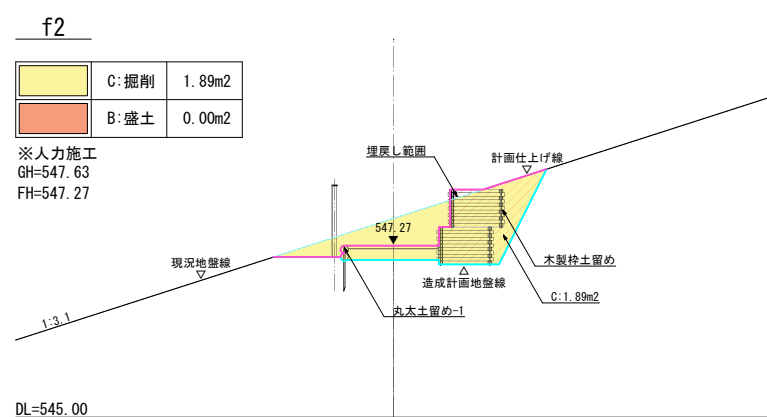
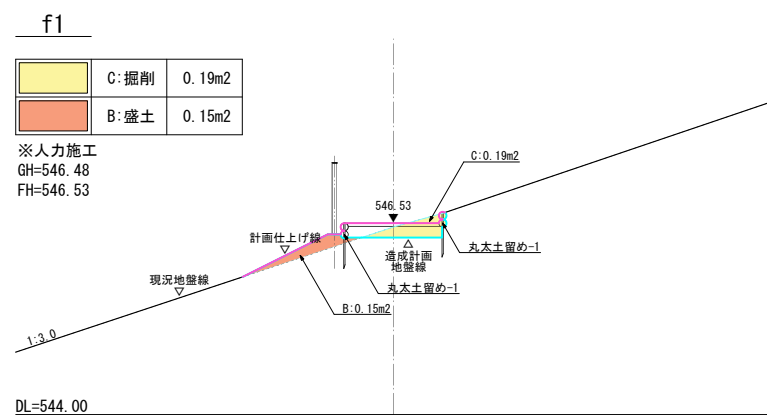


特 記  
・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。



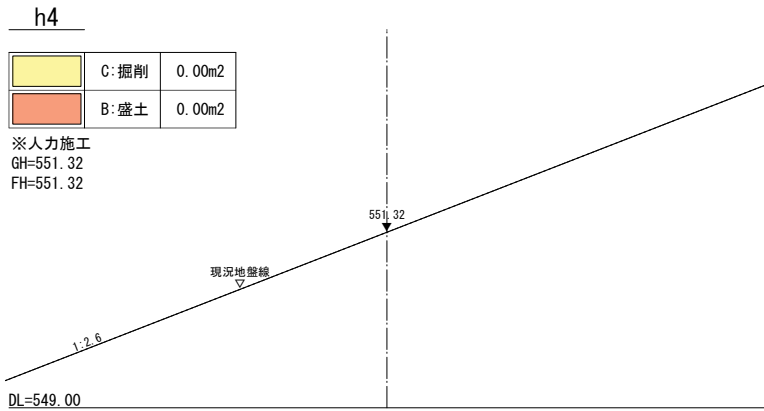
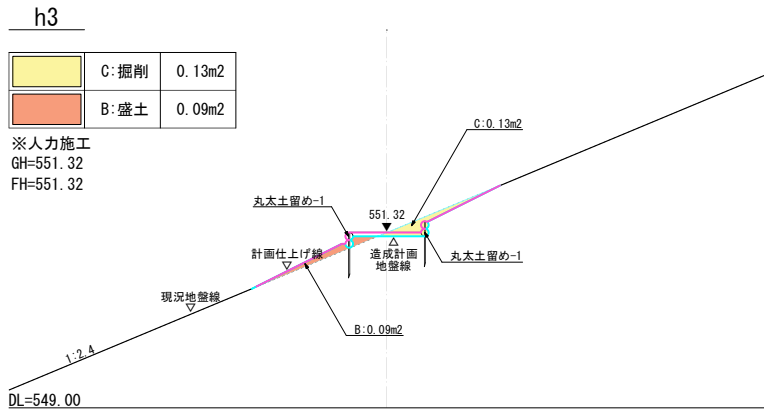
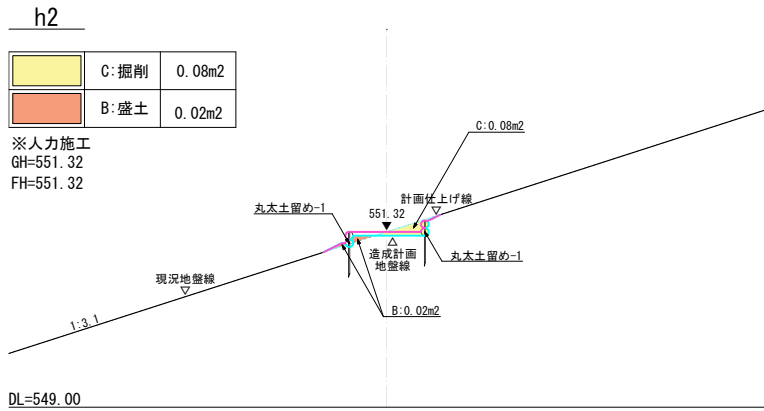
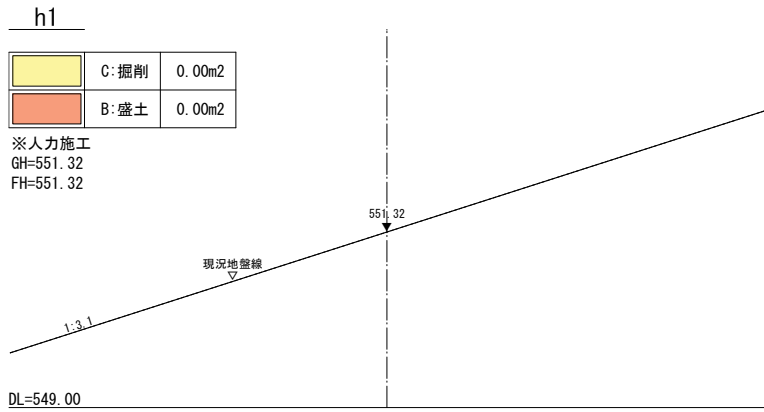
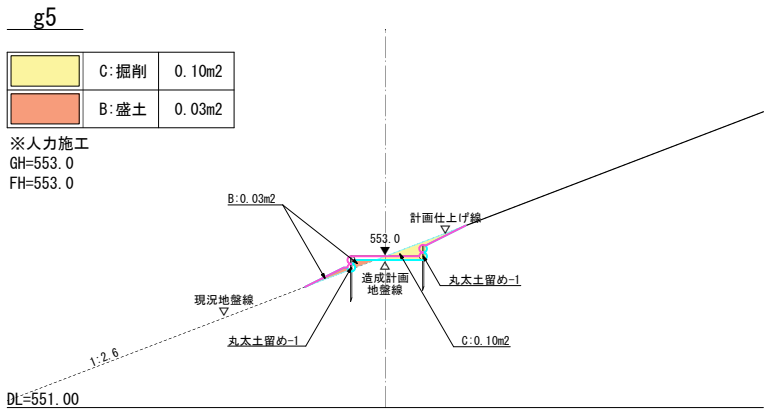
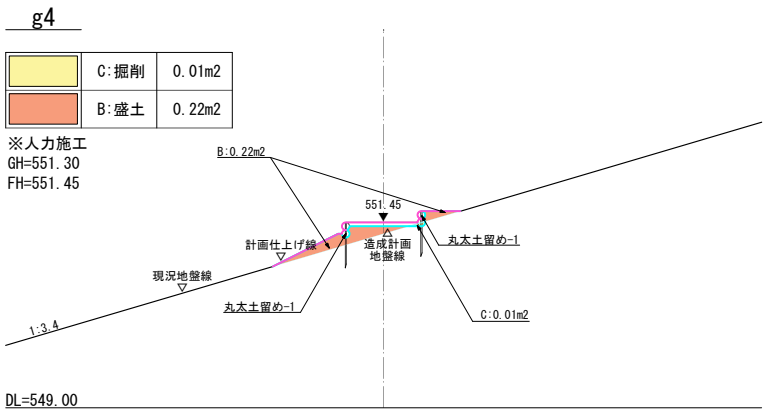
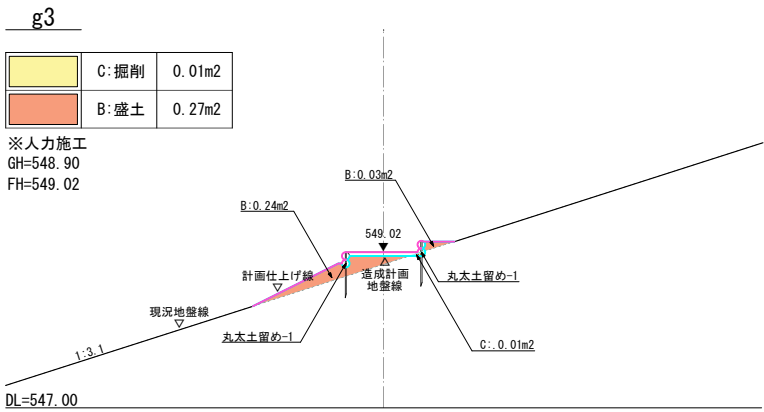
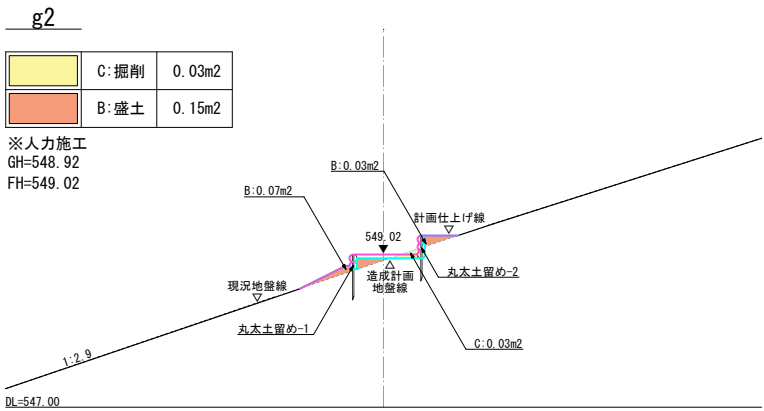
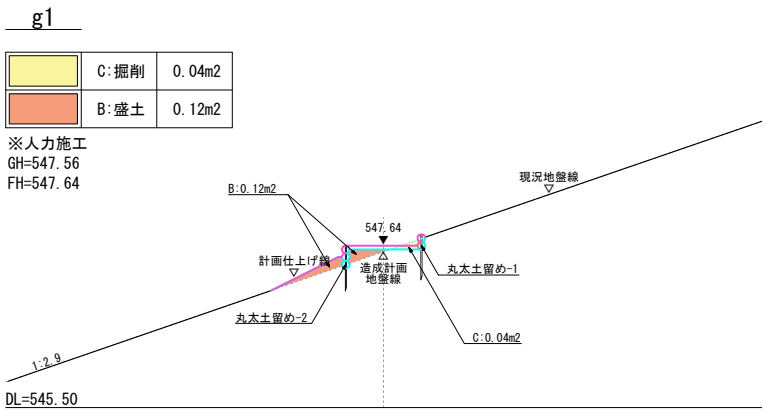


特記  
・木製棒土留め敷設後の埋戻し土量は、木製棒土留め土工にて別途計上。

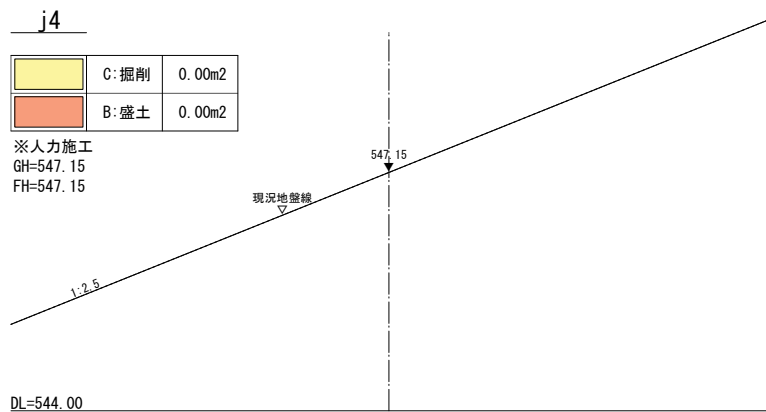
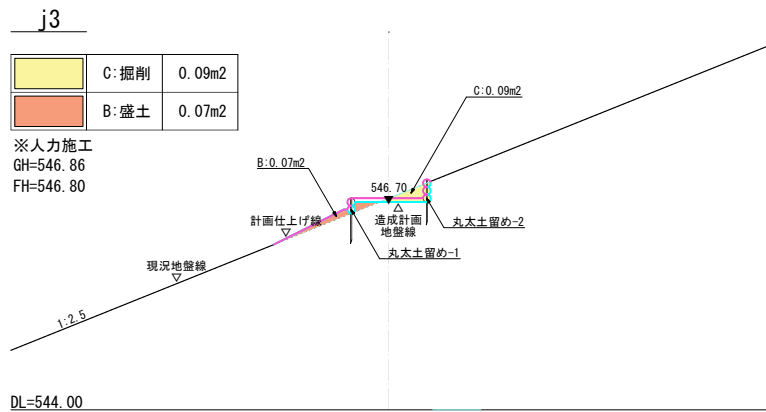
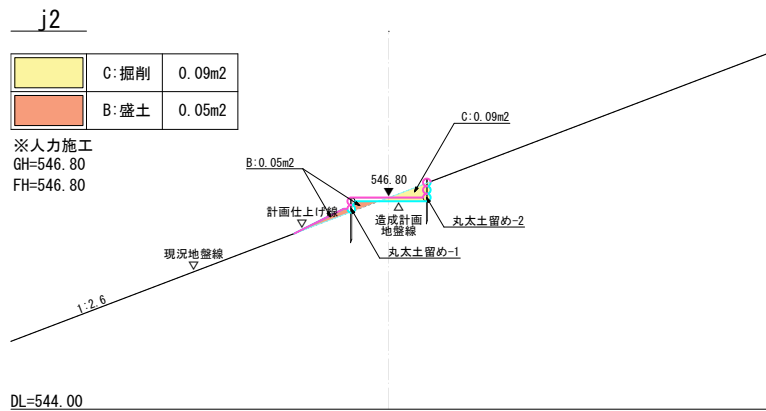
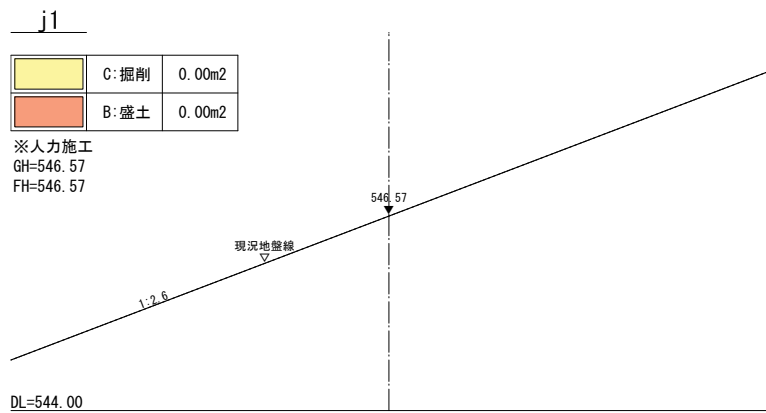
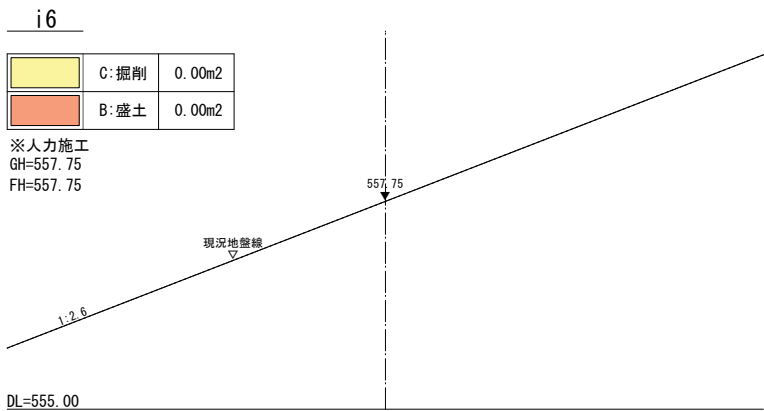
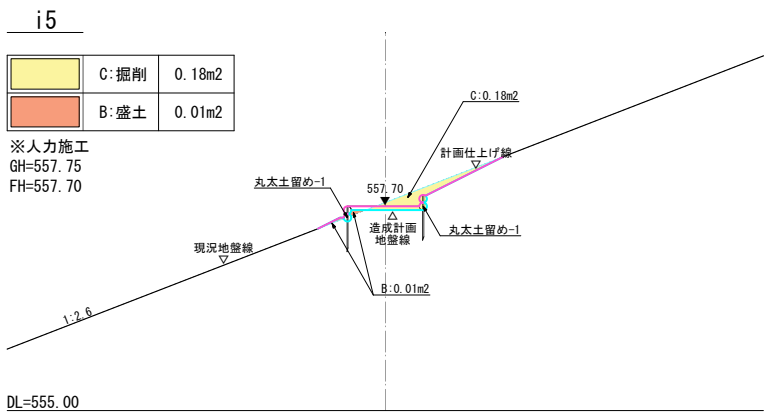
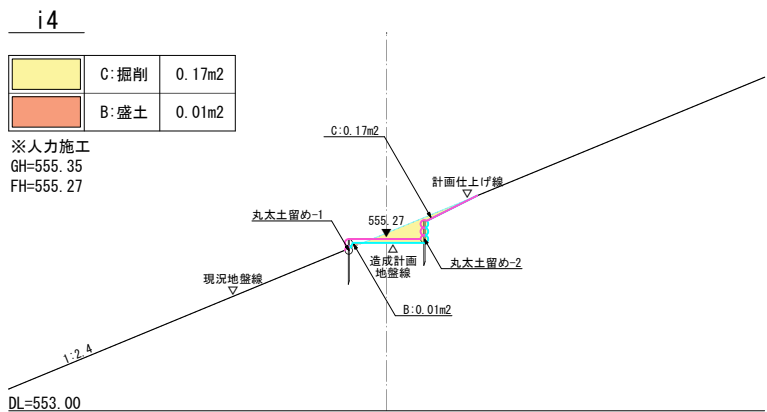
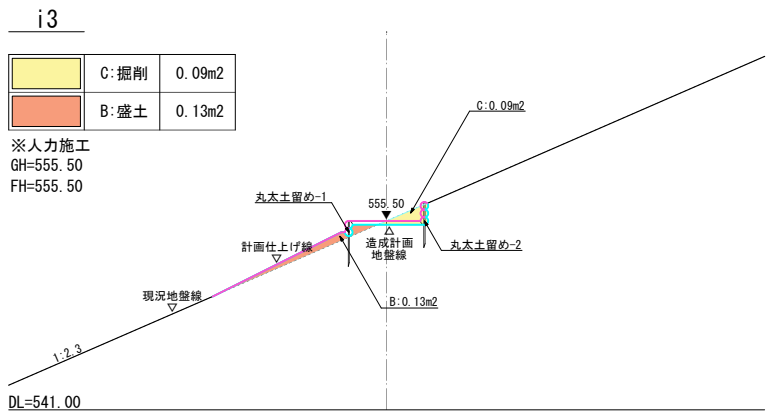
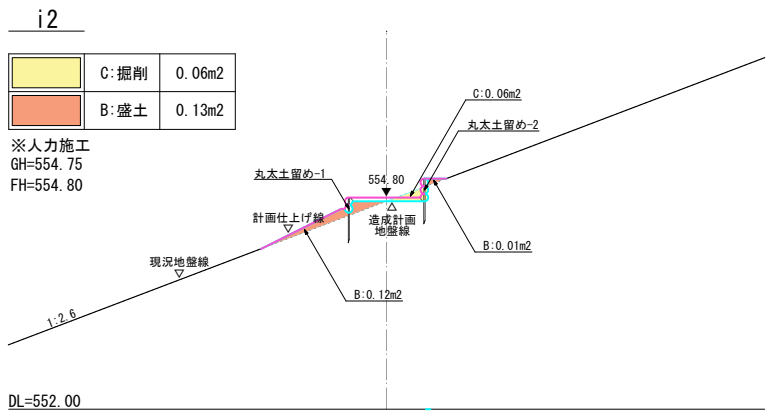
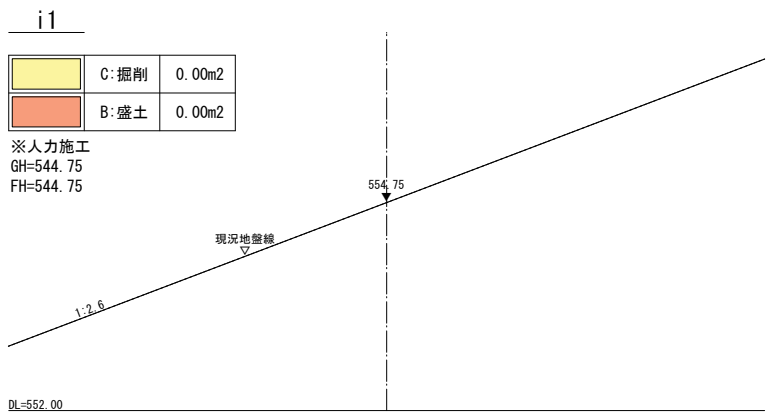


・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。





特 記  
・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。



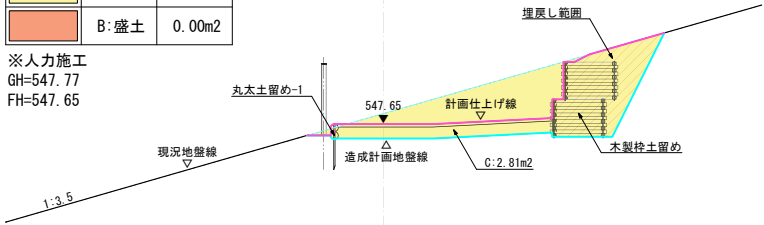
特 記  
・木製柁土留め敷設後の埋戻し土量は、木製柁土留め土工にて別途計上。



k1

	C:掘削	2.81m2
	B:盛土	0.00m2

※人力施工  
GH=547.77  
FH=547.65

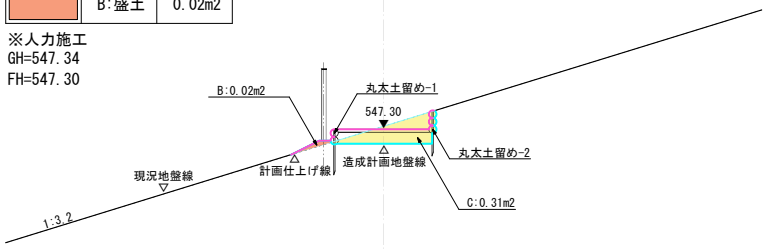


DL=545.00

k2

	C:掘削	0.31m2
	B:盛土	0.02m2

※人力施工  
GH=547.34  
FH=547.30

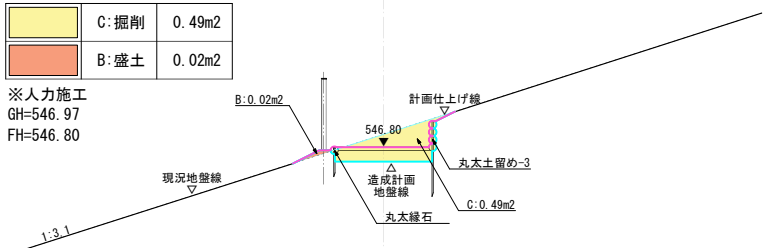


DL=545.00

k3

	C:掘削	0.49m2
	B:盛土	0.02m2

※人力施工  
GH=546.97  
FH=546.80

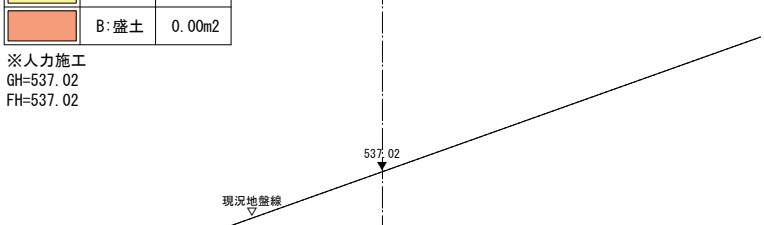


DL=544.00

l1

	C:掘削	0.00m2
	B:盛土	0.00m2

※人力施工  
GH=537.02  
FH=537.02

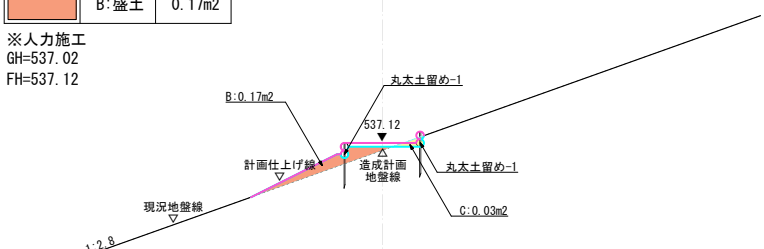


DL=535.00

l2

	C:掘削	0.03m2
	B:盛土	0.17m2

※人力施工  
GH=537.02  
FH=537.12

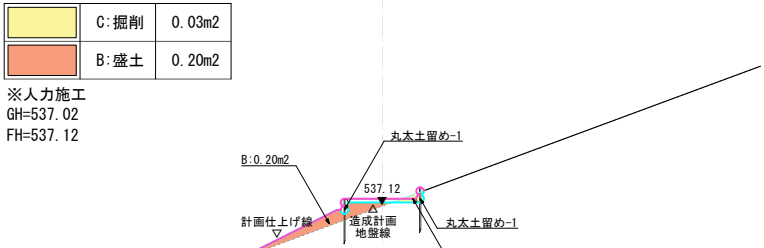


DL=535.00

l3

	C:掘削	0.03m2
	B:盛土	0.20m2

※人力施工  
GH=537.02  
FH=537.12

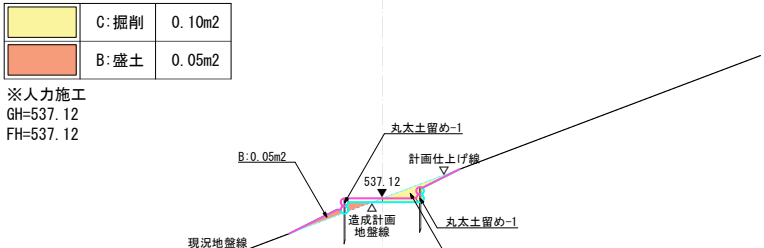


DL=535.00

l4

	C:掘削	0.10m2
	B:盛土	0.05m2

※人力施工  
GH=537.12  
FH=537.12

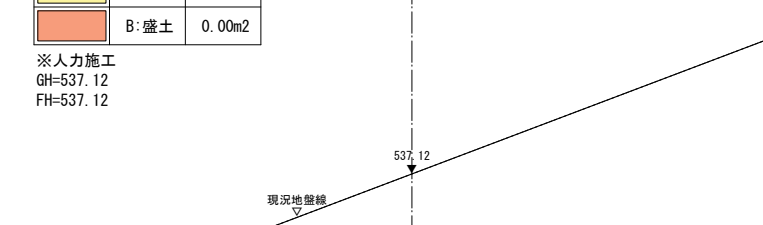


DL=535.00

l5

	C:掘削	0.00m2
	B:盛土	0.00m2

※人力施工  
GH=537.12  
FH=537.12



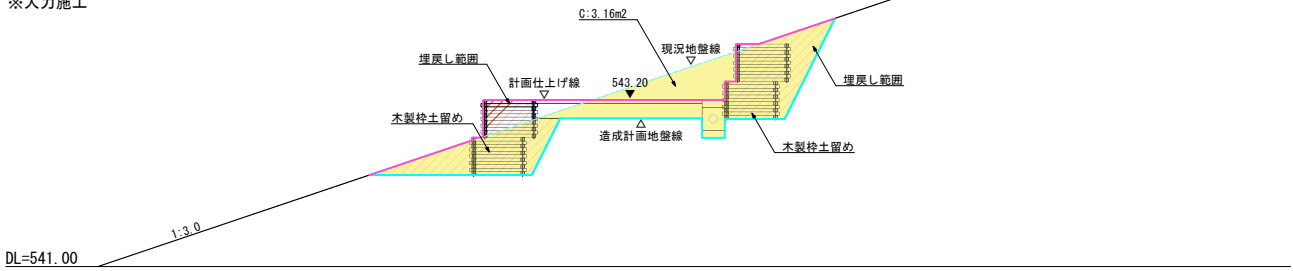
DL=535.00

特記  
・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。

ア1

	C:掘削	3.16m2
	B:盛土	0.00m2

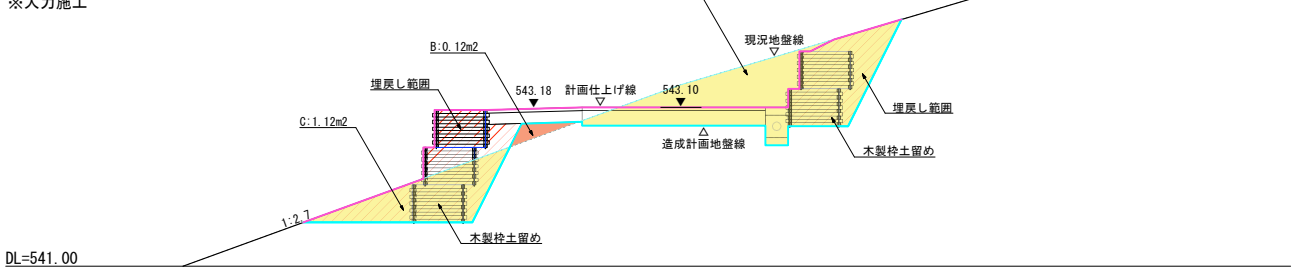
※人力施工



ア2

	C:掘削	3.94m2
	B:盛土	0.12m2

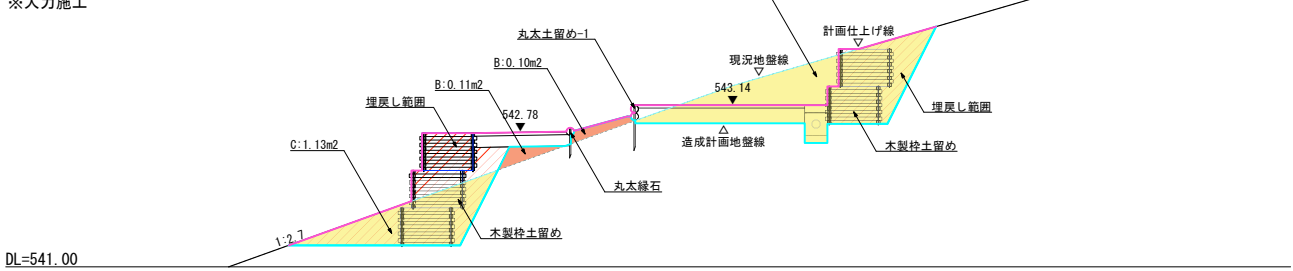
※人力施工



ア3

	C:掘削	3.54m2
	B:盛土	0.21m2

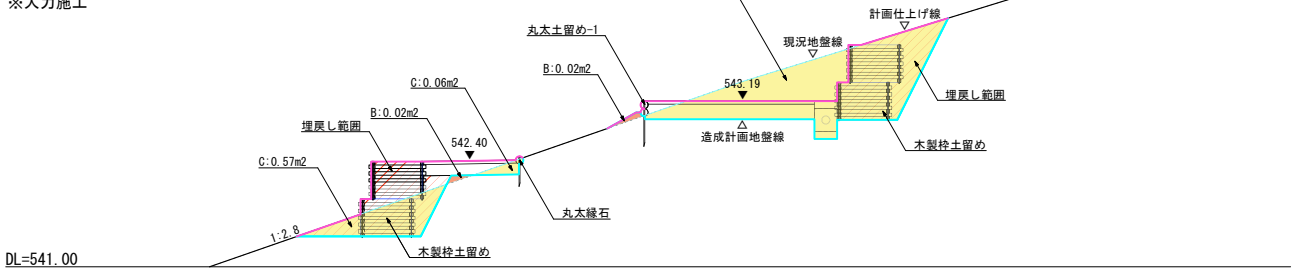
※人力施工



ア4

	C:掘削	3.12m2
	B:盛土	0.04m2

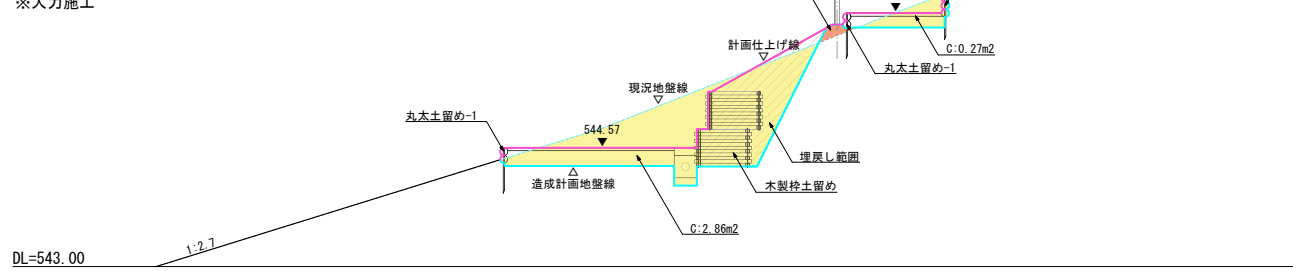
※人力施工



イ1

	C:掘削	3.13m2
	B:盛土	0.05m2

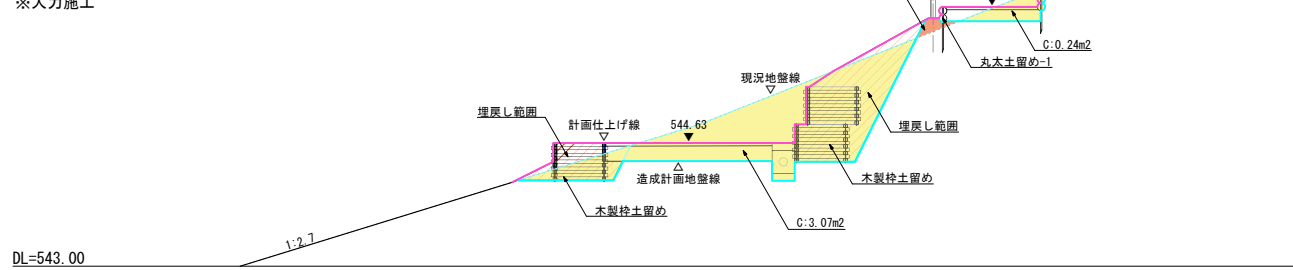
※人力施工



イ2

	C:掘削	3.31m2
	B:盛土	0.06m2

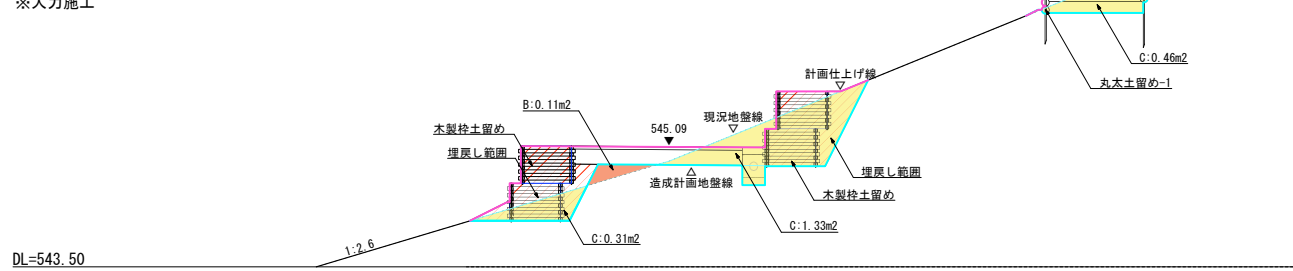
※人力施工



イ3

	C:掘削	2.10m2
	B:盛土	0.11m2

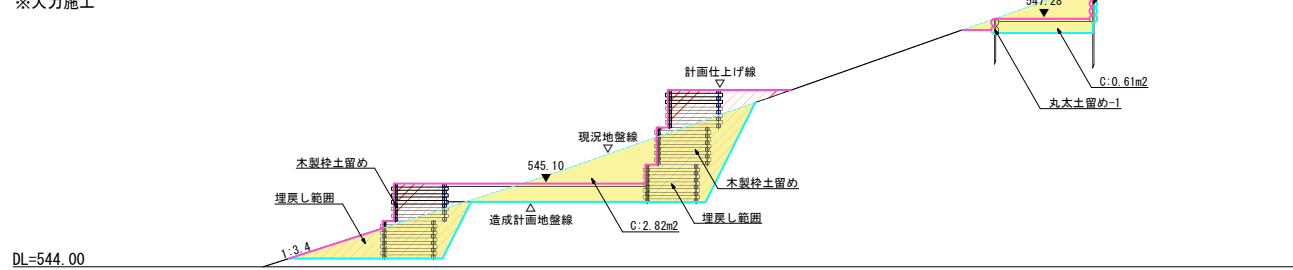
※人力施工



イ4

	C:掘削	3.43m2
	B:盛土	0.00m2

※人力施工



特 記  
・木製杭土留め敷設後の埋戻し土量は、木製杭土留め土工にて別途計上。

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター  
千里事業部

縮尺  
A1:S=1/50, A3:S=1/100  
設計  
令和 7 年 3 月

工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木墓地（12区エリア）整備工事  
図面名称 造成断面図（9）

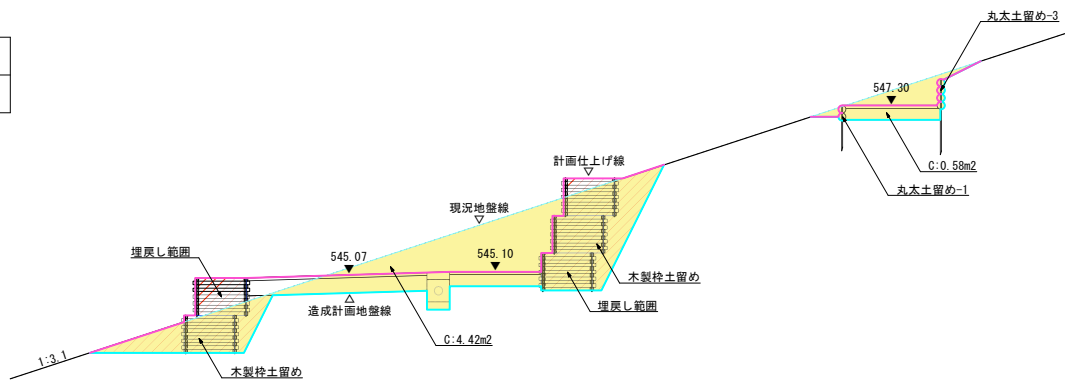
No.  
30 / 80

15

	C:掘削	5.00m2
	B:盛土	0.00m2

※人力施工

DL=543.50

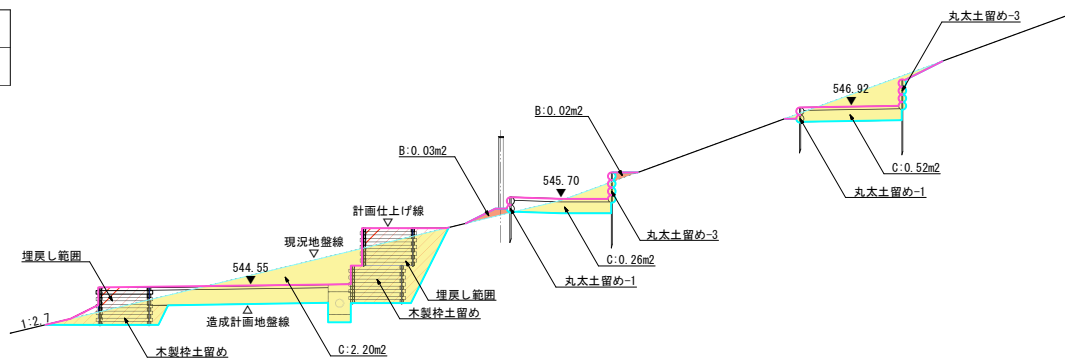


16

	C:掘削	2.98m2
	B:盛土	0.05m2

※人力施工

DL=543.50

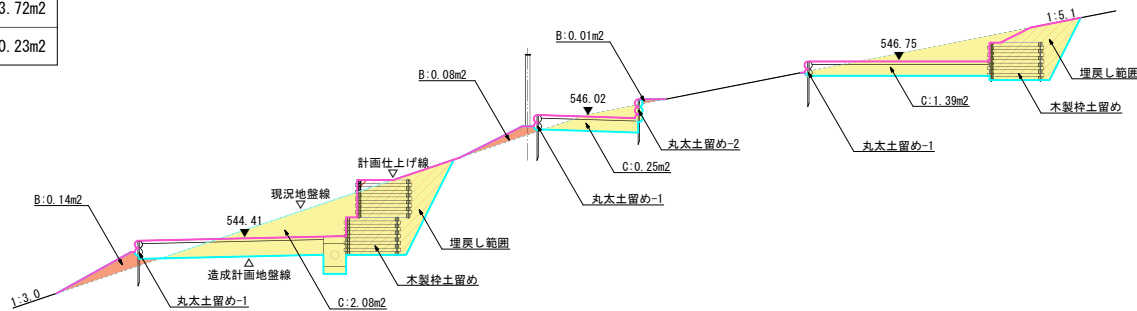


17

	C:掘削	3.72m2
	B:盛土	0.23m2

※人力施工

DL=543.00

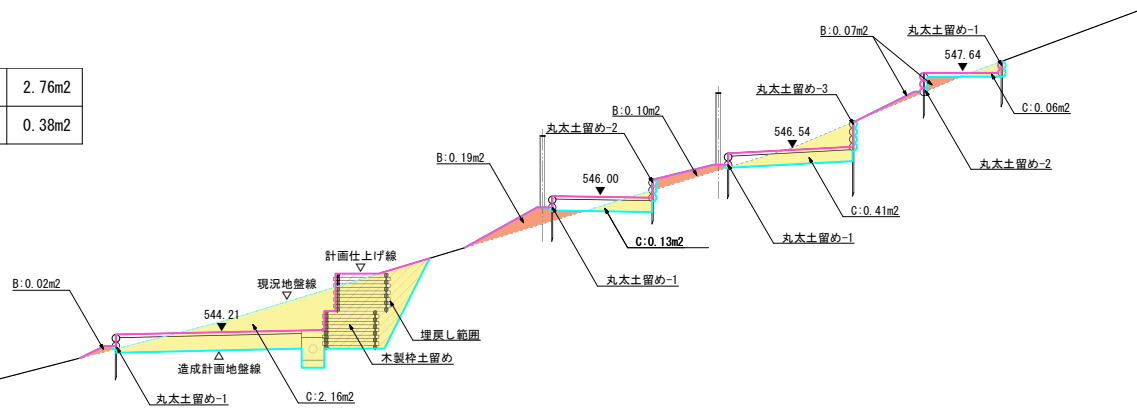


18

	C:掘削	2.76m2
	B:盛土	0.38m2

※人力施工

DL=543.00

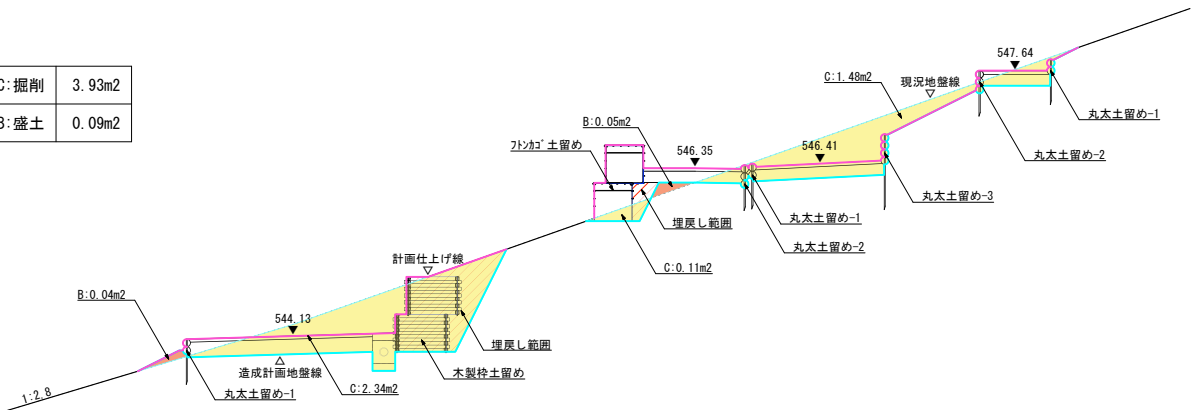


19

	C:掘削	3.93m2
	B:盛土	0.09m2

※人力施工

DL=543.00

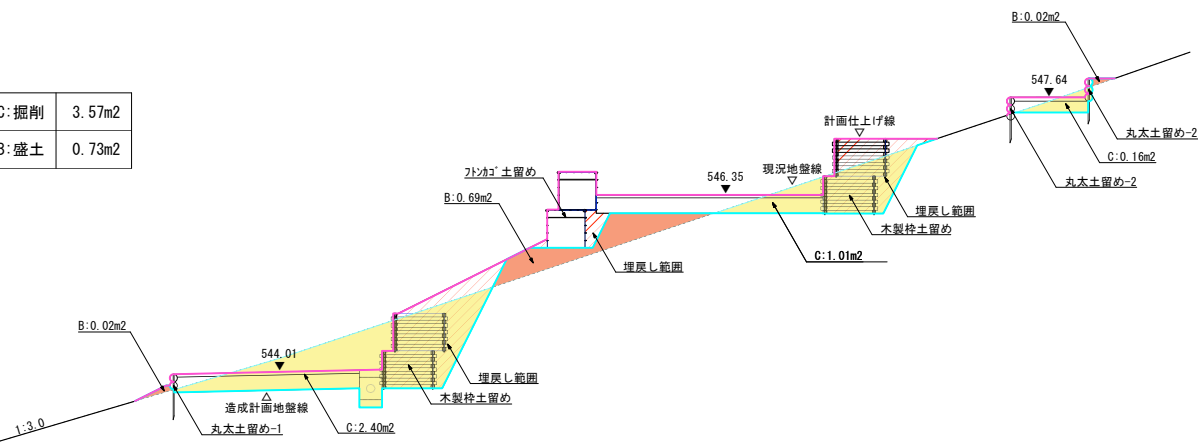


110

	C:掘削	3.57m2
	B:盛土	0.73m2

※人力施工

DL=543.00

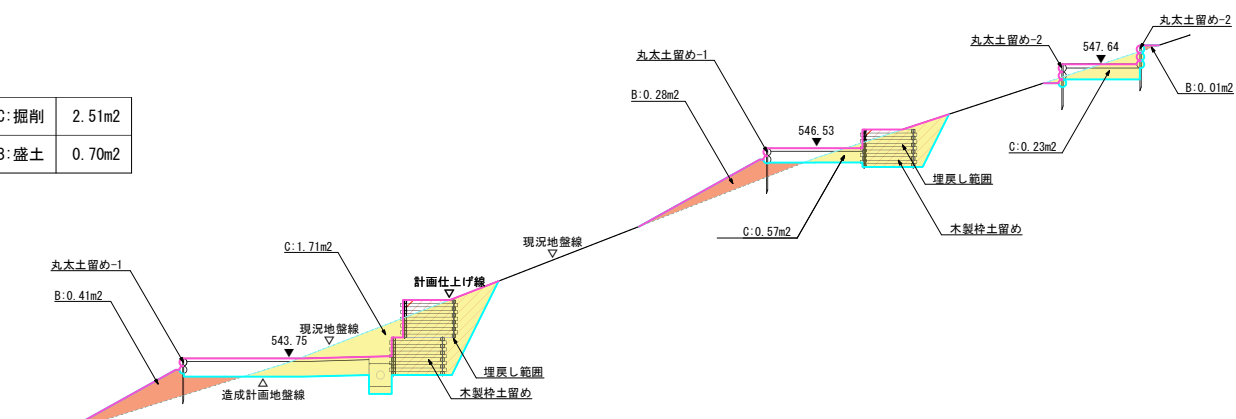


111

	C:掘削	2.51m2
	B:盛土	0.70m2

※人力施工

DL=542.50

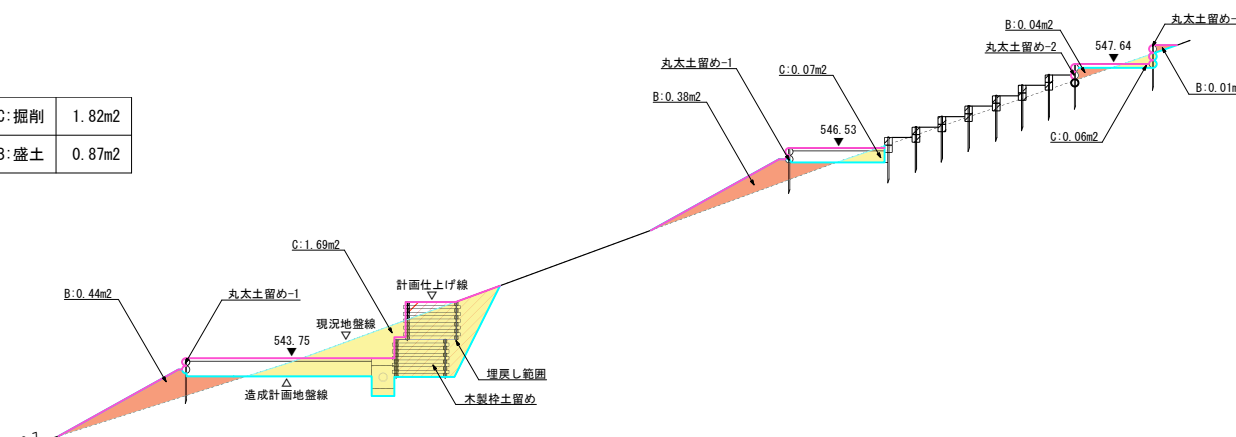


112

	C:掘削	1.82m2
	B:盛土	0.87m2

※人力施工

DL=542.50



特 記  
・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター  
千里事業部

縮尺  
A1:S=1/50, A3:S=1/100  
設計  
令和7年 3月

工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木墓地（12区エリア）整備工事  
図面名称 造成断面図（10）

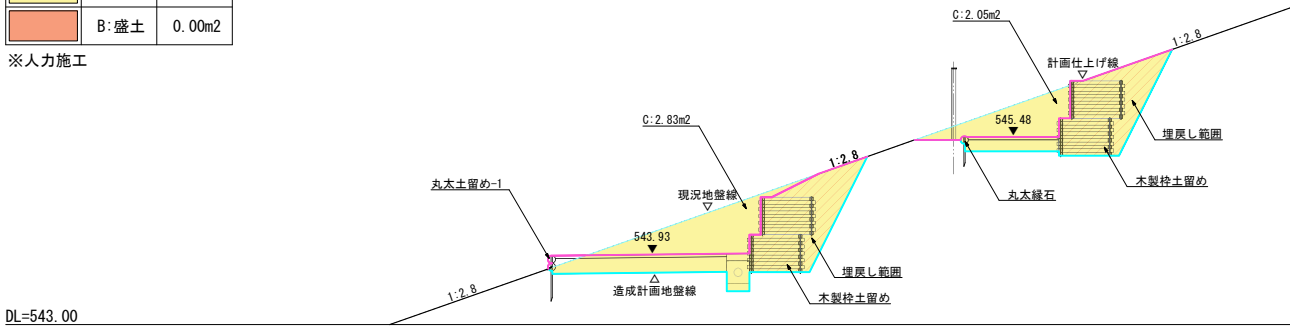
No.  
31 / 80



ウ1

	C:掘削	4.88m2
	B:盛土	0.00m2

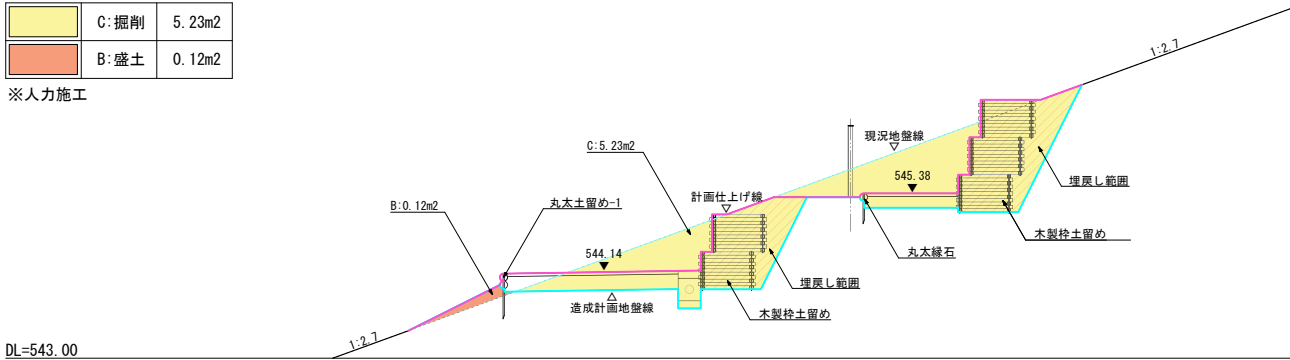
※人力施工



ウ2

	C:掘削	5.23m2
	B:盛土	0.12m2

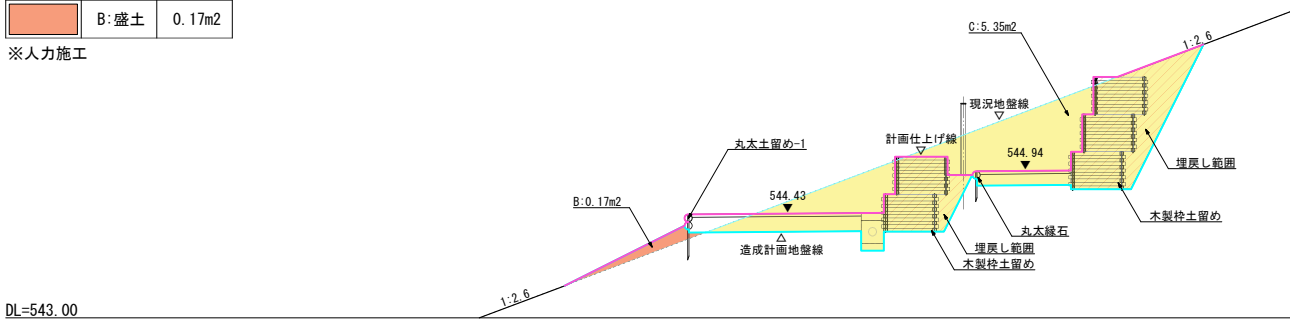
※人力施工



ウ3

	C:掘削	5.35m2
	B:盛土	0.17m2

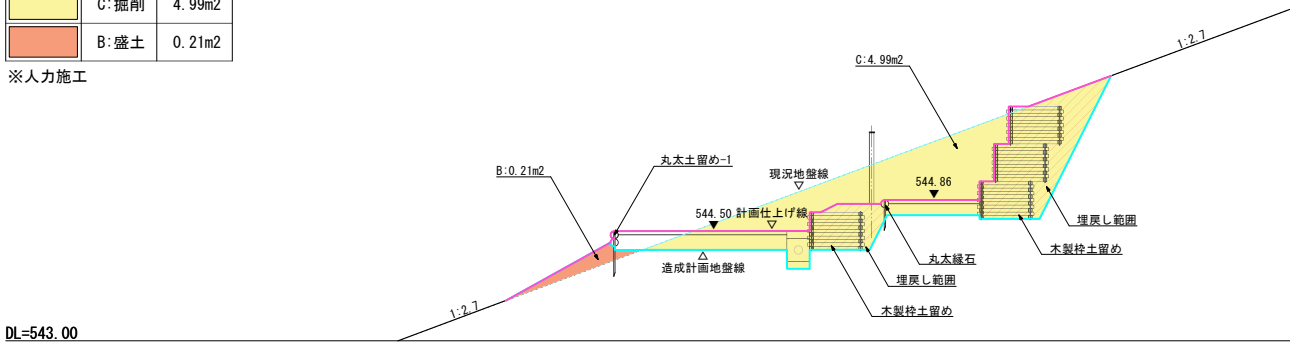
※人力施工



ウ4

	C:掘削	4.99m2
	B:盛土	0.21m2

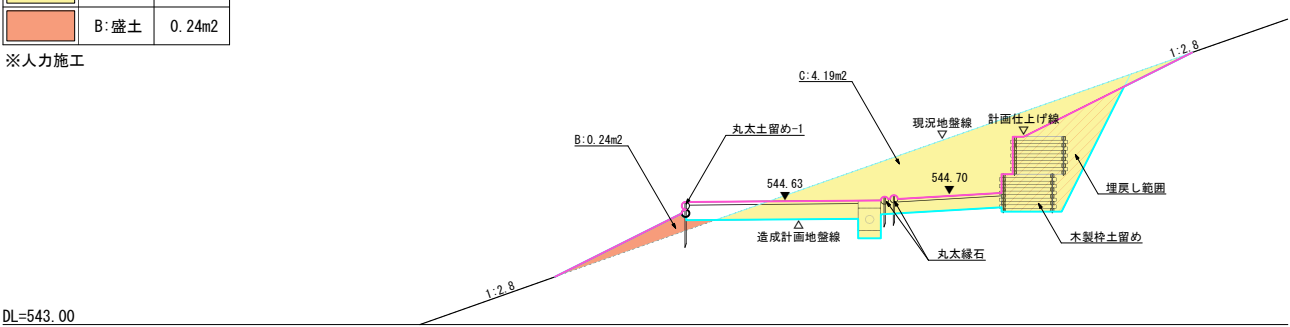
※人力施工



ウ5

	C:掘削	4.19m2
	B:盛土	0.24m2

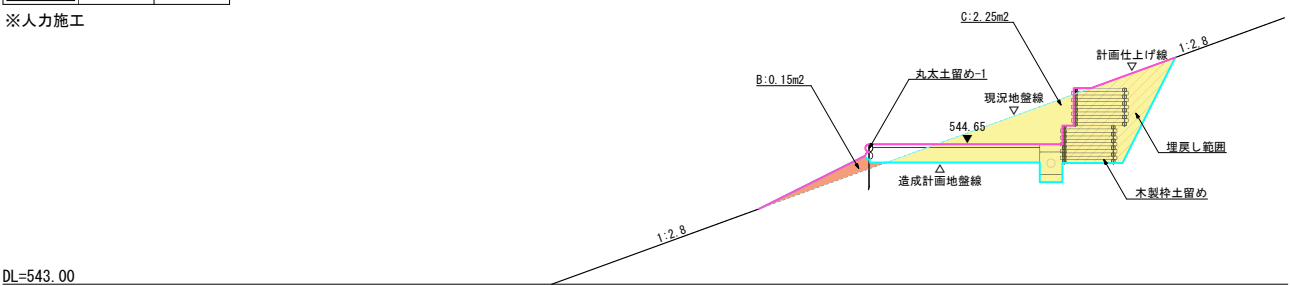
※人力施工



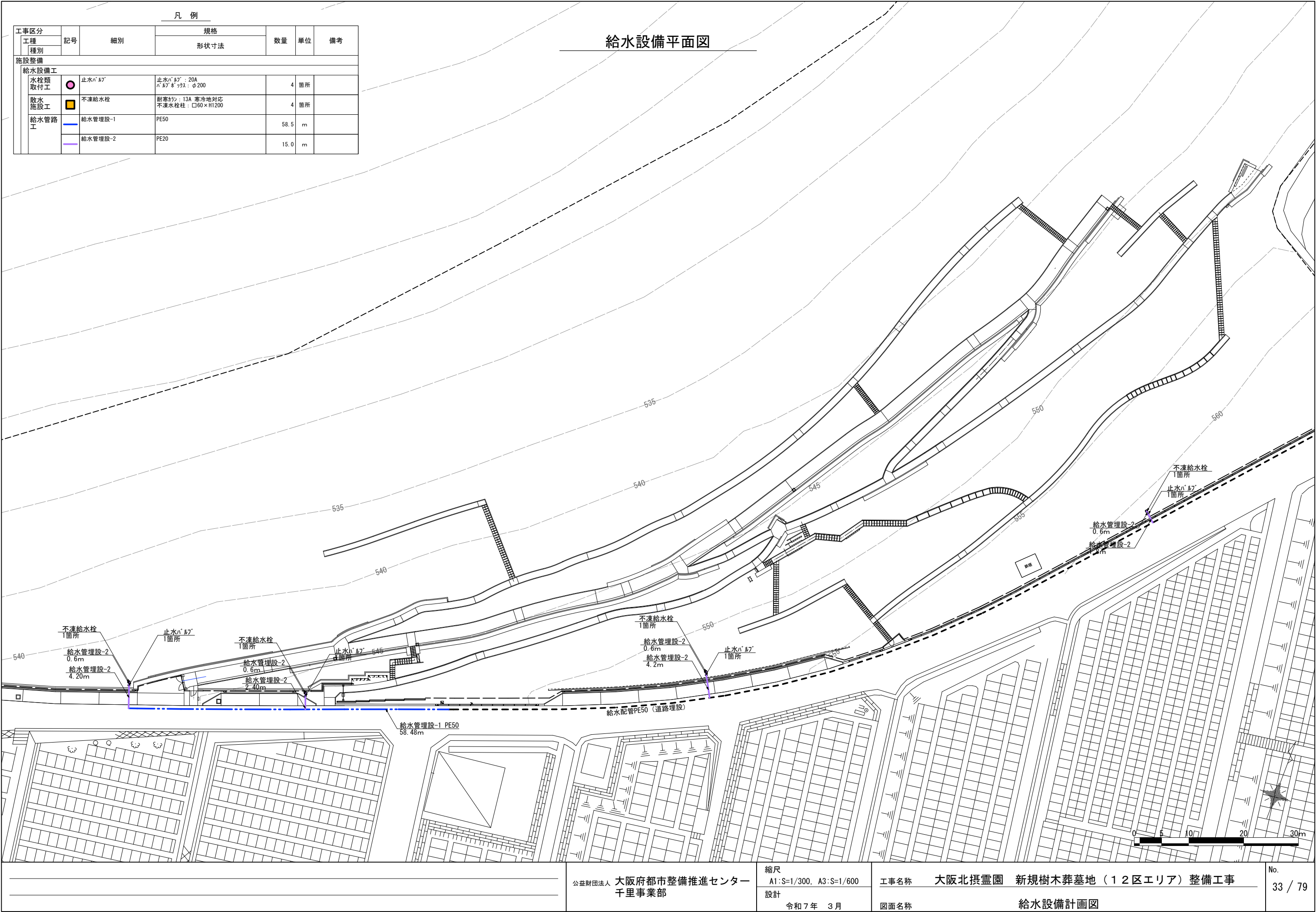
ウ6

	C:掘削	2.25m2
	B:盛土	0.15m2



※人力施工



特 記  
・木製枠土留め敷設後の埋戻し土量は、木製枠土留め土工にて別途計上。



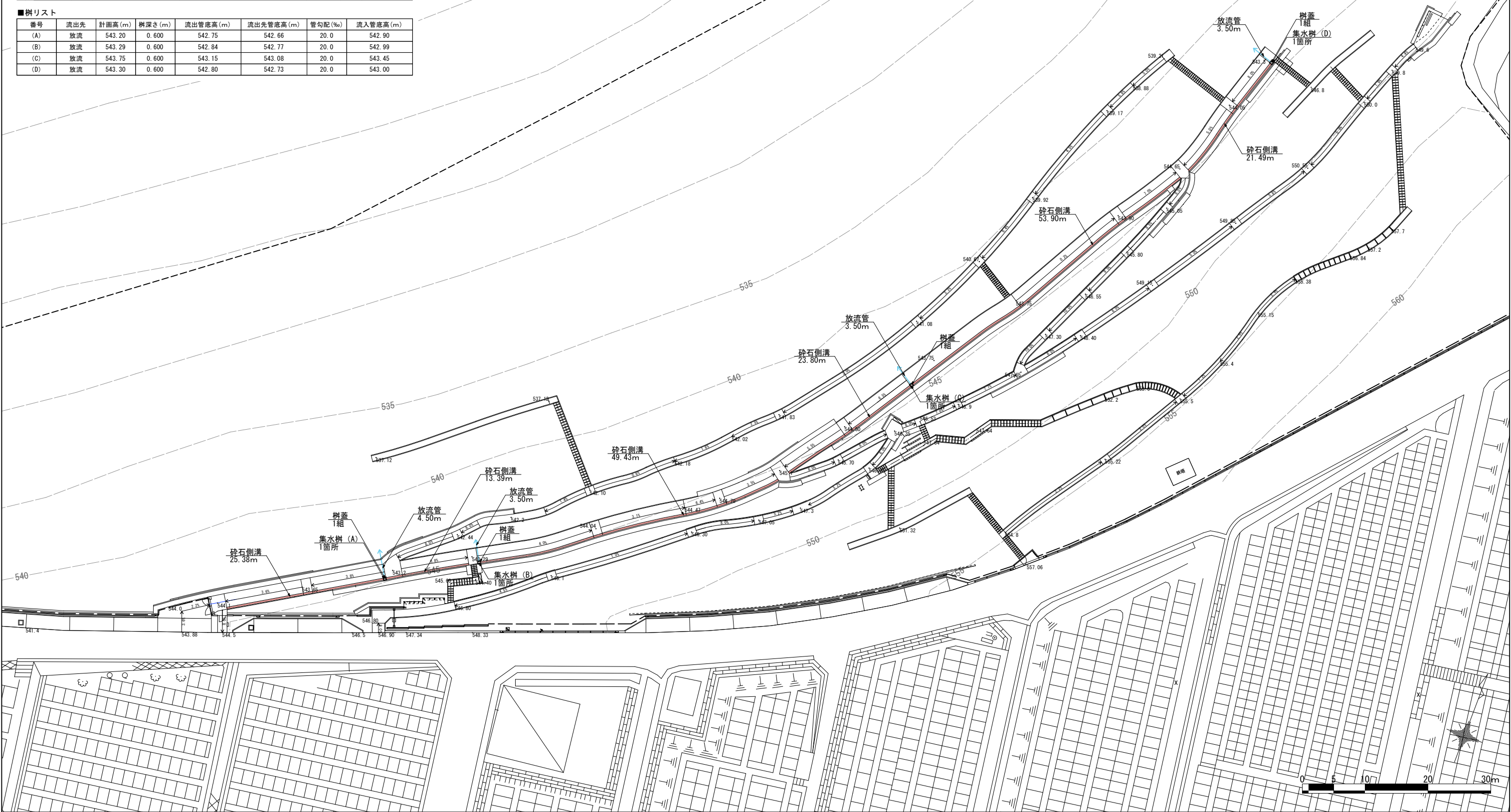
凡 例

工事区分		記号	細別	規格	数量	単位	備考
	工程			形状寸法			
	種別						
施設整備							
雨水排水設備工							
側溝工		砕石側溝	W300 有孔管φ100砕石巻き		187.4	m	
		放流管	VUφ100		15.0	m	
集水樹・マンホール工		集水樹	内径□300 樹蓋設置		4	箇所	
		樹蓋	□300用鋳鉄製格子蓋 普通目 嵩上げ受枠 T-2		4	組	

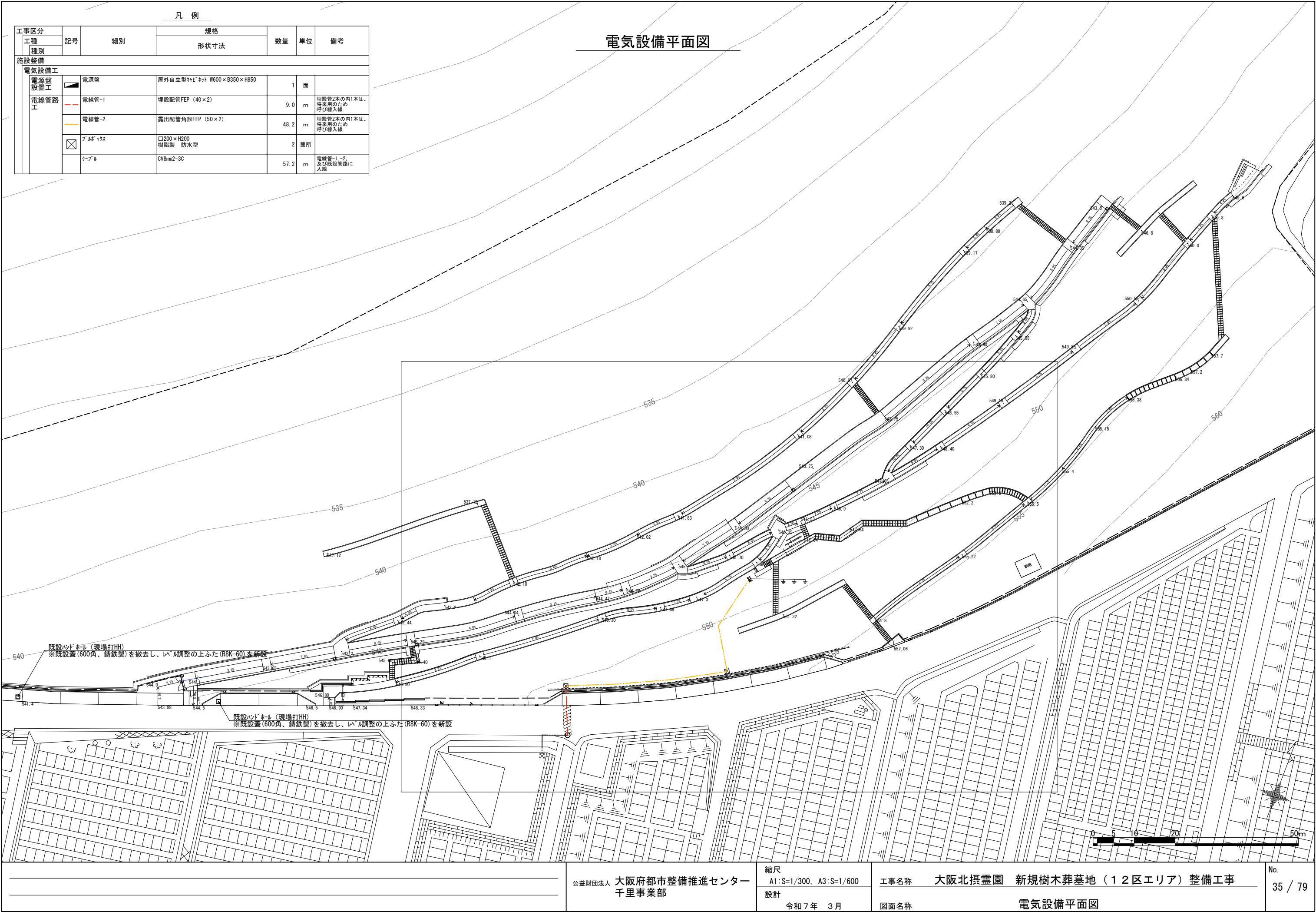
■樹リスト

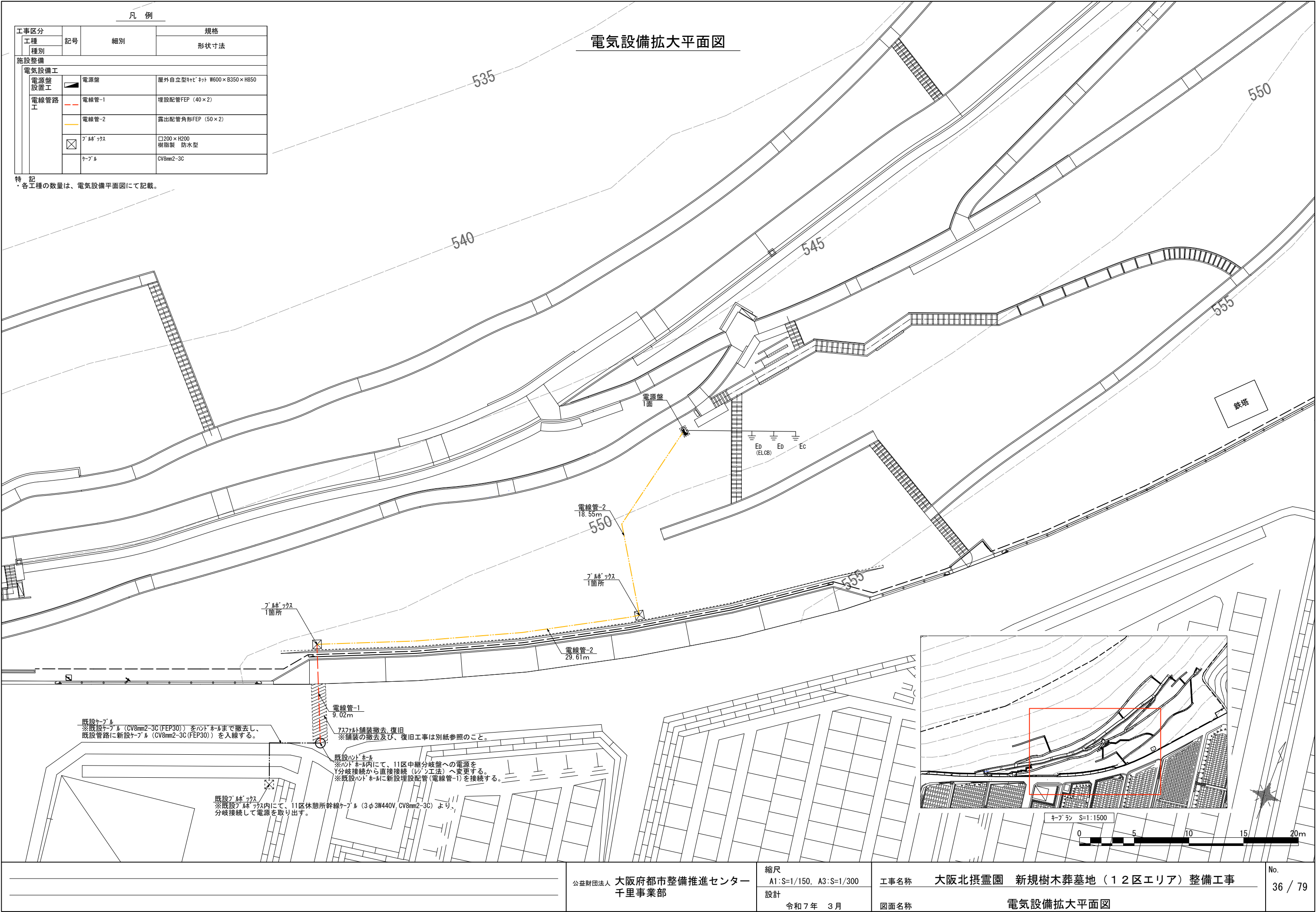
番号	流出先	計画高(m)	樹深さ(m)	流出管底高(m)	流出先管底高(m)	管勾配(%)	流入管底高(m)
(A)	放流	543.20	0.600	542.75	542.66	20.0	542.90
(B)	放流	543.29	0.600	542.84	542.77	20.0	542.99
(C)	放流	543.75	0.600	543.15	543.08	20.0	543.45
(D)	放流	543.30	0.600	542.80	542.73	20.0	543.00

雨水排水設備平面図

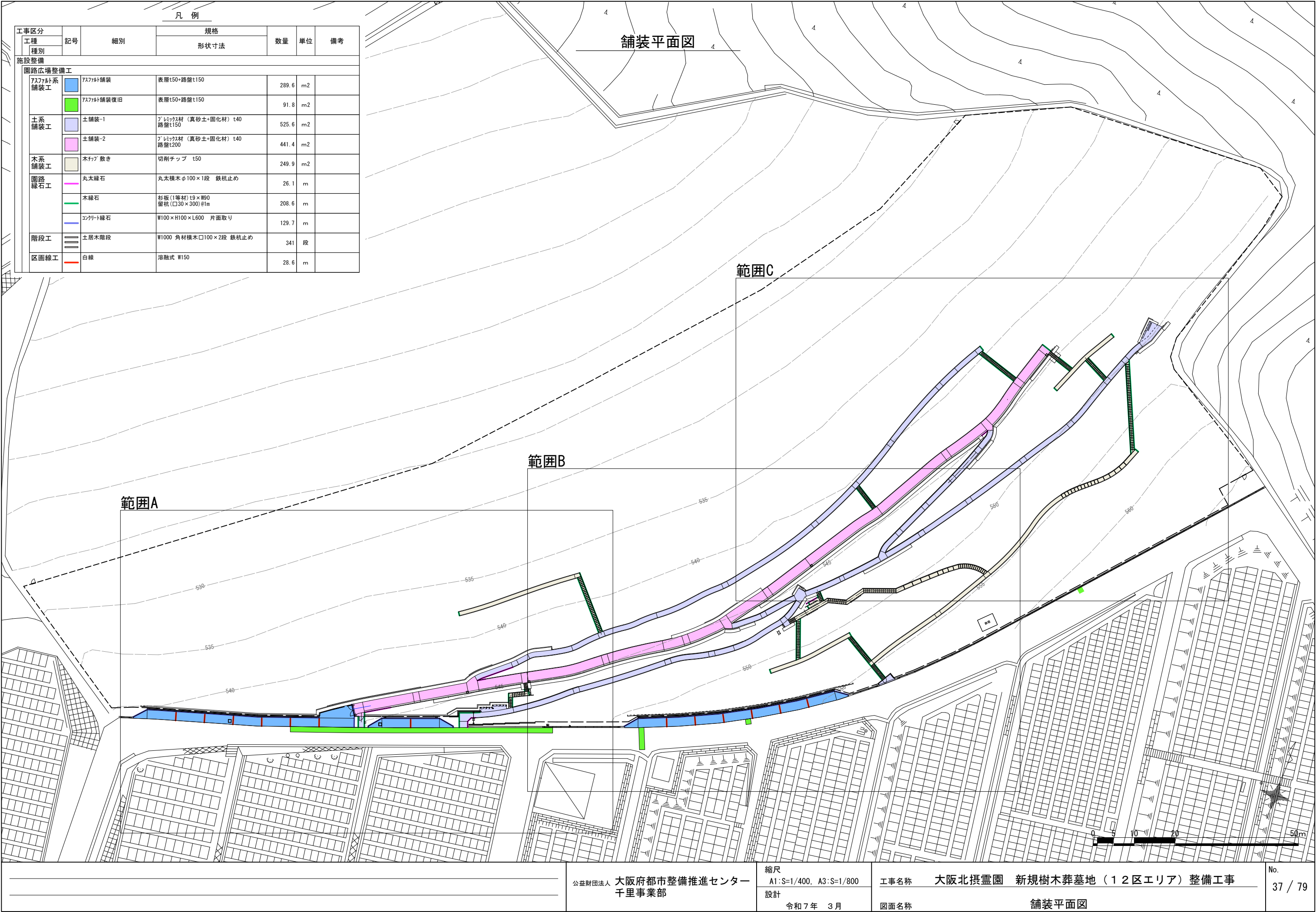






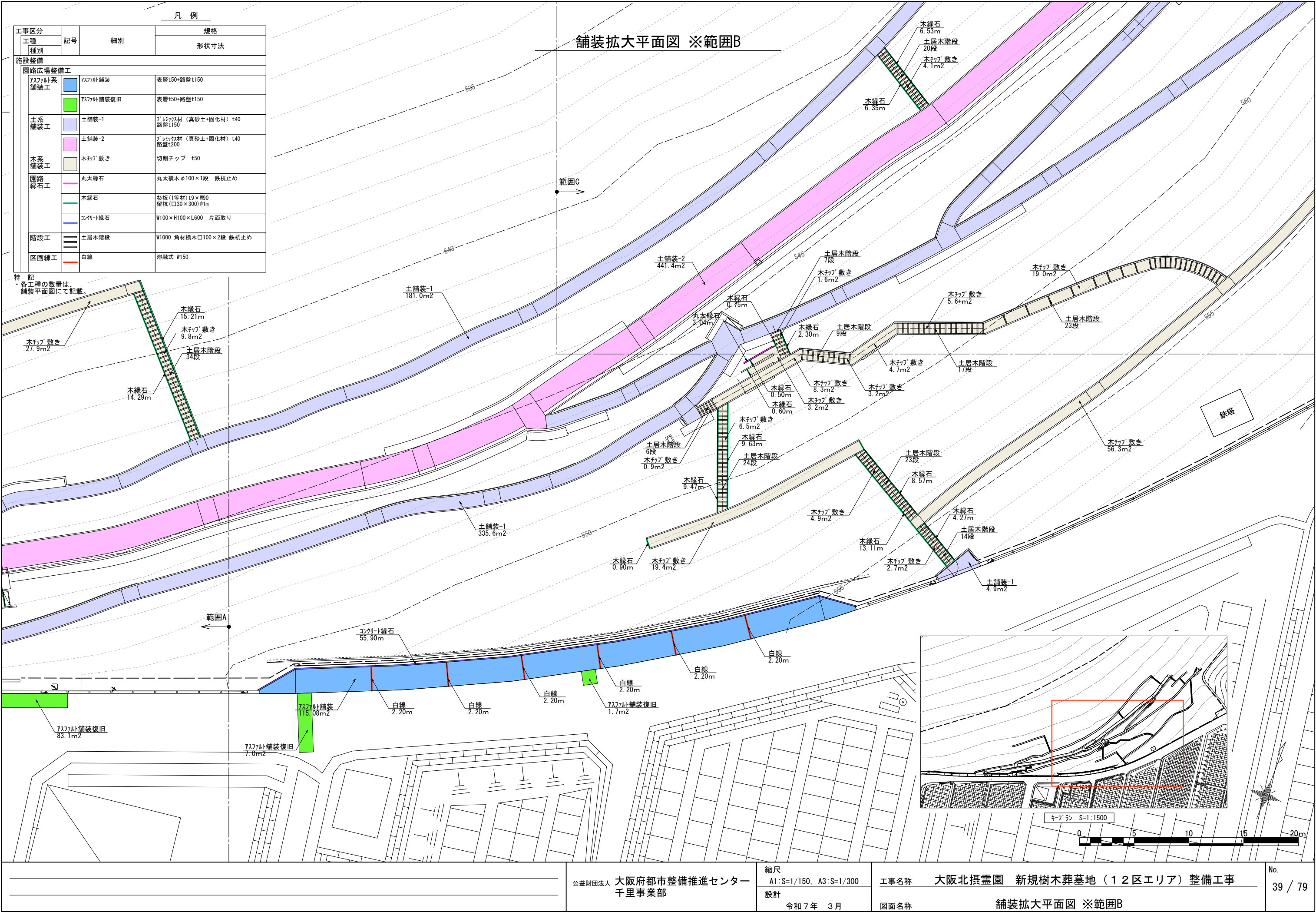




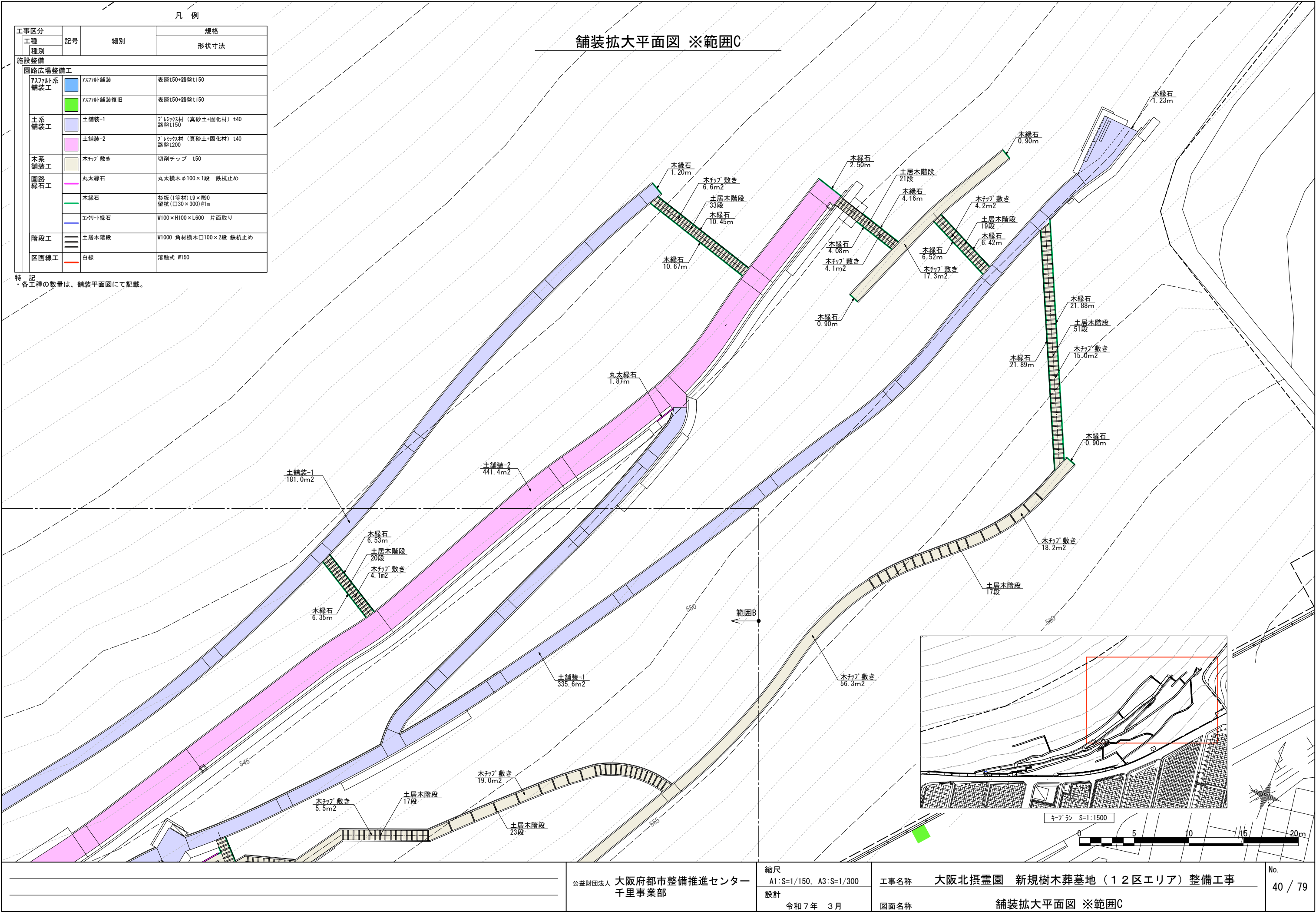




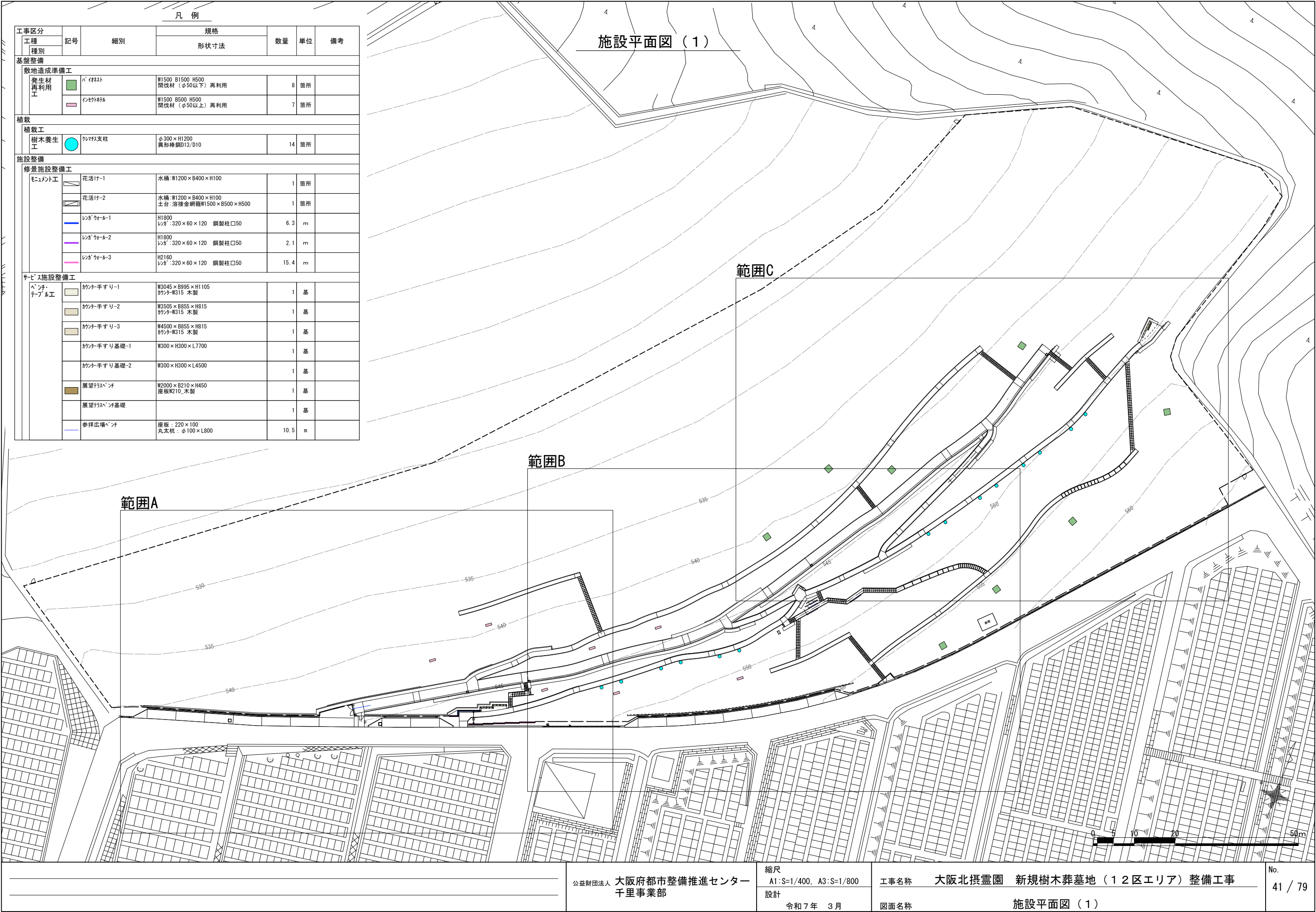


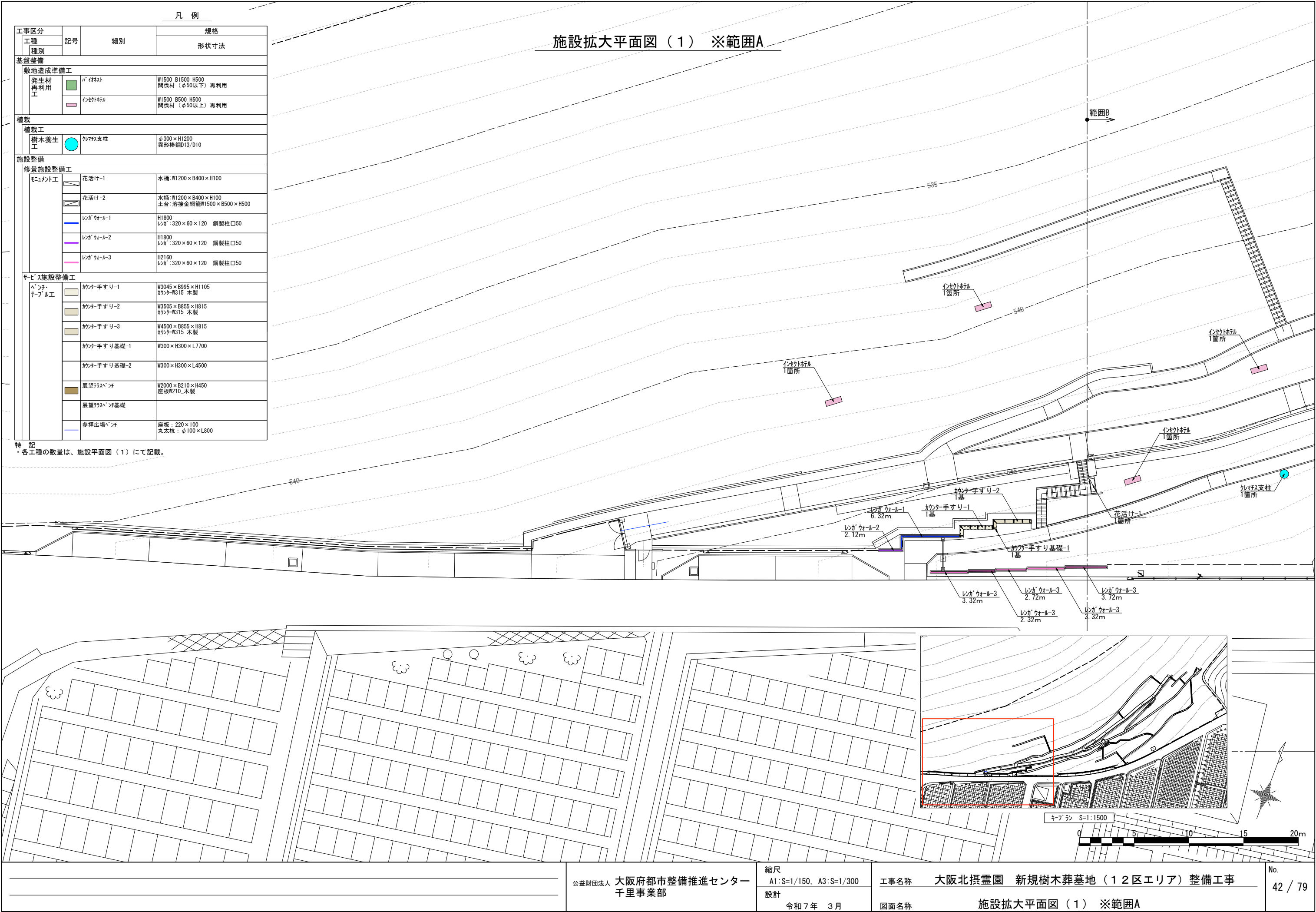




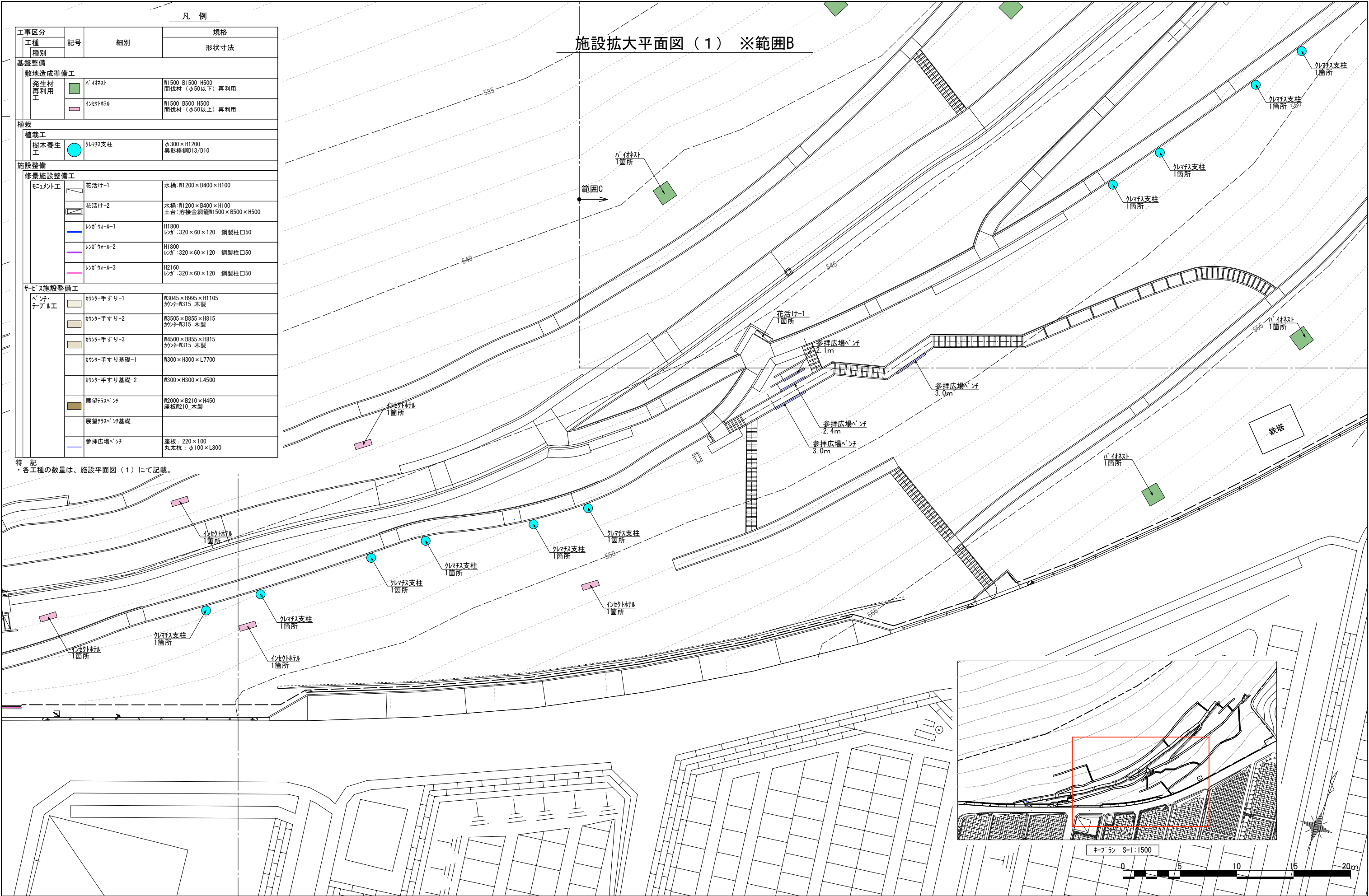




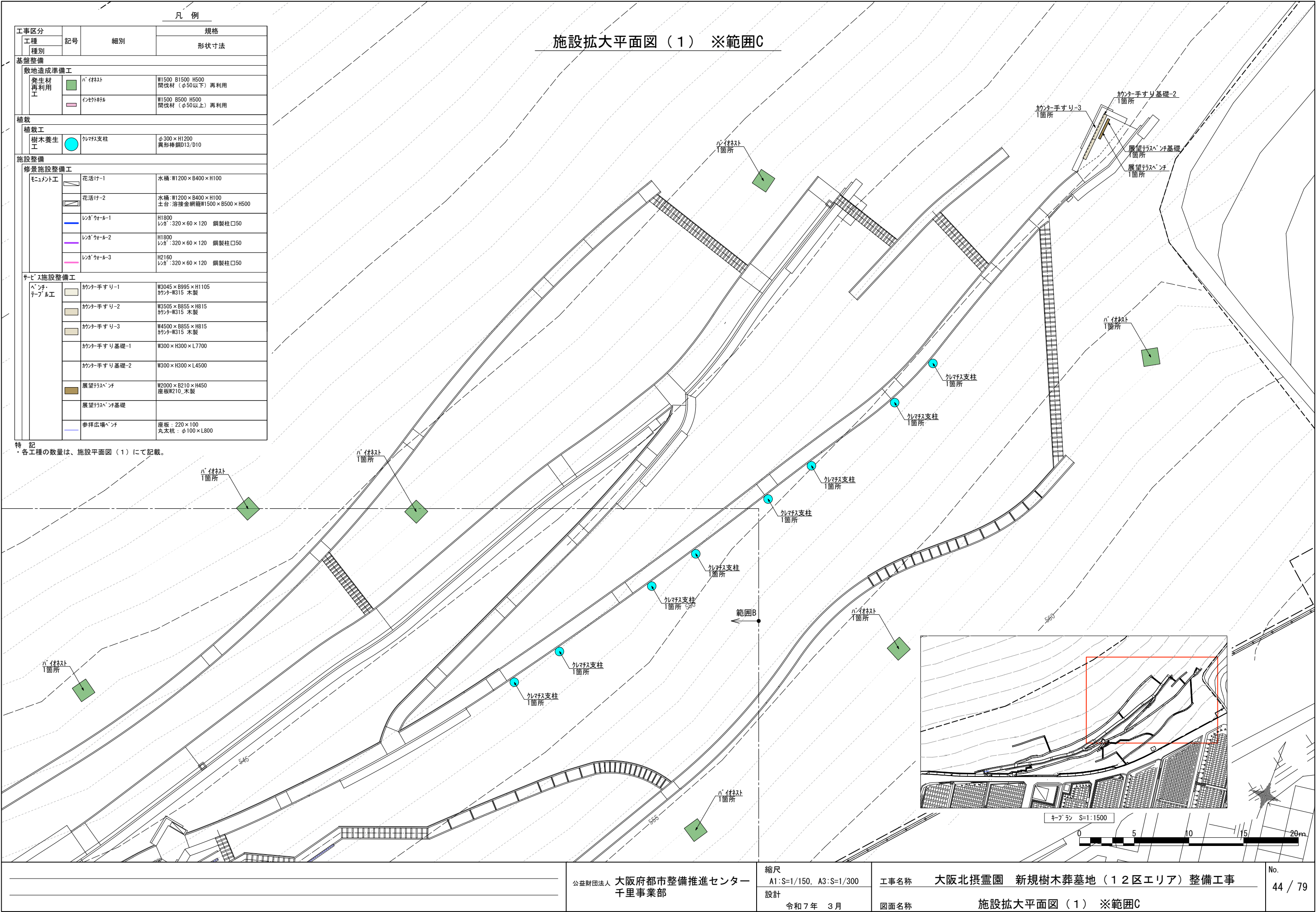


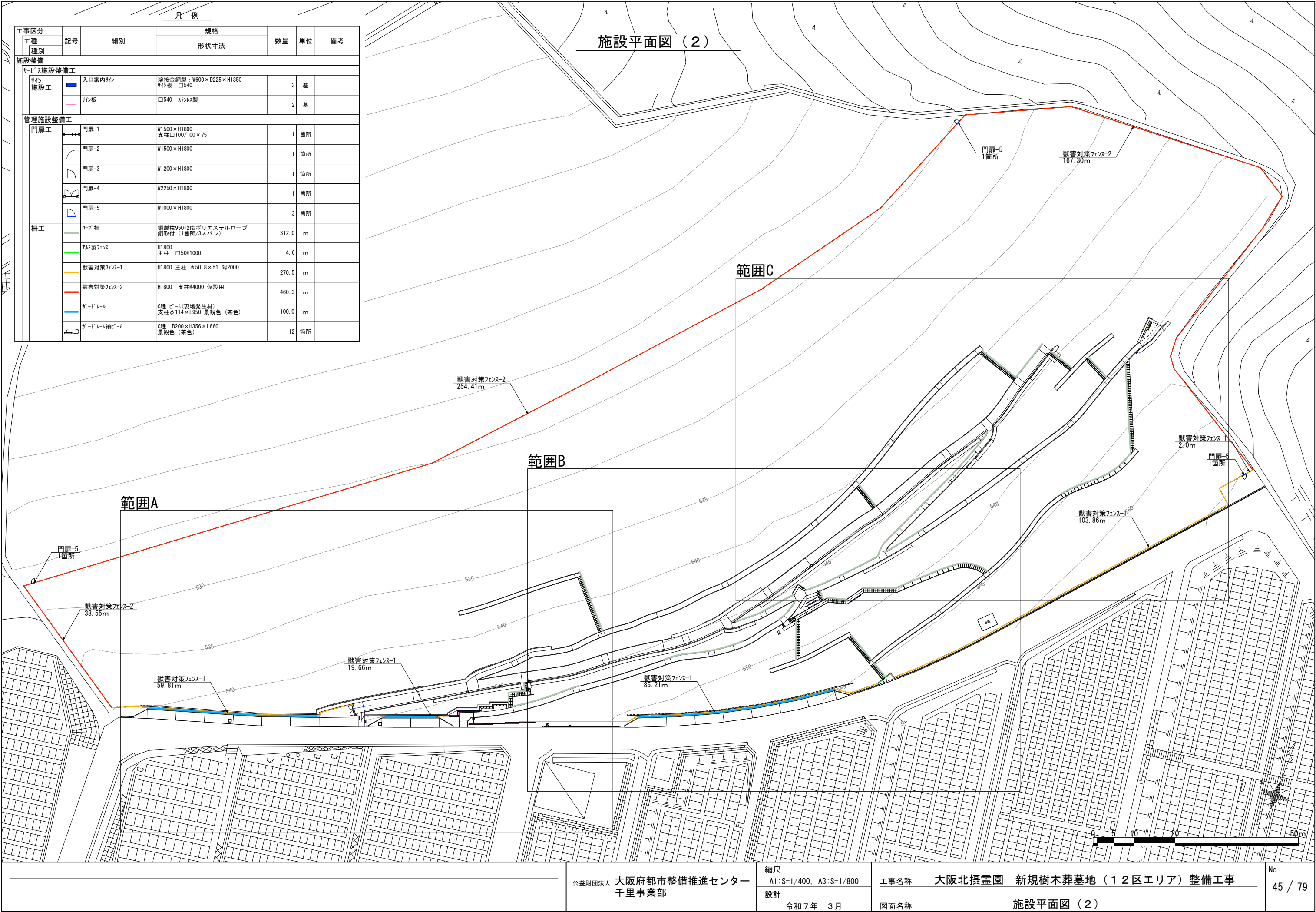




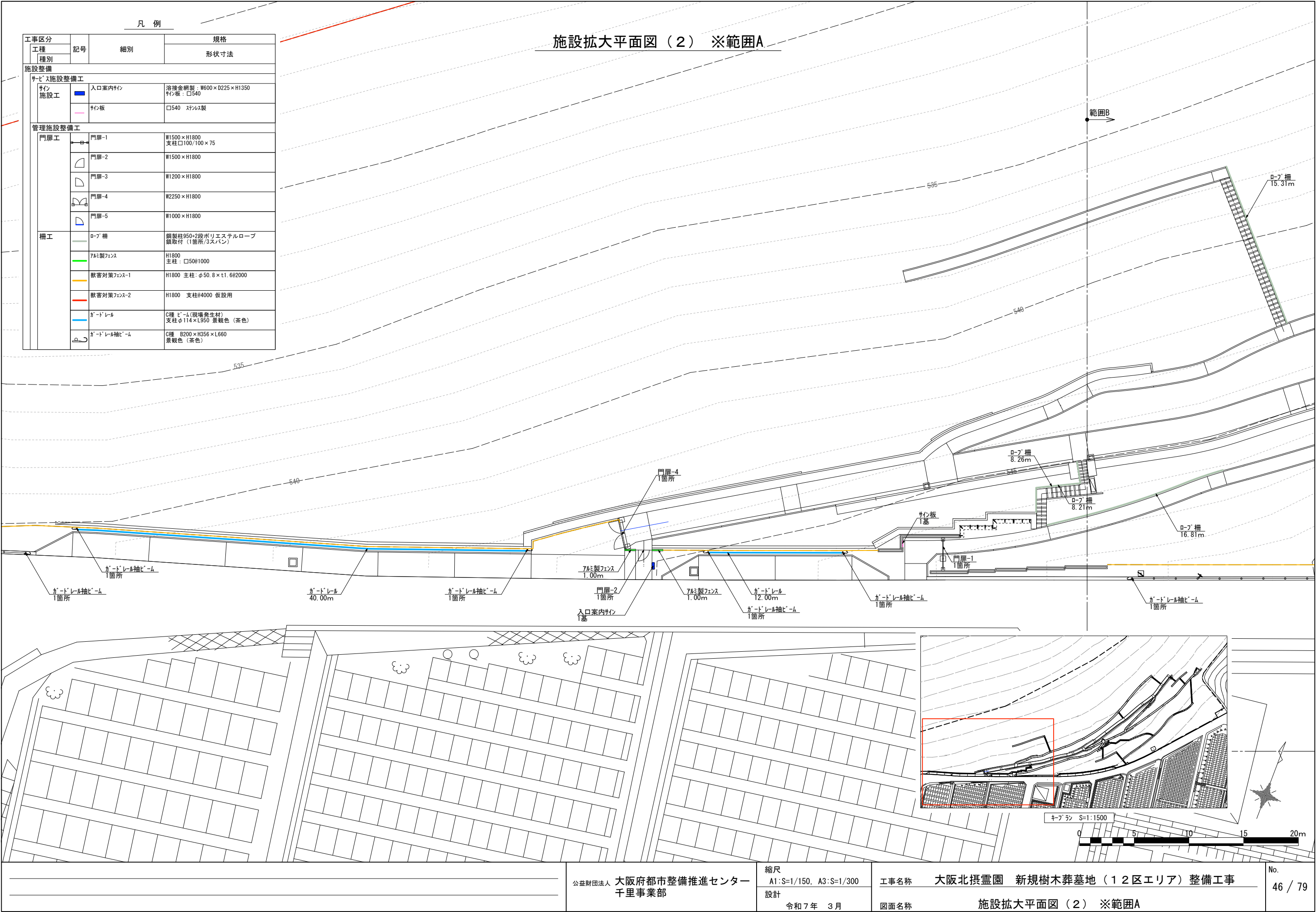




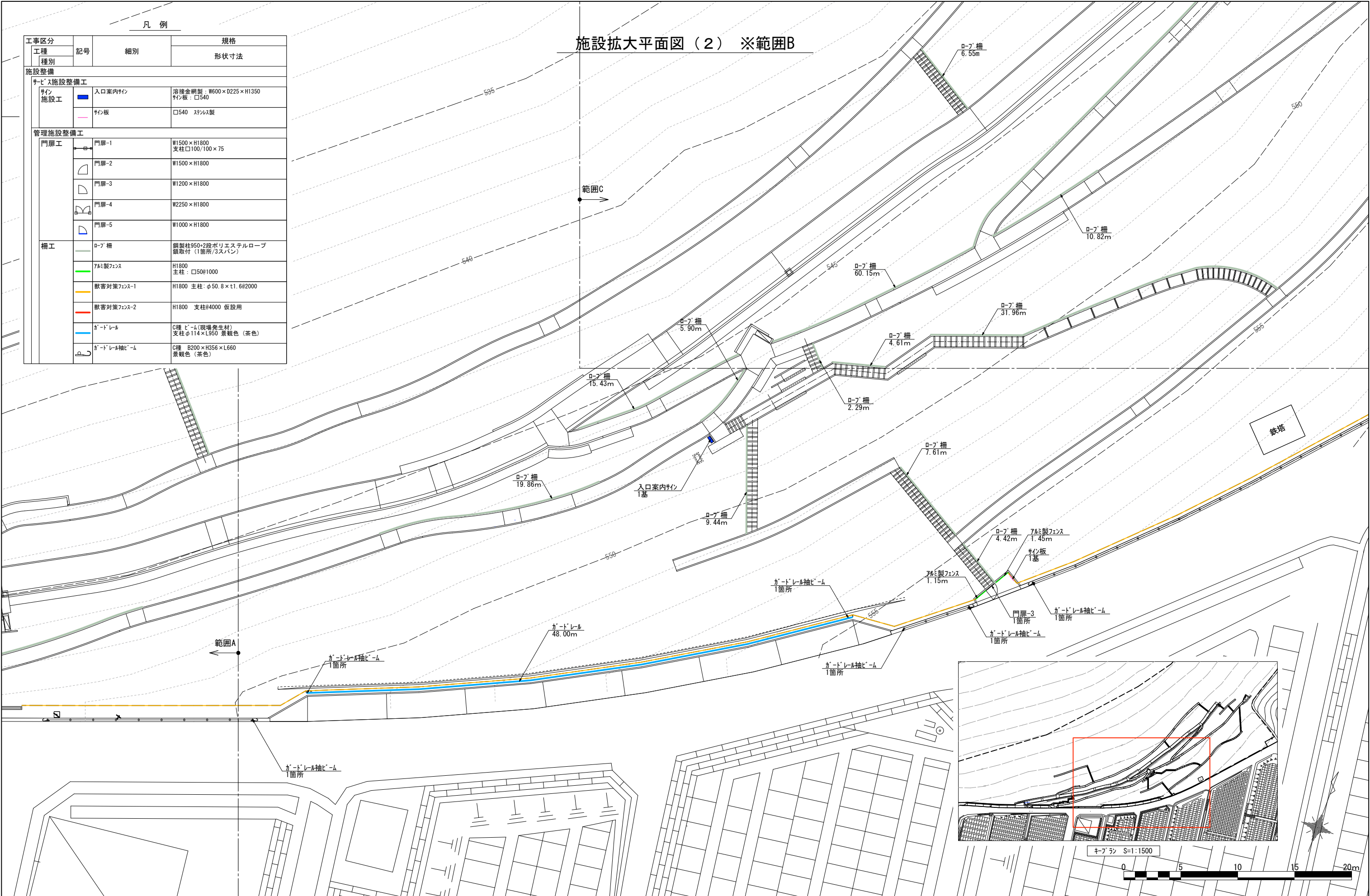






















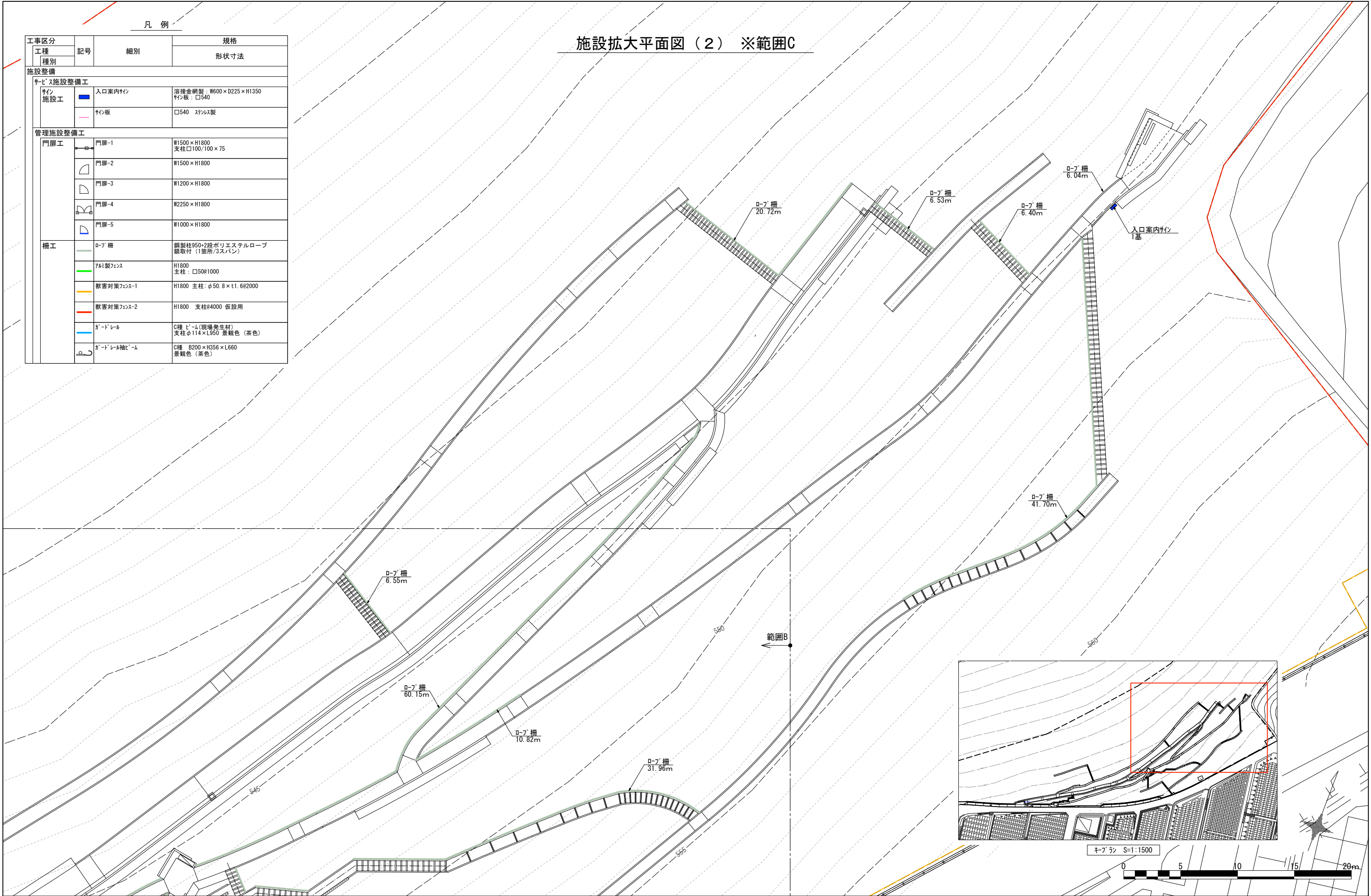




凡 例

工事区分		記号	細別	規格
工種	形状寸法			
種別				
施設整備				
サービス施設整備工				
サイン 施設工		入口案内サイン	溶接金網製：W600×D225×H1350 サイン板：□540	
		サイン板	□540 ステンレス製	
管理施設整備工				
門扉工		門扉-1	W1500×H1800 支柱□100/100×75	
		門扉-2	W1500×H1800	
		門扉-3	W1200×H1800	
		門扉-4	W2250×H1800	
		門扉-5	W1000×H1800	
柵工		ロープ柵	鋼製柱950+2段ポリエステルロープ 鎖取付（1箇所/3スパン）	
		7&12製フェンス	H1800 主柱：□50@1000	
		獣害対策フェンス-1	H1800 主柱：φ50.8×t1.6@2000	
		獣害対策フェンス-2	H1800 支柱#4000 仮設用	
		ガードレール	C種 ビーム（現場発生材） 支柱φ114×L950 景観色（茶色）	
		ガードレール袖ビーム	C種 B200×H356×L660 景観色（茶色）	
				

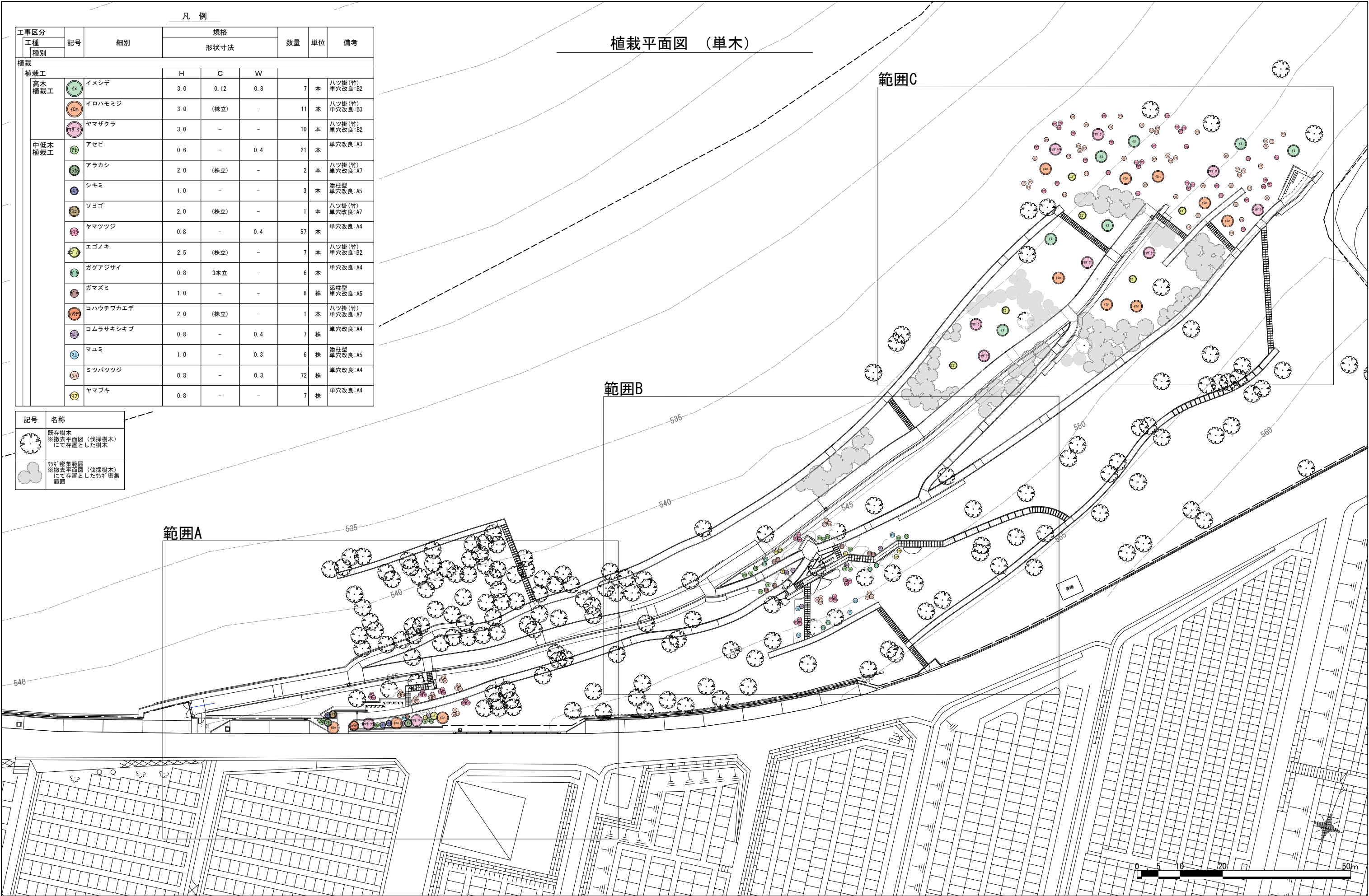
施設拡大平面図（2） ※範囲C





凡 例								
工事区分	記号	細別	規格			数量	単位	備考
			形状寸法					
植栽								
植栽工			H	C	W			
高木 植栽工		イヌシデ	3.0	0.12	0.8	7	本	ハツ掛(竹) 単穴改良:B2
		イロハモミジ	3.0	(株立)	-	11	本	ハツ掛(竹) 単穴改良:B3
		ヤマザクラ	3.0	-	-	10	本	ハツ掛(竹) 単穴改良:B2
中低木 植栽工		アセビ	0.6	-	0.4	21	本	単穴改良:A3
		アラカシ	2.0	(株立)	-	2	本	ハツ掛(竹) 単穴改良:A7
		シキミ	1.0	-	-	3	本	添柱型 単穴改良:A5
		ソヨゴ	2.0	(株立)	-	1	本	ハツ掛(竹) 単穴改良:A7
		ヤマツツジ	0.8	-	0.4	57	本	単穴改良:A4
		エゴノキ	2.5	(株立)	-	7	本	ハツ掛(竹) 単穴改良:B2
		ガクアジサイ	0.8	3本立	-	6	本	単穴改良:A4
		ガマズミ	1.0	-	-	8	株	添柱型 単穴改良:A5
		コハウチワカエデ	2.0	(株立)	-	1	本	ハツ掛(竹) 単穴改良:A7
		コムラサキシキブ	0.8	-	0.4	7	株	単穴改良:A4
		マユミ	1.0	-	0.3	6	株	添柱型 単穴改良:A5
		ミツバツツジ	0.8	-	0.3	72	株	単穴改良:A4
		ヤマブキ	0.8	-	-	7	株	単穴改良:A4

記号	名称
	既存樹木 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置とした樹木
	クガシ 密集範囲 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置としたクガシ 密集 範囲

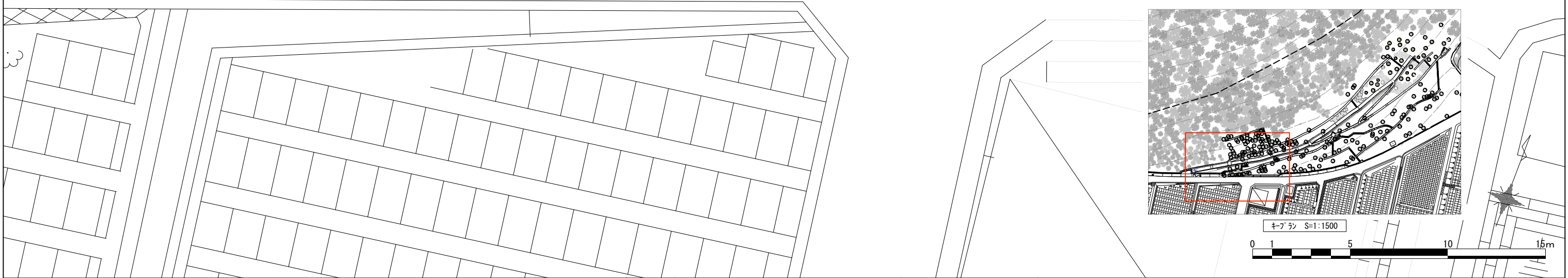
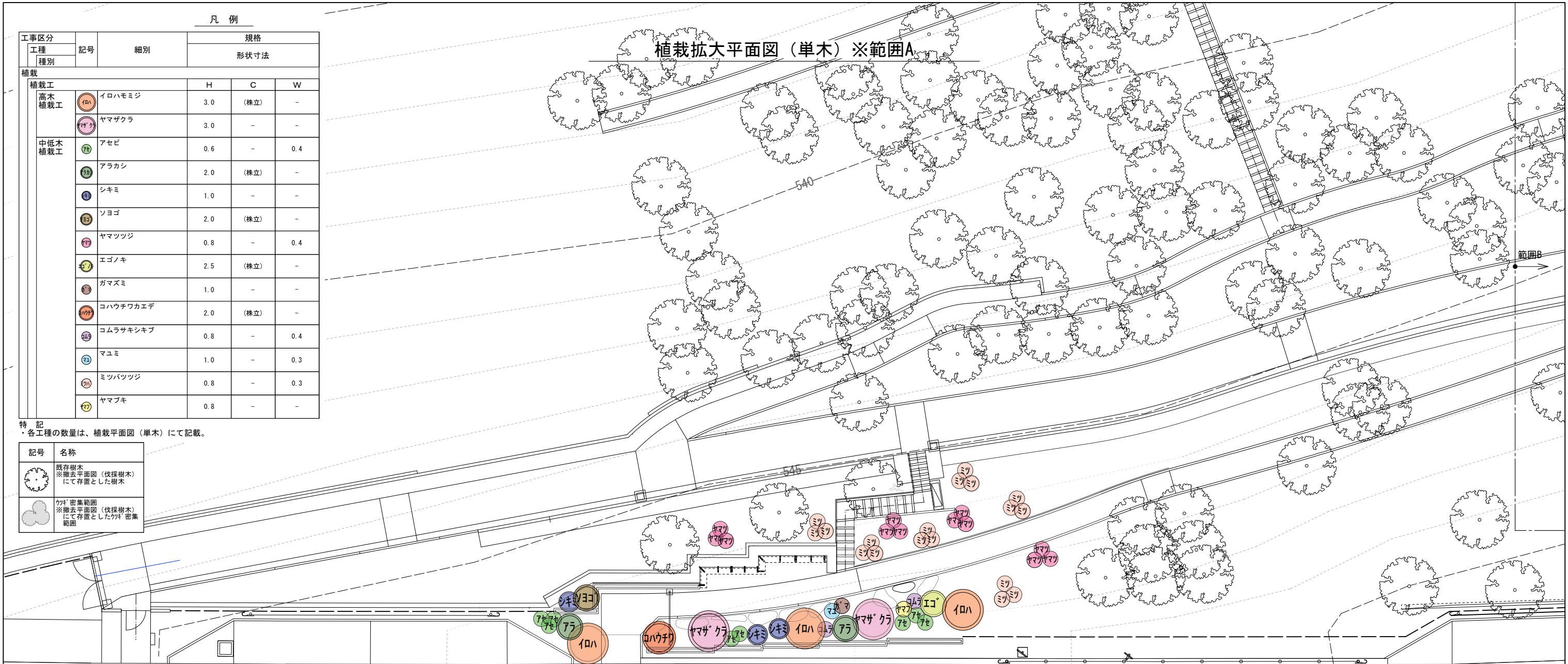




凡 例					
工事区分		記号	細別	規格	
工程	形状寸法				
種別					
植栽					
植栽工			H	C	W
高木 植栽工		イロハモミジ	3.0	(株立)	-
		ヤマザクラ	3.0	-	-
中低木 植栽工		アセビ	0.6	-	0.4
		アラカシ	2.0	(株立)	-
		シキミ	1.0	-	-
		ソヨゴ	2.0	(株立)	-
		ヤマツツジ	0.8	-	0.4
		エゴノキ	2.5	(株立)	-
		ガマズミ	1.0	-	-
		コハウチワカエデ	2.0	(株立)	-
		コムラサキシキブ	0.8	-	0.4
		マユミ	1.0	-	0.3
		ミツバツツジ	0.8	-	0.3
		ヤマブキ	0.8	-	-

特 記  
・各工種の数値は、植栽平面図（単木）にて記載。

記号	名称
	既存樹木 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置とした樹木
	カギ 密集範囲 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置としたカギ 密集 範囲







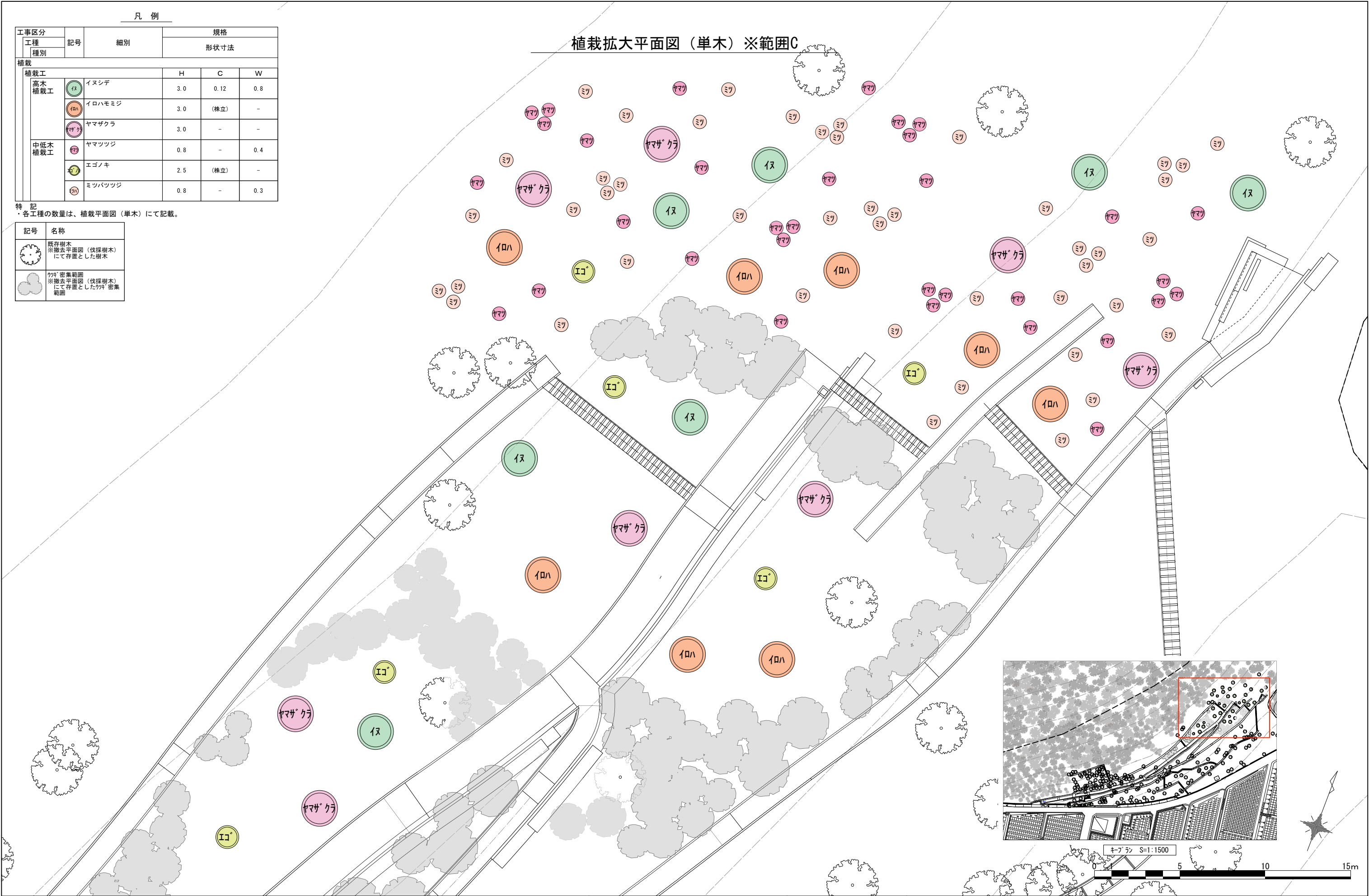
凡 例

工事区分		記号	細別	規格		
工程	種別			形状寸法		
植栽						
植栽工				H	C	W
高木 植栽工		イヌシデ		3.0	0.12	0.8
		イロハモミジ		3.0	(株立)	-
		ヤマザクラ		3.0	-	-
中低木 植栽工		ヤマツツジ		0.8	-	0.4
		エゴノキ		2.5	(株立)	-
		ミツバツツジ		0.8	-	0.3

特 記  
・各工程の数量は、植栽平面図（単木）にて記載。

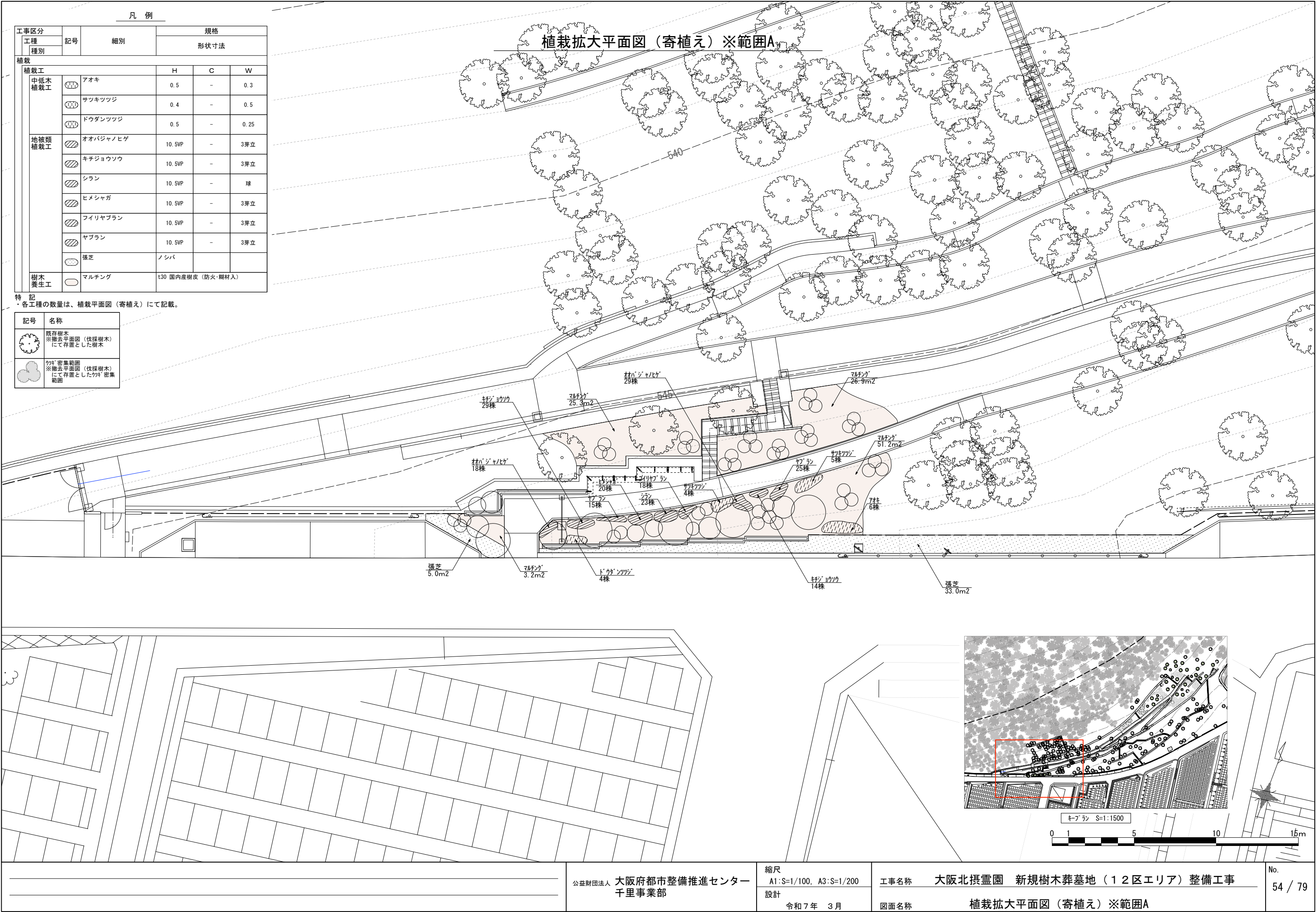
記号	名称
	既存樹木 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置とした樹木
	カギ 密集範囲 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置としたカギ 密集 範囲

植栽拡大平面図（単木）※範囲C











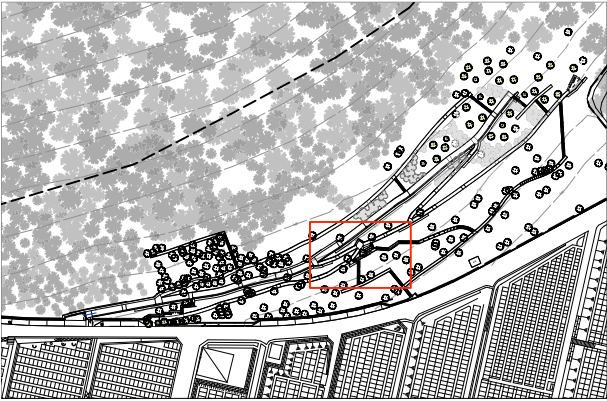
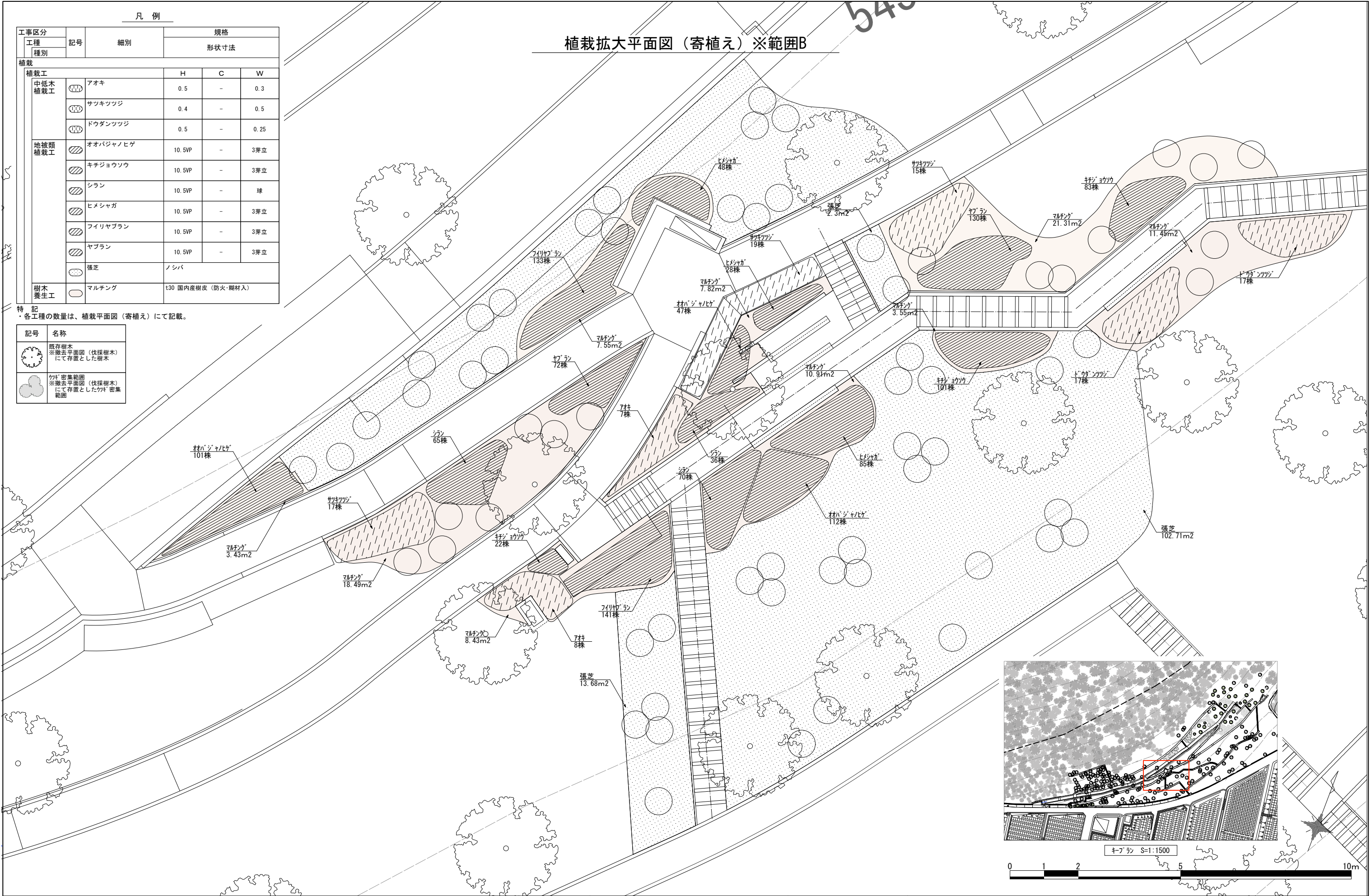
凡 例

工事区分		記号	細別	規格		
工程	種別			形状寸法		
植栽						
植栽工				H	C	W
中低木 植栽工		アオキ		0.5	-	0.3
		サツキツツジ		0.4	-	0.5
		ドウダンツツジ		0.5	-	0.25
地被類 植栽工		オオバジャノヒゲ		10.5VP	-	3芽立
		キチジョウソウ		10.5VP	-	3芽立
		シラン		10.5VP	-	球
		ヒメシャガ		10.5VP	-	3芽立
		フィリヤブラン		10.5VP	-	3芽立
		ヤブラン		10.5VP	-	3芽立
		張芝		ノシバ		
		マルチング		t30 国内産樹皮（防火・糊材入）		
樹木 養生工						

特 記  
・各工種の数量は、植栽平面図（寄植え）にて記載。

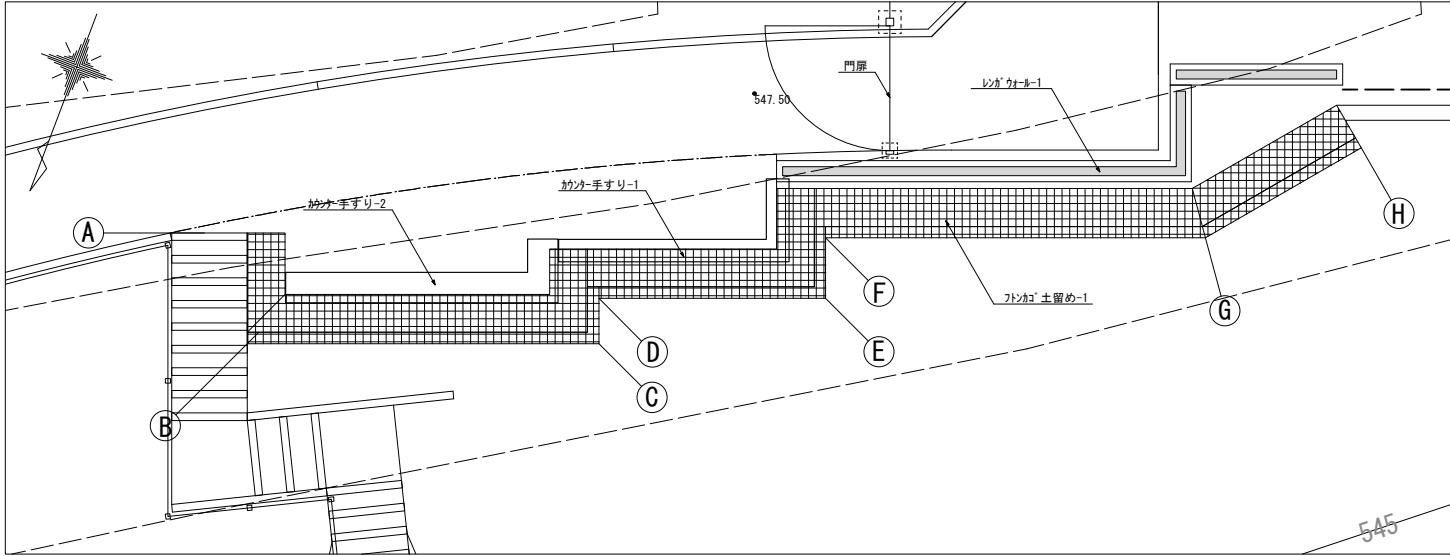
記号	名称
	既存樹木 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置とした樹木
	カギ 密集範囲 ※撤去平面図（伐採樹木） にて存置としたカギ 密集 範囲

植栽拡大平面図（寄植え）※範囲B

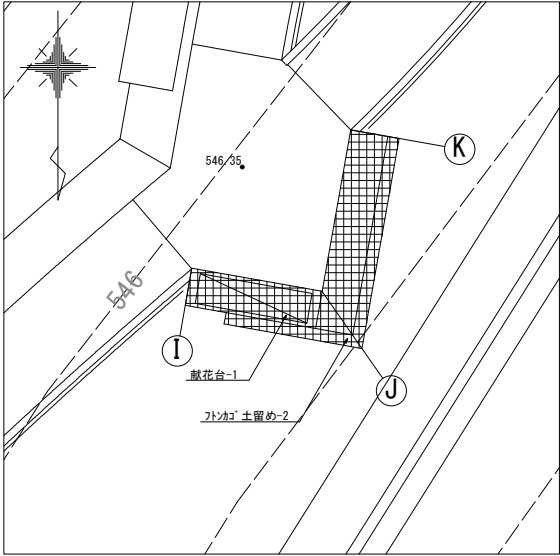


ガードレール撤去、ガードレール支柱撤去		図 示		道路標識撤去		図 示		コンクリート構造物撤去		図 示	
<p>特 記 ・支柱撤去後、切断面を叩いて内側へ曲げ、怪我をしないように配慮すること。 ・E-ムは再利用するため、取り外しの際に破損しないようにすること。</p>				<p>特 記 ・支柱撤去後、切断面を叩いて内側へ曲げ、怪我をしないように配慮すること。</p>				<p>特 記 ・支柱撤去後、切断面を叩いて内側へ曲げ、怪我をしないように配慮すること。</p>			
アスファルト舗装撤去		図 示									
<p>断面図 S=1:10</p>											
				公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部		縮尺 A1:S=図示, A3:S=図示/2 設計 令和7年 3月		工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事 図面名称 詳細図（1）		No. 56 / 79	

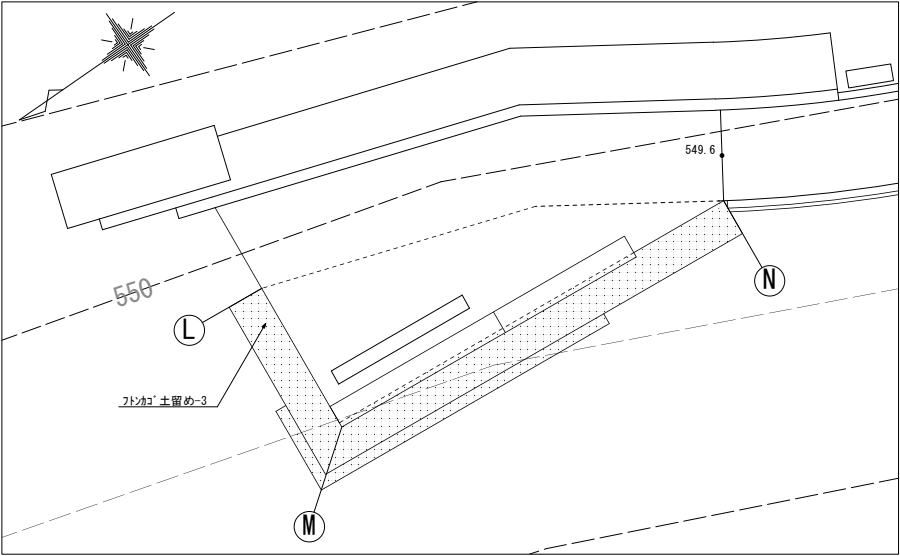




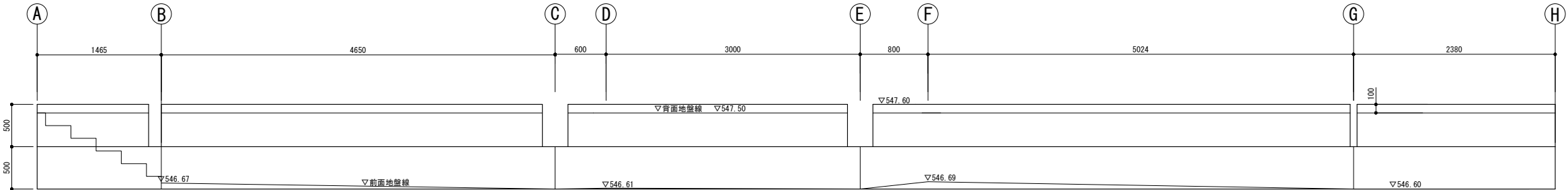
フンカ`土留め-1 配置図 S=1:50



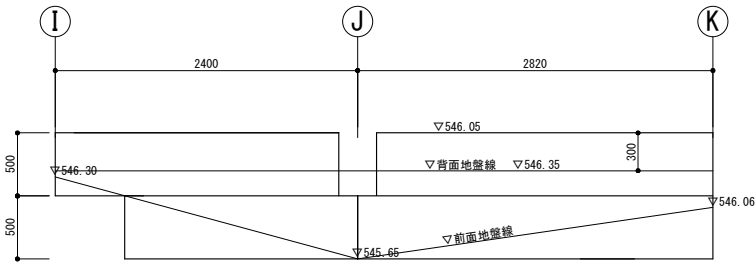
フンカ`土留め-2 配置図 S=1:50



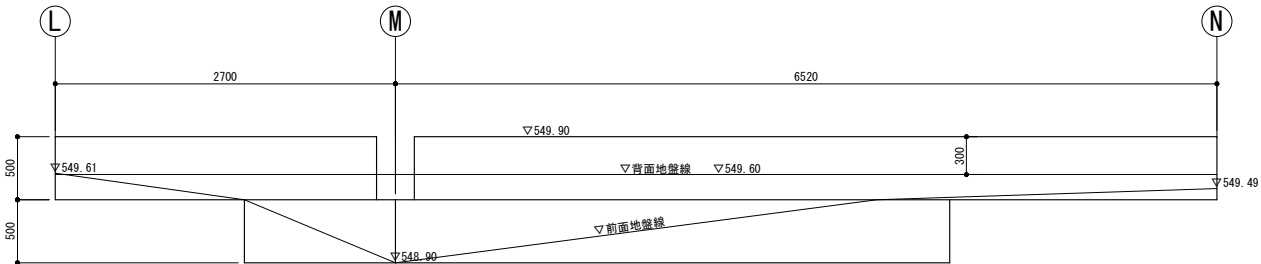
フンカ`土留め-3 配置図 S=1:50



フンカ`土留め-1 展開図 S=1:30

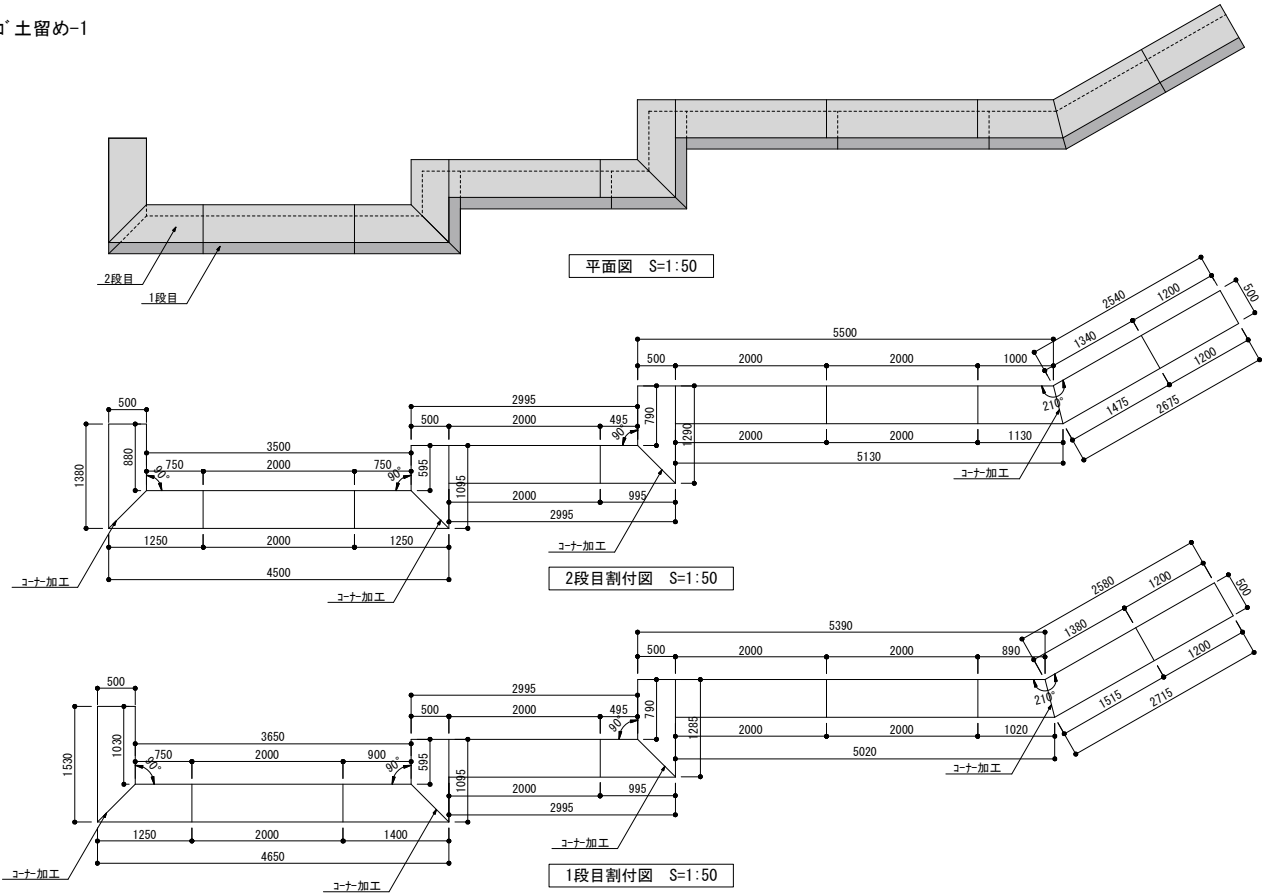


フンカ`土留め-2 展開図 S=1:30

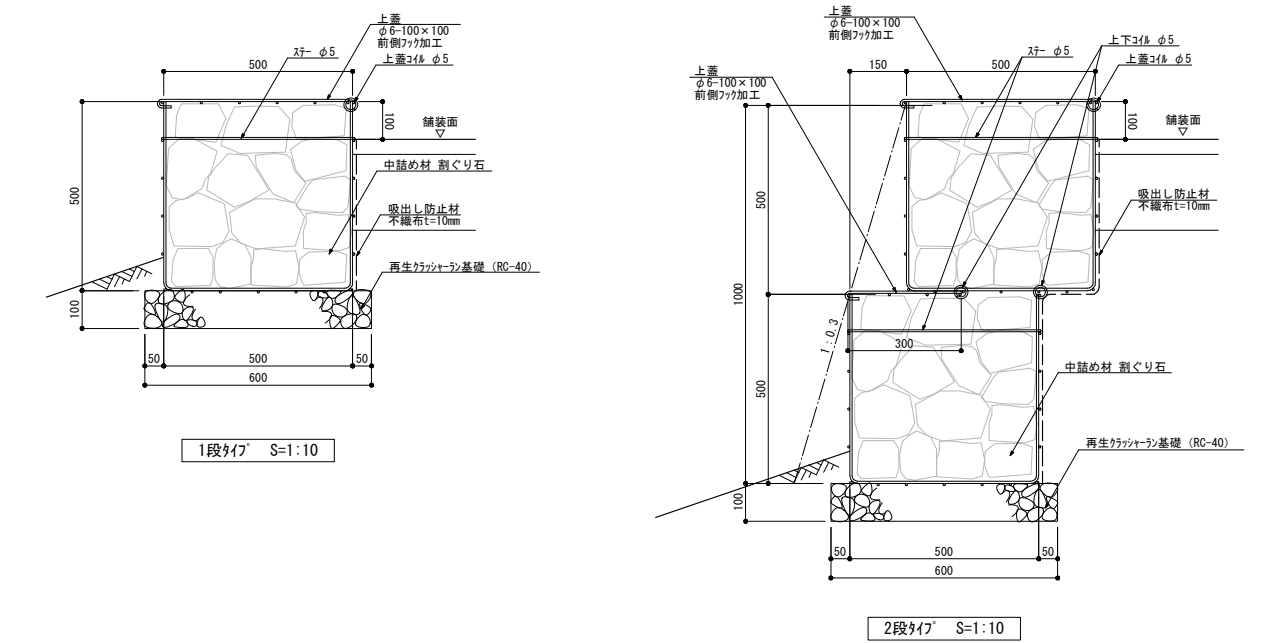


フンカ`土留め-3 展開図 S=1:30

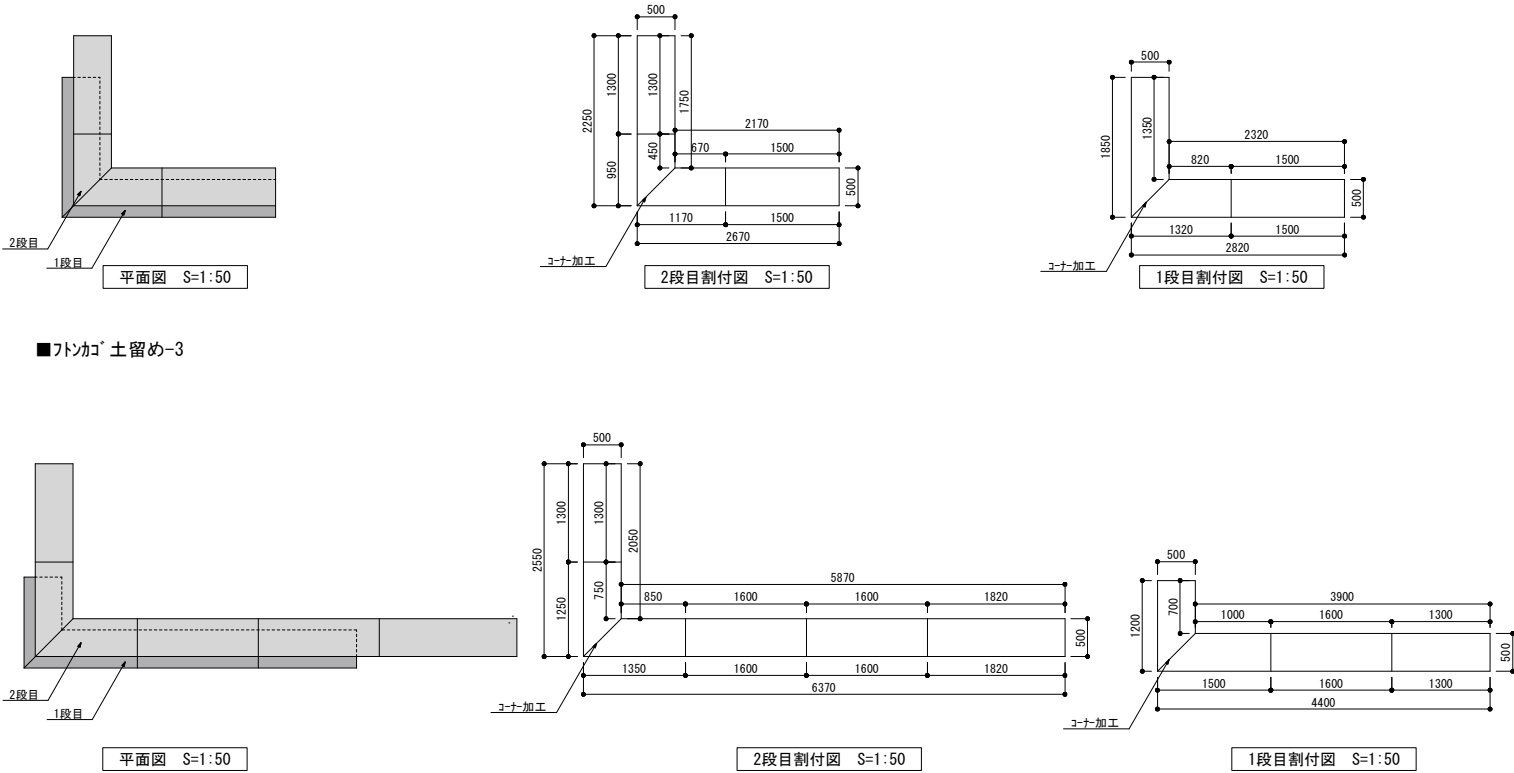
■トシカゴ`土留め-1



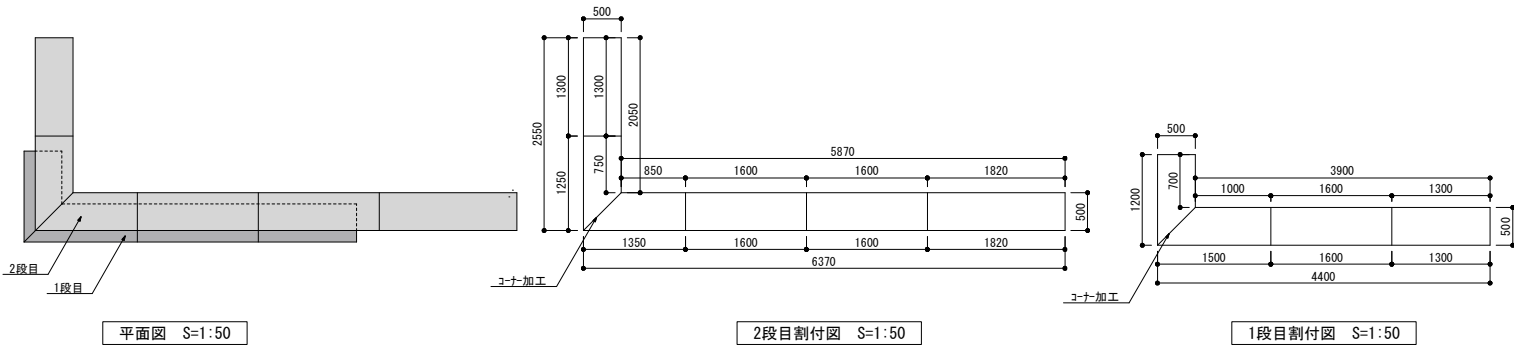
■トシカゴ`土留め標準断面図



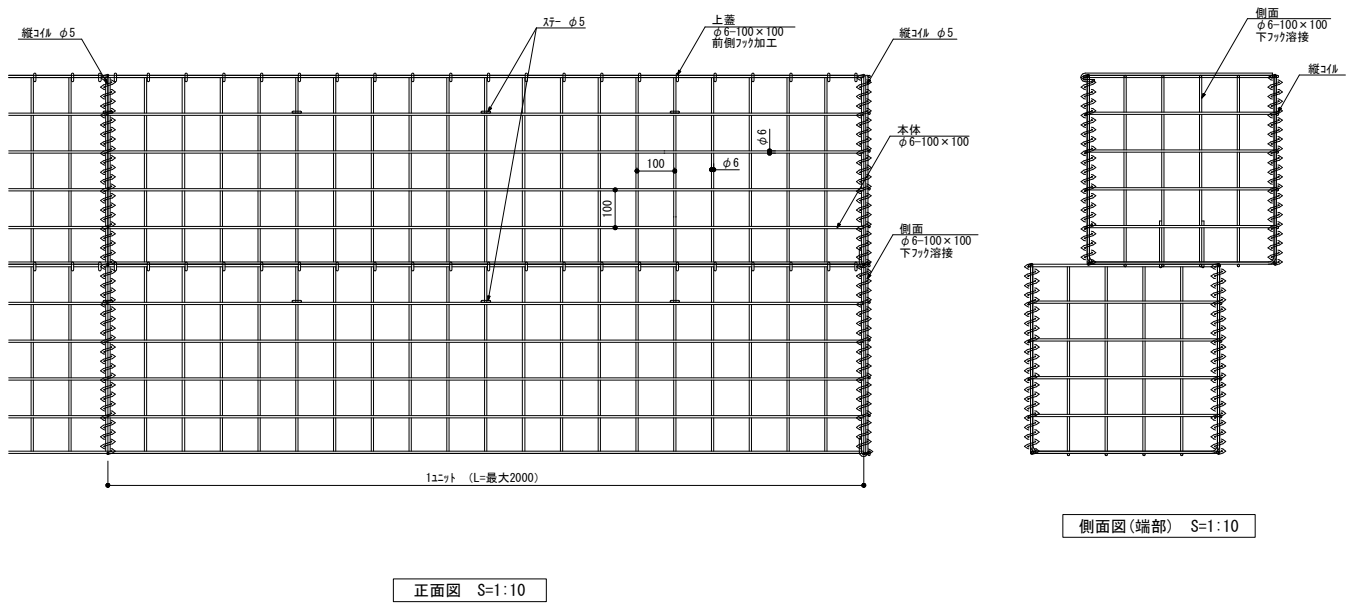
■トシカゴ`土留め-2



■トシカゴ`土留め-3

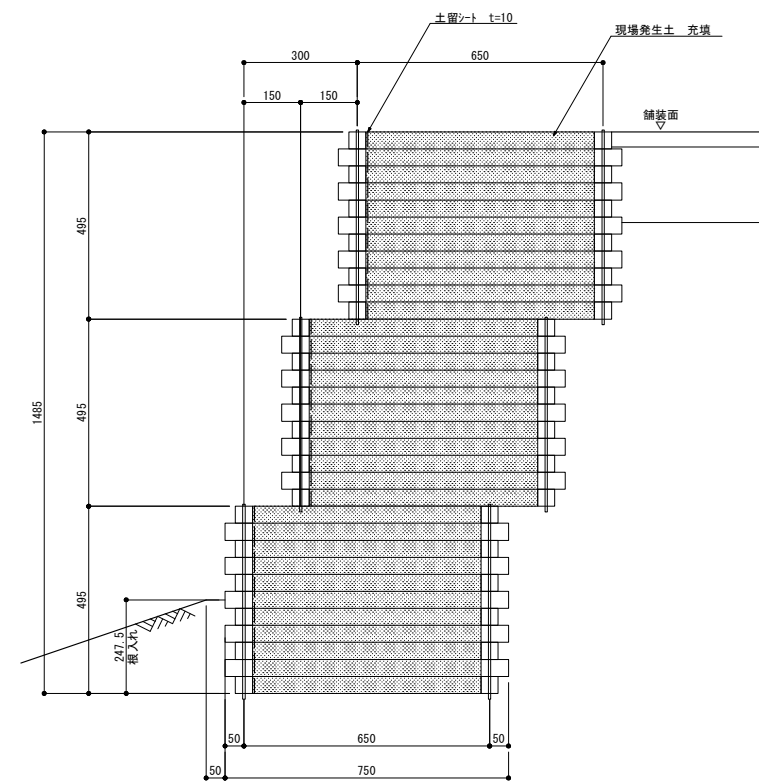
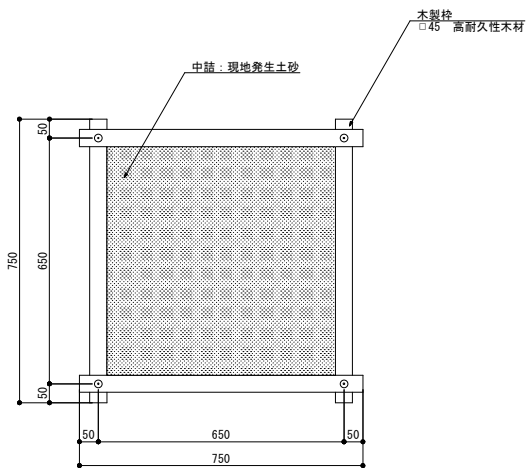
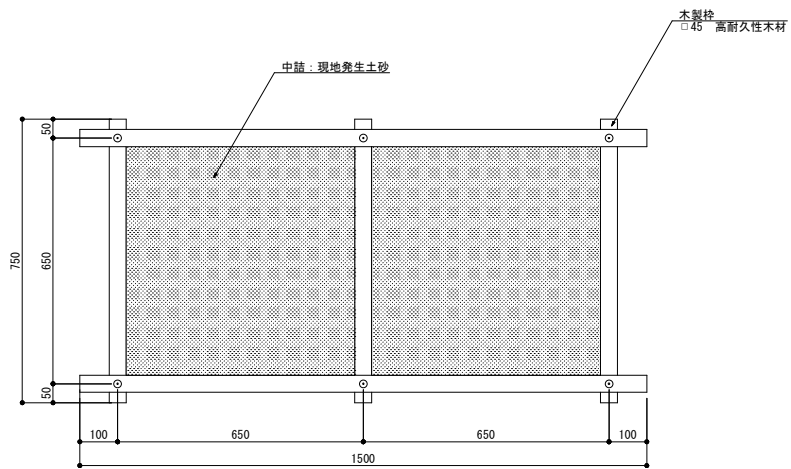
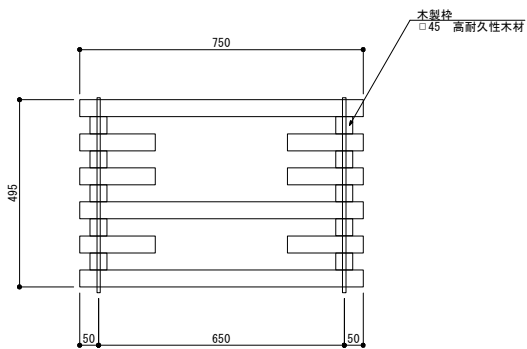
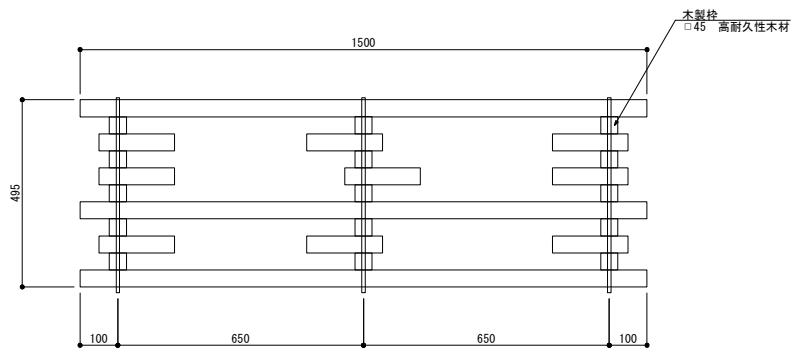
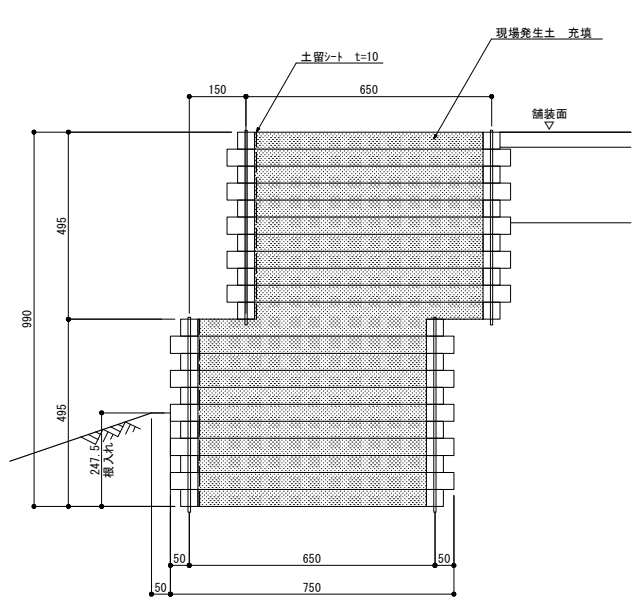
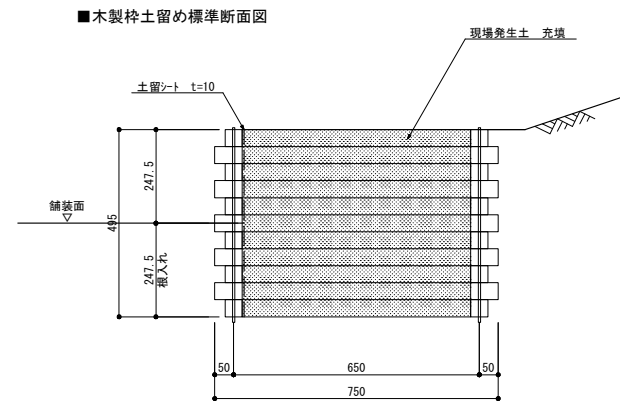
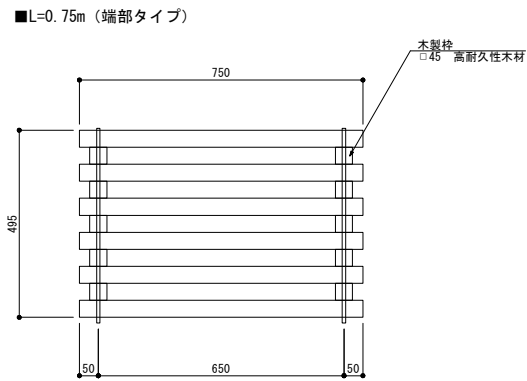
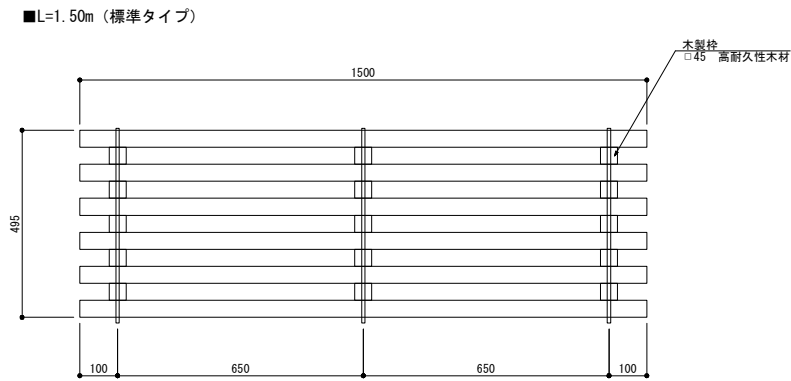


■トシカゴ`構造図



特 記  
・本体は、共和ハートテック(株)製「ディアウォール」同等品以上とする。  
・溶接金網、スチール、コイルは亜鉛アルミ合金めっき鉄線とし、めっき付着量:300g/m<sup>2</sup>、アルミ:10%以上、亜鉛:90%以下とする。  
・使用石材について、監督員の承認を得ること。

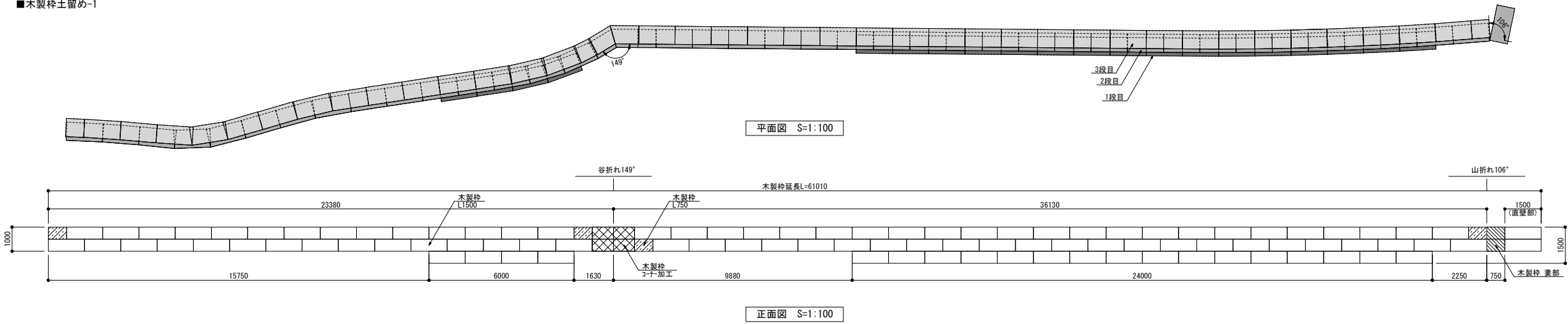




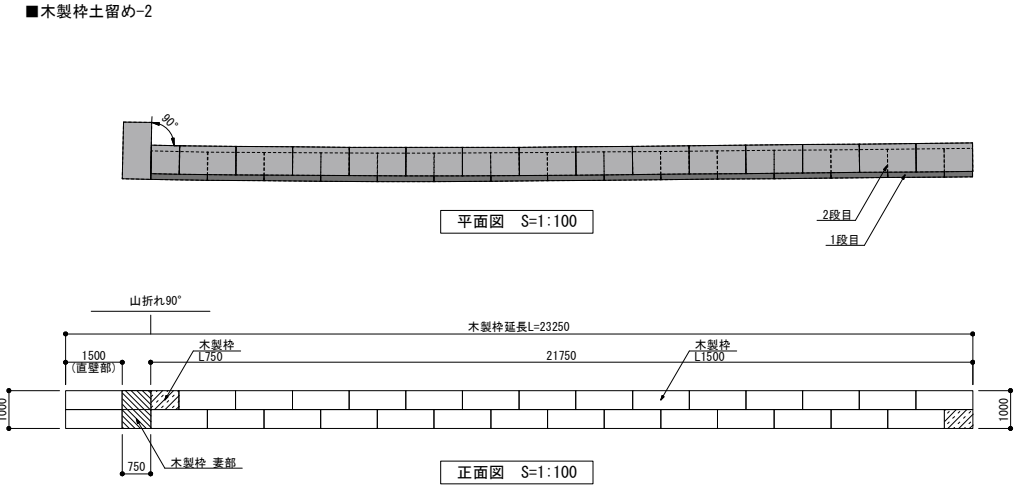
特 記  
・本体は、（株）コイブ・レゾナンス製「木製枠」同等品以上とする。  
・木材防腐処理は、注入剤処理として深浸潤特種加工（ワタシソール、圧縮処理）をした後、防腐処理薬剤として、ワタシソール（JIS K1570、ACQ-1）を使用し、（JIS A 9002）による加圧注入処理（吸収量5.2kg/m3以上、浸潤長平均9mm以上、JAS K4相当）とする。

	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部	縮尺	工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（１２区エリア）整備工事	No. 59 / 79
		A1:S=図示、A3:S=図示/2		
		設計	図面名称 詳細図（４）	
		令和 7 年    3 月		

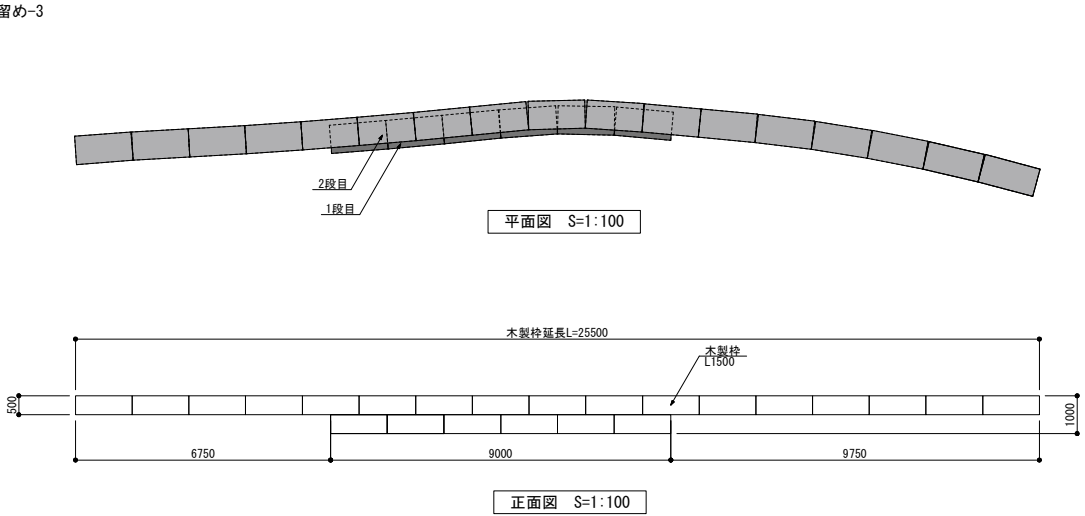
■木製柵土留め-1



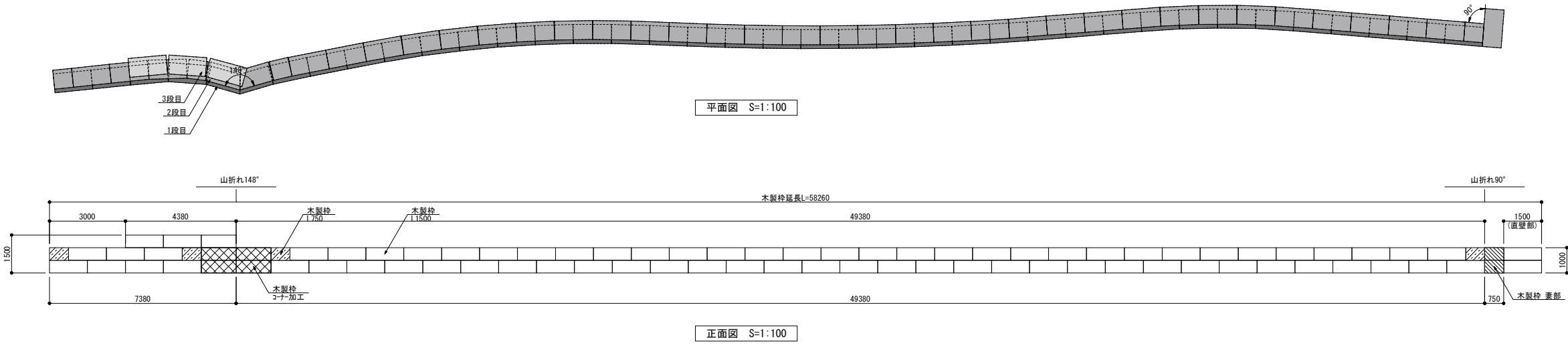
■木製柵土留め-2



■木製柵土留め-3

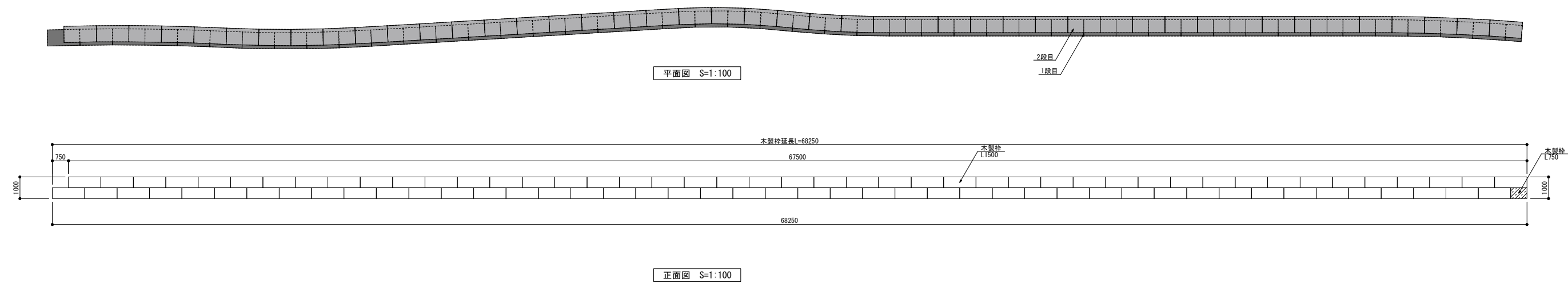


■木製柵土留め-4

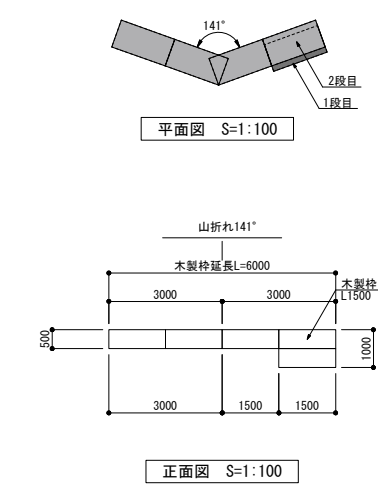




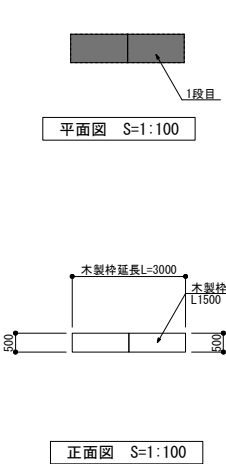
■木製柵土留め-5



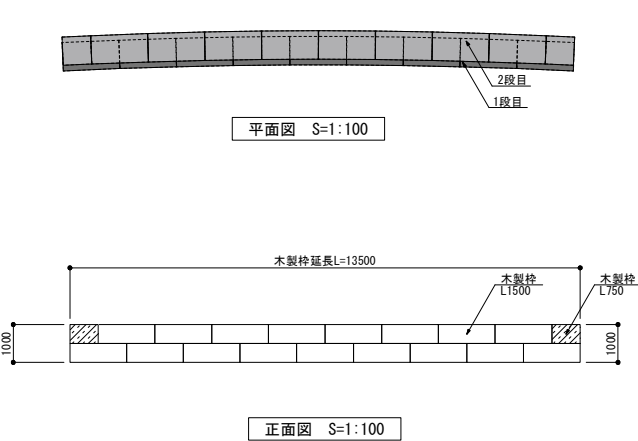
■木製柵土留め-6



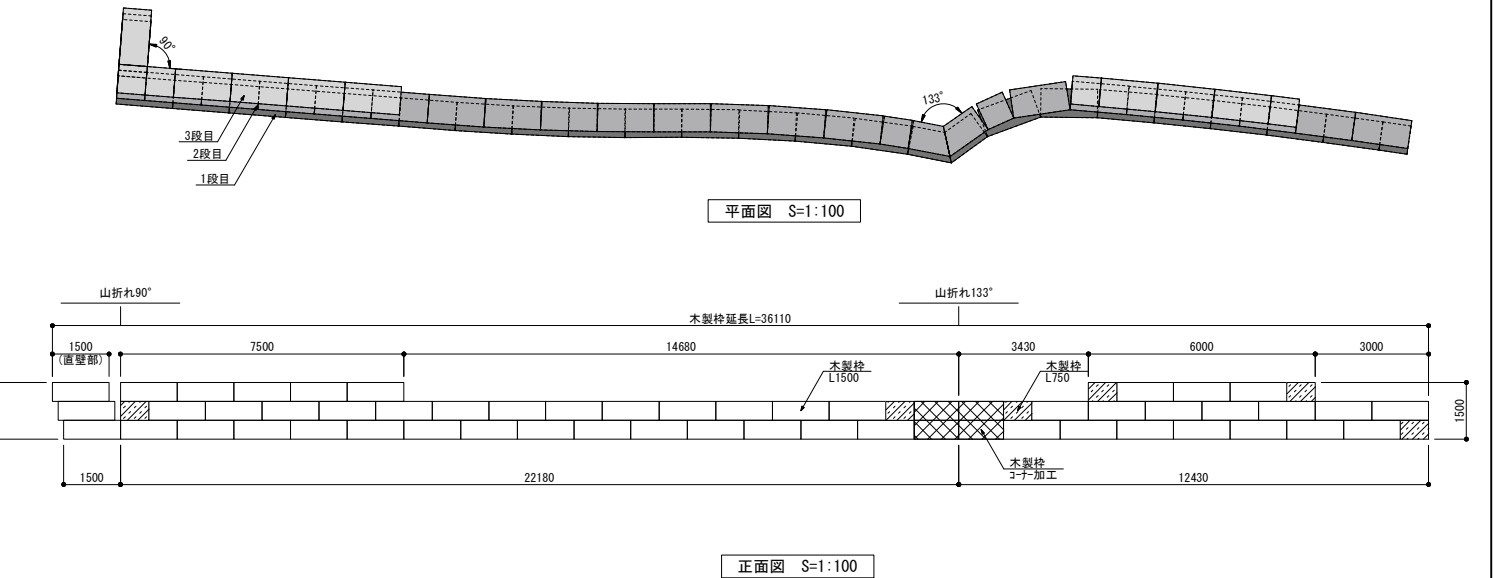
■木製柵土留め-7



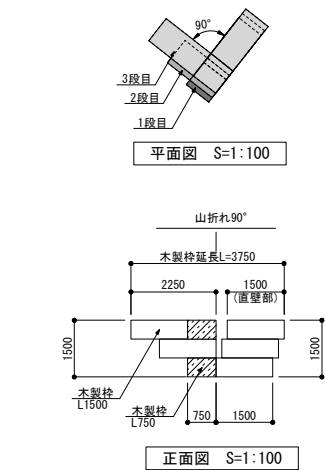
■木製柵土留め-8



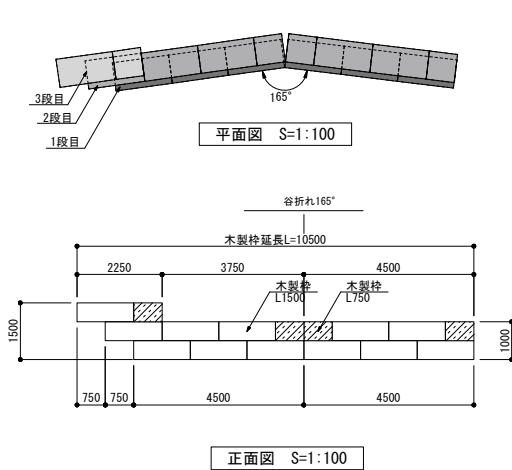
■木製柵土留め-9



■木製柵土留め-10



■木製柵土留め-11



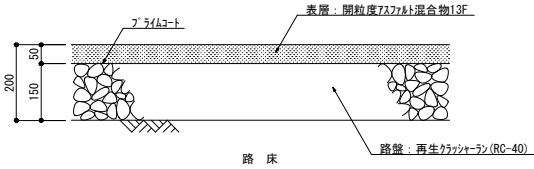
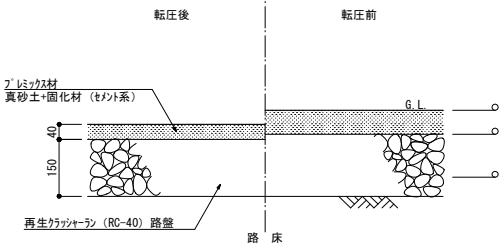
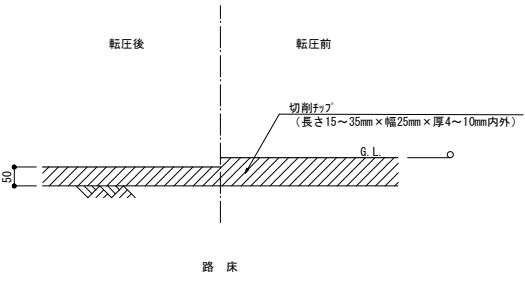
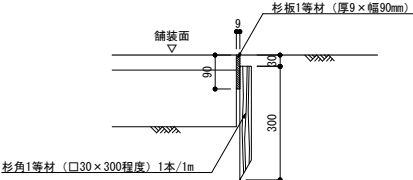
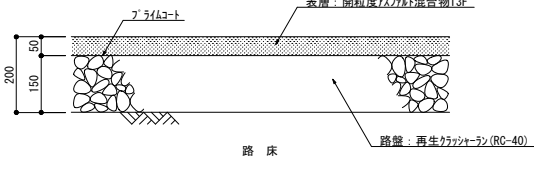
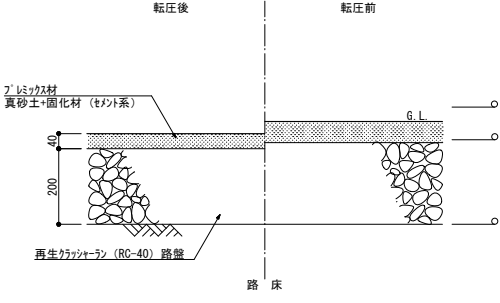
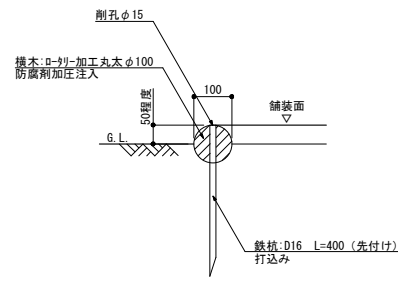
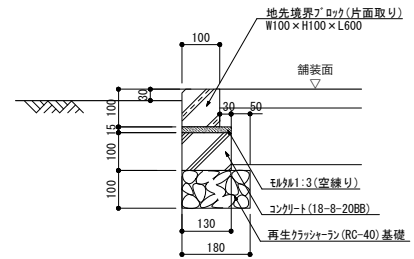
<div> <div>菱形金網土留め</div> <div> </div> <div> <div>バイオネスト</div> <div> </div> </div> </div>	<div> <div>丸太土留め-1, -2, -3</div> <div> </div> <div> <div>インセクトホテル</div> <div> </div> </div> </div>
<div> <div> <div>特記</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本体は、共和=行=林 製「F」(F/G)の同等品以上とする。</li> <li>金網部、各部、連結金具は薄鋼亜鉛めっきとする。</li> </ul> </div> </div> <div> <div>丸太土留め-1 断面図 S=1:10</div> <div>丸太土留め-2 断面図 S=1:10</div> <div>丸太土留め-3 断面図 S=1:10</div> </div> <div> <div>標準平面図 S=1:10</div> <div>丸太土留め-1 断面図 S=1:10</div> <div>丸太土留め-2 断面図 S=1:10</div> <div>丸太土留め-3 断面図 S=1:10</div> </div> <div> <div>特記</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本材は大阪府内産スギ・ヒノキとする。</li> <li>本材防虫処理剤防虫処理剤としてダナリスCT (JIS-M-1570 QUAZ) を使用し、JIS-A-9002に適合加工注入処理 (水注入処理) 44とする。</li> <li>横木長は1500を標準とし、割孔に合わせて配置、施工すること。(横木長は4000まで可能)</li> <li>現場地況に合わせて、最終の長さを調整すること。</li> </ul> </div> </div> </div>	<div> <div> <div>縮尺</div> <div> A1:S=図示, A3:S=図示/2 </div> </div> <div> <div>設計</div> <div>令和7年 3月</div> </div> </div> <div> <div>工事名称</div> <div>大阪北摂震園 新規樹木葬墓地 (12区エリア) 整備工事</div> </div> <div> <div>図面名称</div> <div>詳細図 (7)</div> </div> <div> <div>No.</div> <div>62 / 79</div> </div>



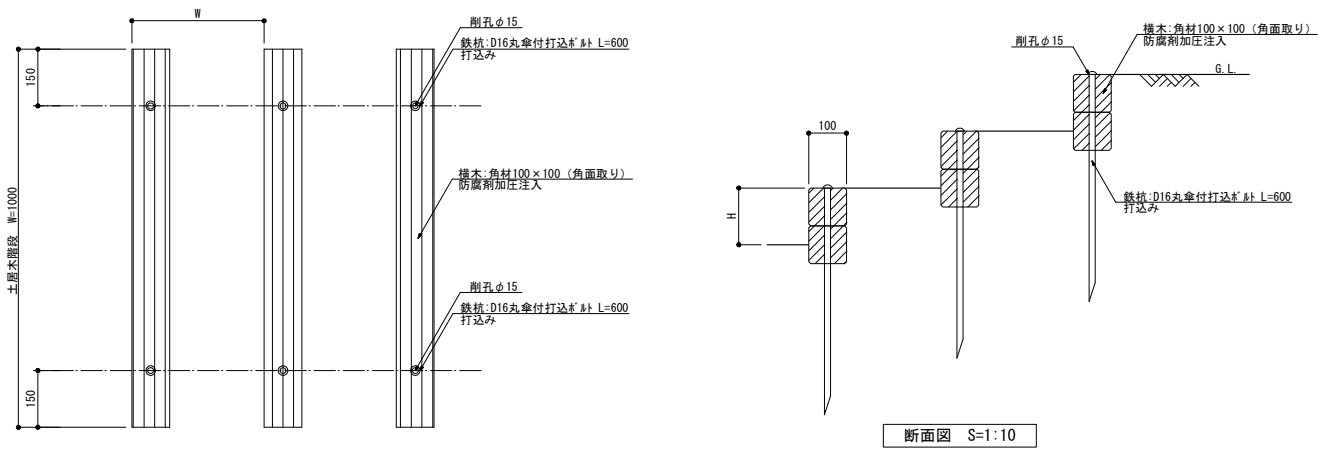
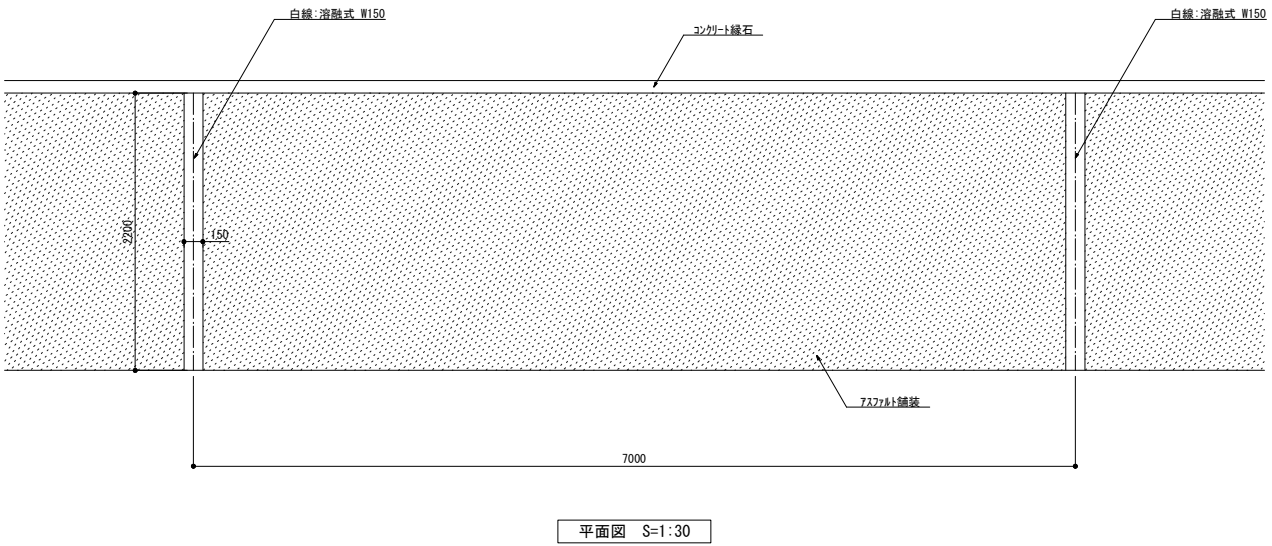


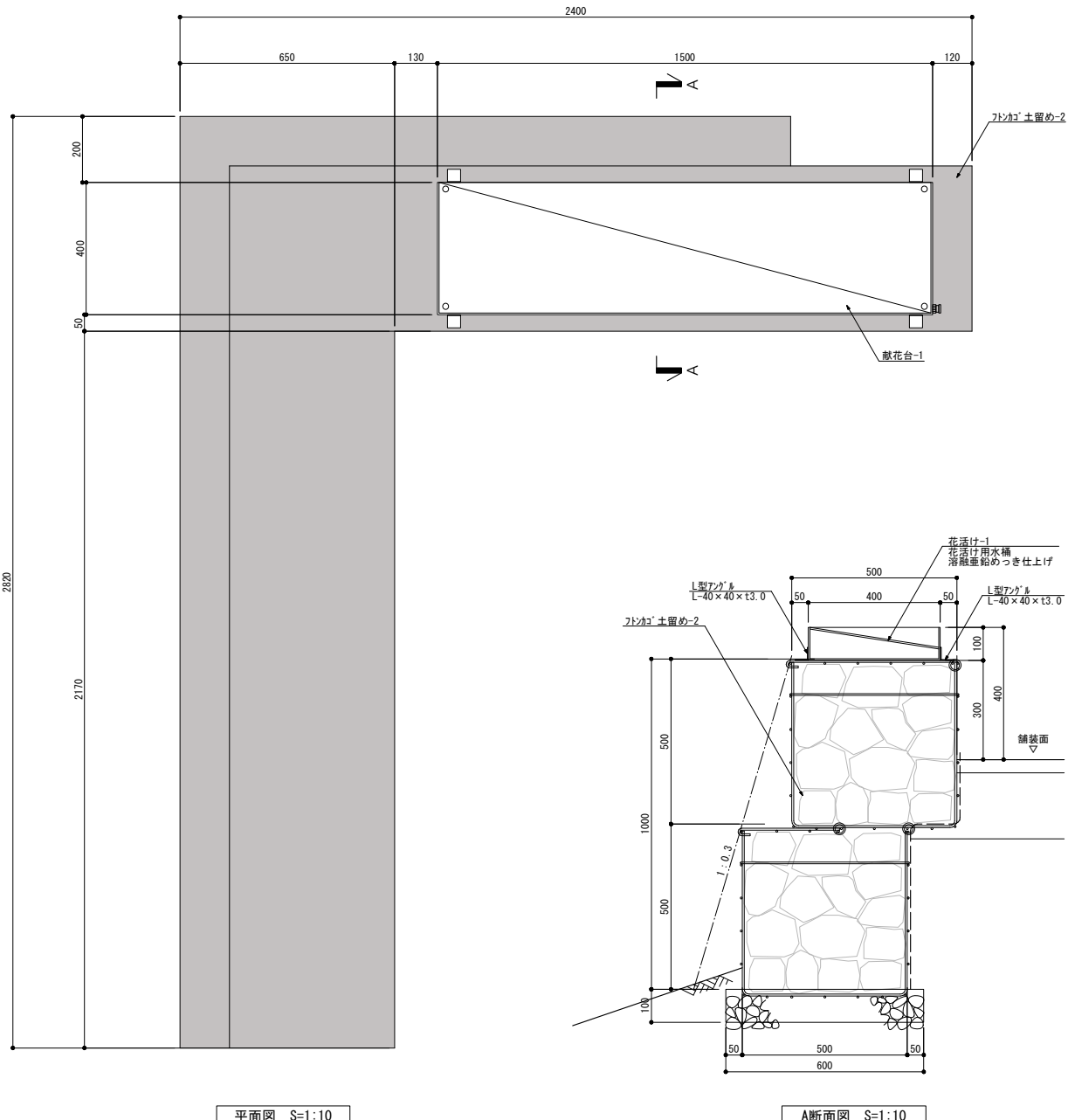
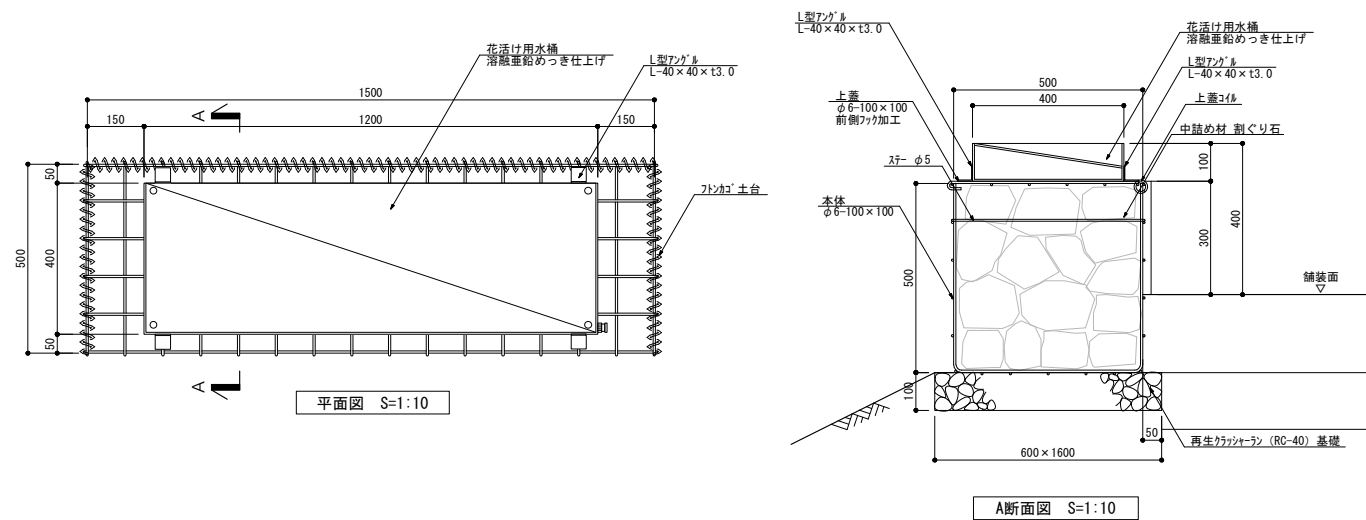
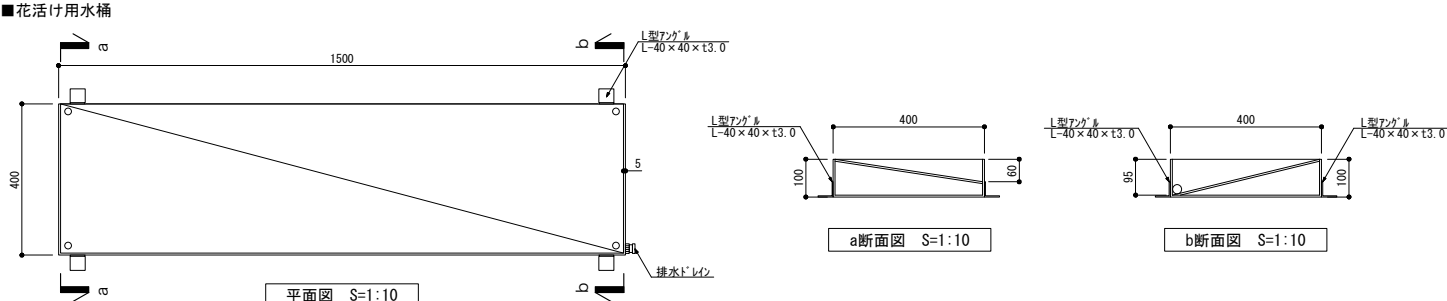
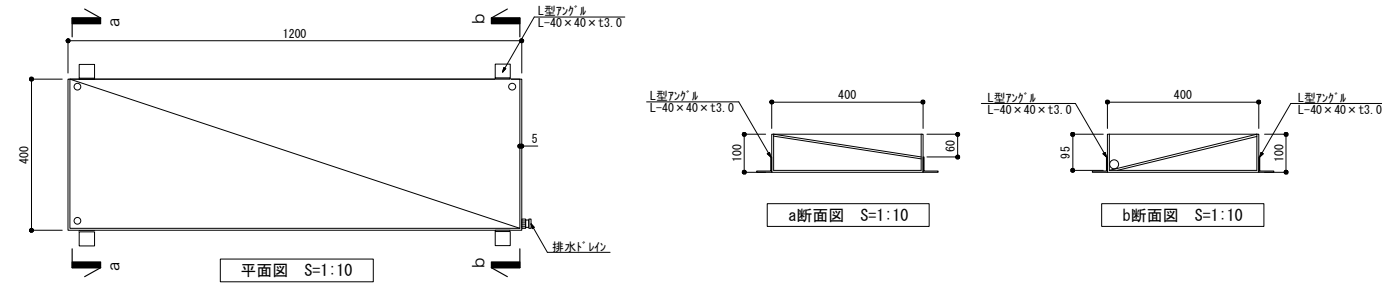
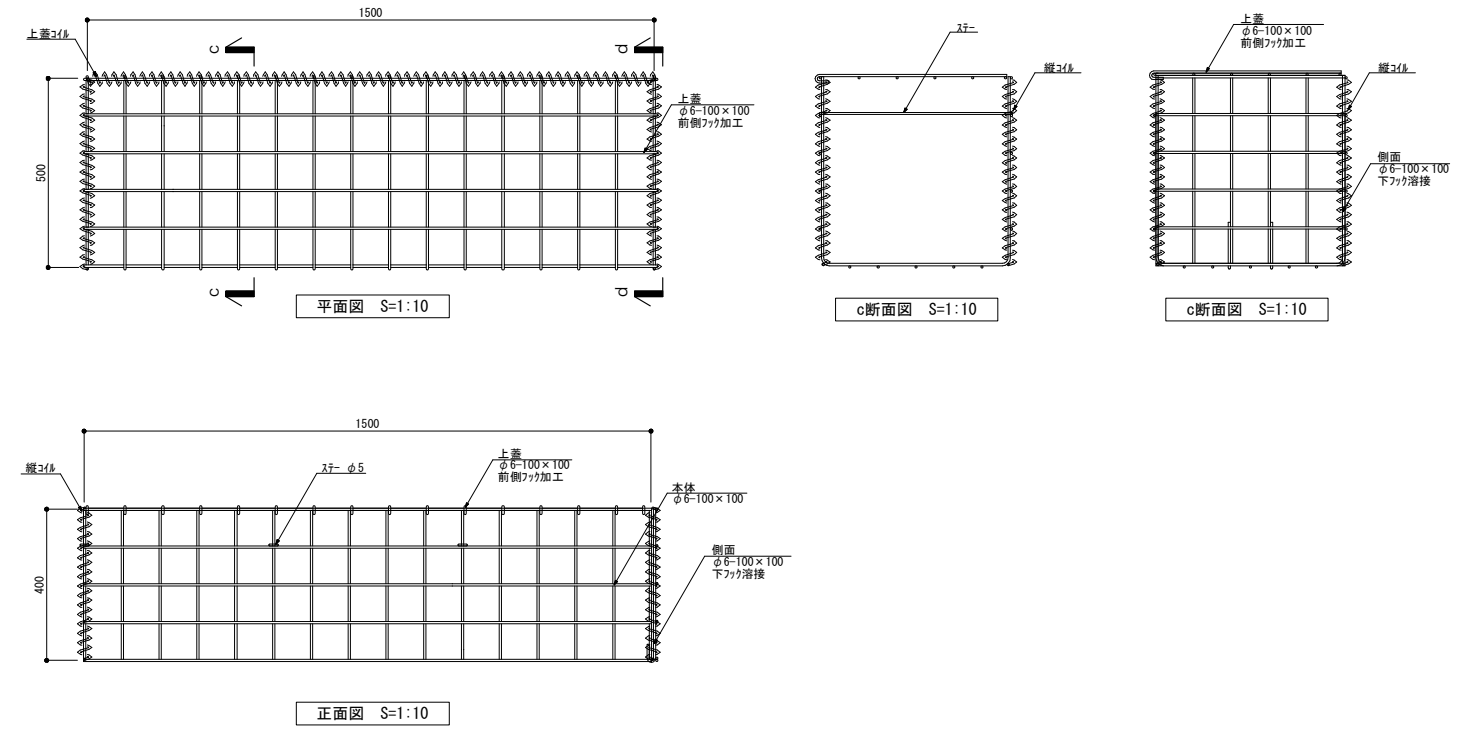


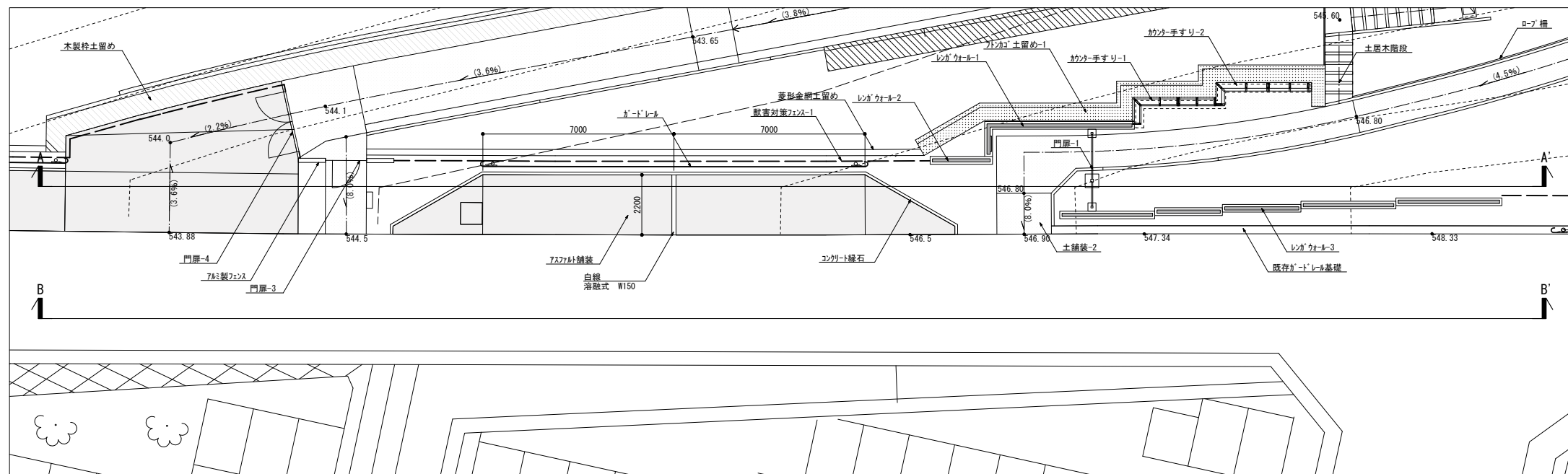
電線管-1		図示		電線管-2		図示		電源盤(参考姿図)		図示		電源盤(結線図)		図示	
<p>断面図 S=1:10</p>				<p>断面図 S=1:10</p>				<p>断面図 S=1:20      断面図 S=1:20</p> <p>特記 ・SUS製屋外自立型キャビネットとし、錠(サシ)No.200とする。 ・形状及び寸法は参考とする。 ・塗装色はR-カラー標準色とする。 ・側面にフード付ルーバー(フィッシュゲート付)：2個及び防雨引込カバー：1個取付のこと</p>				<p>結線図</p>			
ブルボックス		図示		ハンドホール蓋(レベル調整交換)		図示									
<p>配置図 S=1:30</p>		<p>断面図 S=1:5</p>				<p>断面図 S=1:10</p>		<p>断面図 S=1:10</p>							
				公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部		縮尺 A1:S=図示, A3:S=図示/2 設計 令和7年 3月		工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地(12区エリア)整備工事 図面名称 詳細図(10)		No. 65 / 79					

7スファルト舗装		土舗装-1		木チップ 敷き		木縁石	
図 示		図 示		図 示		図 示	
 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・路床及び路盤は、ローラーによる転圧を標準とする。</p>		 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・は、ローラーによる転圧を標準とする。 ・表面の締め固め後の厚さを40mm以上とする。 ・プレミックス材は（株）ワビ・ガイ工業の「ス・パ・ガ」同等品以上とし、圧縮強度は20.0N/mm2以上、曲げ強度は3.40N/mm2以上とする。 ・伸縮目地は杉板（1等）厚9mm同等品とし、@5.0mを標準とする。 ・表面打設時の型枠は、その他構造物に影響しなければ残置させる。</p>		 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・は、プレートコンパクターによる転圧を標準とする。 ・締め固め後の厚さを50mm以上とする。 ・切削チップは、府内間伐材とし、サンプル提出の上、監督員の承認を得ること。</p>		 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・留杭は適宜、現場に合わせて設置すること。</p>	
7スファルト舗装復旧		土舗装-2		丸太縁石		コンクリート縁石	
図 示		図 示		図 示		図 示	
 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・路床及び路盤は、ローラーによる転圧を標準とする。</p>		 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・は、ローラーによる転圧を標準とする。 ・表面の締め固め後の厚さを40mm以上とする。 ・プレミックス材は（株）ワビ・ガイ工業の「ス・パ・ガ」同等品以上とし、圧縮強度は20.0N/mm2以上、曲げ強度は3.40N/mm2以上とする。 ・伸縮目地は杉板（1等）厚9mm同等品とし、@5.0mを標準とする。 ・表面打設時の型枠は、その他構造物に影響しなければ残置させる。</p>		 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・木材は大阪府内産スギ・ヒノキとする。 ・木材防腐処理は防腐処理薬剤としてタナリスCY（JIS-K-1570 QJAZ）を使用し、JIS-A-9002による加圧注入処理（JAS注入性能区分：K4）とする。 ・横木長さは4000（鉄杭3本）を標準とし、現場に合わせて配置、施工すること。 ・現地地盤状況に合わせて、鉄杭の長さを調整すること。</p>		 <p>断面図 S=1:10</p> <p>特 記 ・目地モルタルは1:2とし、目地幅は7mmを標準とする。 ・コンクリート基礎部分には、遮音系目地材70mm@10mを標準とする伸縮目地を設ける。</p>	
<div></div>		公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部		縮尺 A1:S=図示, A3:S=図示/2 設計 令和7年 3月	工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事 図面名称 詳細図（11）	No. 66 / 79	

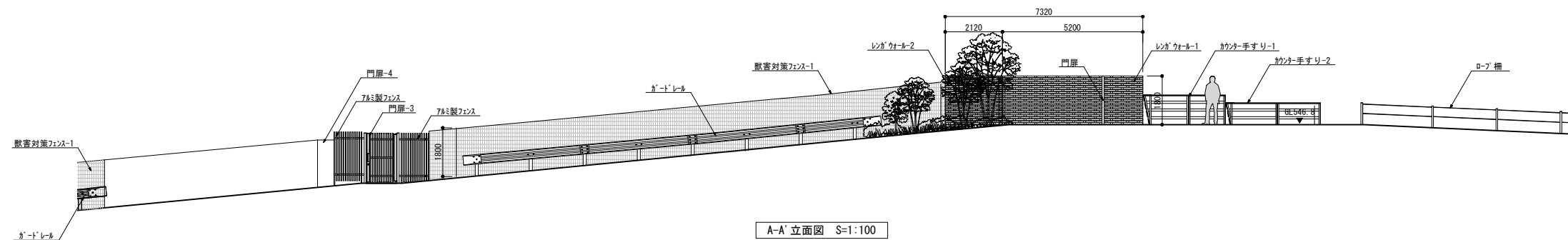


土居木階段		図 示	
<div><p>土木階段 W=1000</p><p>削孔φ15 鉄筋：D16丸傘付打込φ1 L=600 打込み</p><p>横木：角材100×100（角面取り） 防腐剤加圧注入</p><p>削孔φ15 鉄筋：D16丸傘付打込φ1 L=600 打込み</p><p>断面図 S=1:10</p><p>平面図 S=1:10</p><p>特 記</p><ul style="list-style-type: none"><li>・ 本材は大阪府内産材スギ・ヒノキを使用する。</li><li>・ 木材防腐処理はタナリスCY(JIS-K-1570 QUAZ)を使用し、JIS-A-9002による加圧注入処理(JAS注入性能区分：K4)とする。</li><li>・ 蹴上高は150内外、踏面幅は300内外を標準とし、現場に合わせて配置、施工すること。</li><li>・ 現地地面状況に合わせて、鉄板の長さを調整すること。</li></ul></div>			
白線		図 示	
<div><p>白線：溶融式 W150</p><p>コンクリート縁石</p><p>7371t舗装</p><p>7000</p><p>平面図 S=1:30</p></div>			

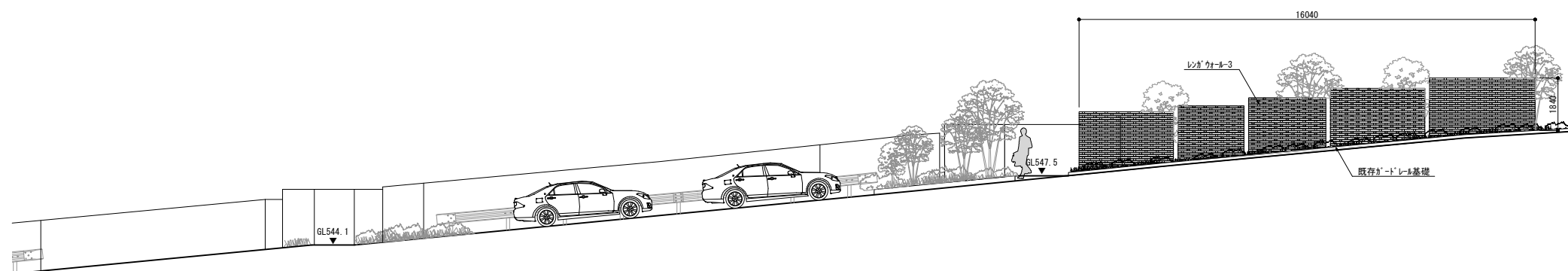
花活け-1	図 示	花活け-2	図 示
			
<p>■花活け用水桶</p> 		<p>■花活け用水桶</p>  <p>■フシカゴ土台</p> 	
		<p>特 記</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本体は、共和n-tyr(株)製「Fushikago」同等品以上とする。</li><li>・溶接金網、スチー、コイルは亜鉛7%合金めっき鉄線とし、めっき付着量:300g/m<sup>2</sup>、7%:10%以上、亜鉛:90%以下とする。</li><li>・水桶固定用のL型アングルは既製品のフシカゴに溶接すること。</li><li>・使用石材について、監督員の承認を得ること。</li></ul>	
		<p>縮尺 A1:S=図示、A3:S=図示/2 設計 令和7年 3月</p>	
		<p>工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事 図面名称 詳細図（13）</p>	
		<p>No. 68 / 79</p>	



平面图 S=1:100



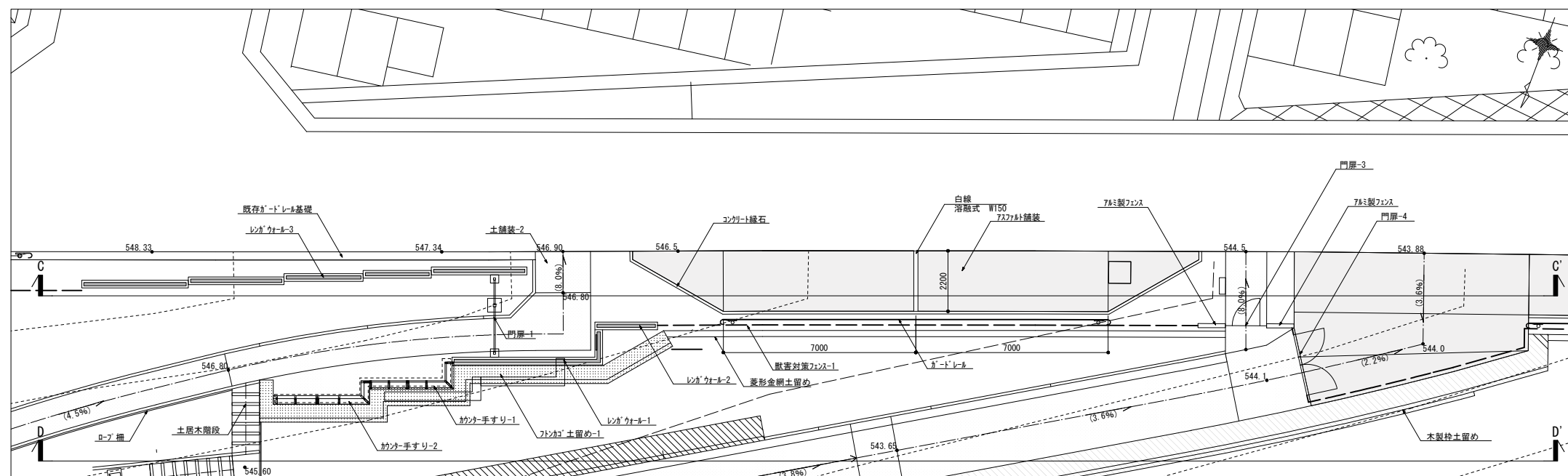
A-A' 立面图 S=1:100



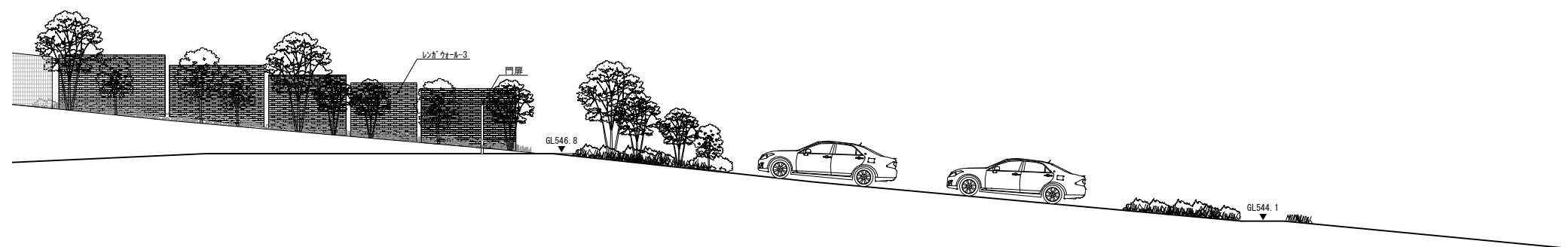
B-B' 立面图 S=1:100

	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部	縮尺 A1:S=図示, A3:S=図示/2	工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事	No. 69 / 79
		設計 令和7年 3月	図面名称 詳細図（14）	

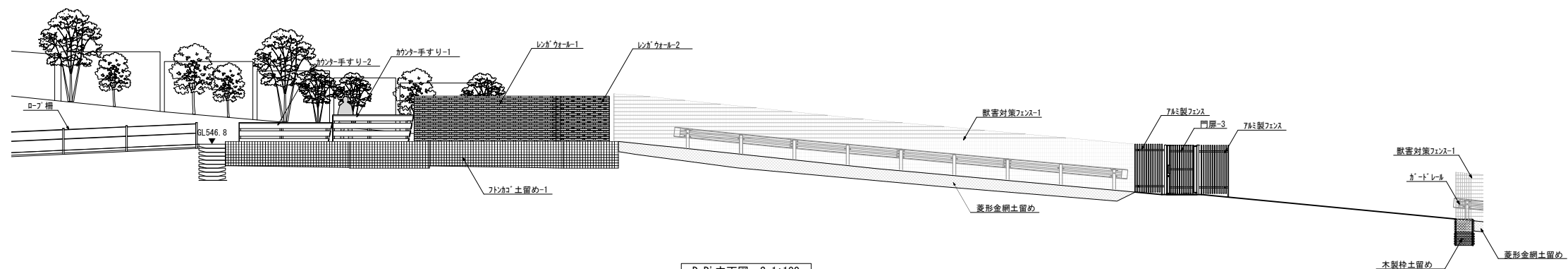




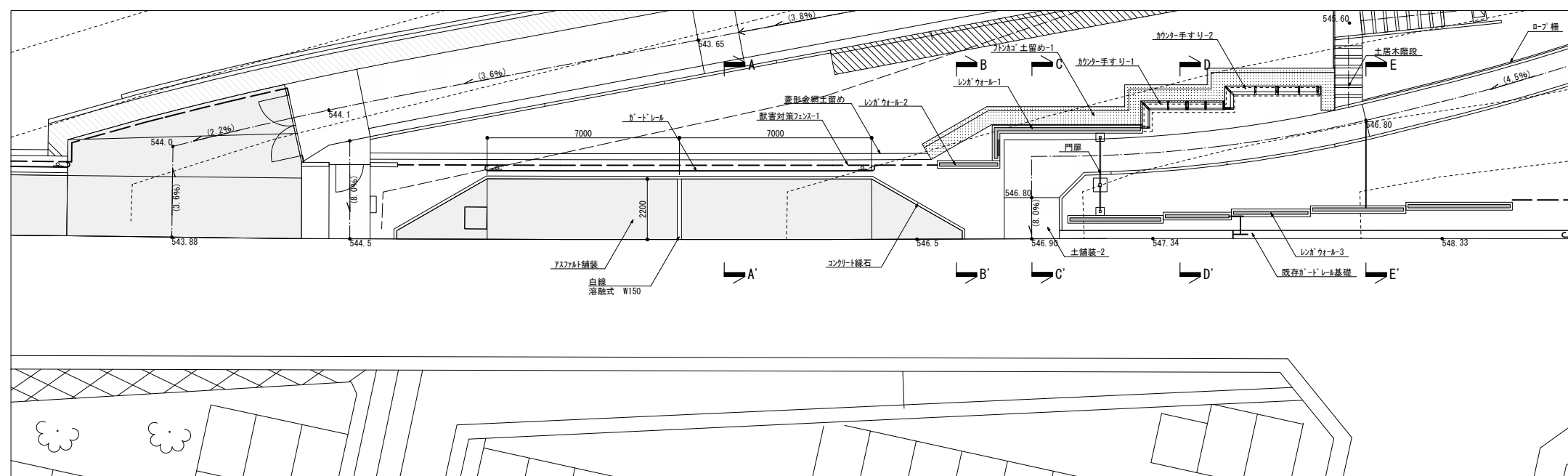
平面图 S=1:100



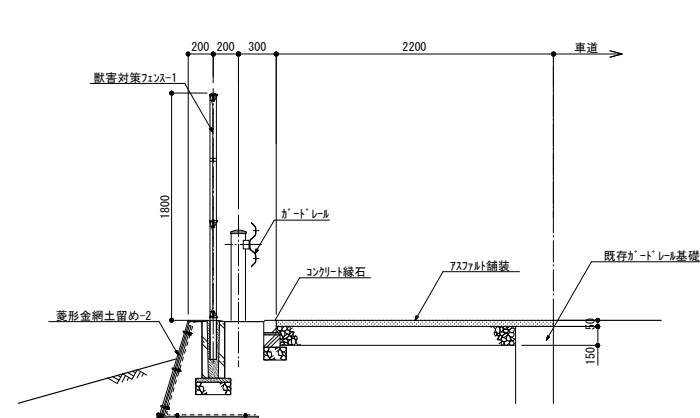
C-C' 立面图 S=1:100



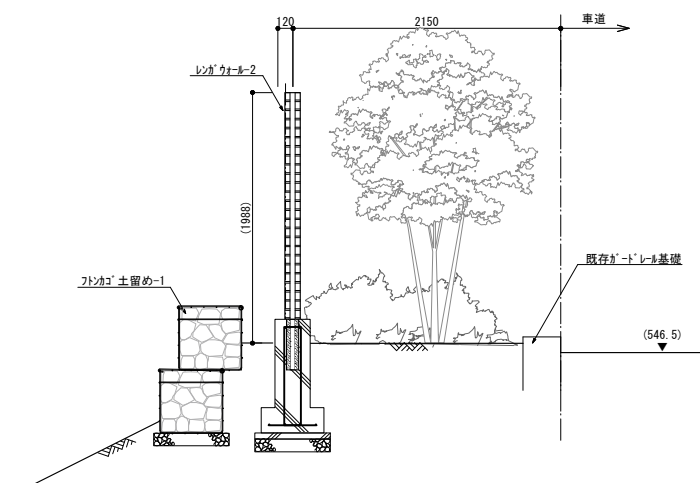
D-D' 立面图 S=1:100



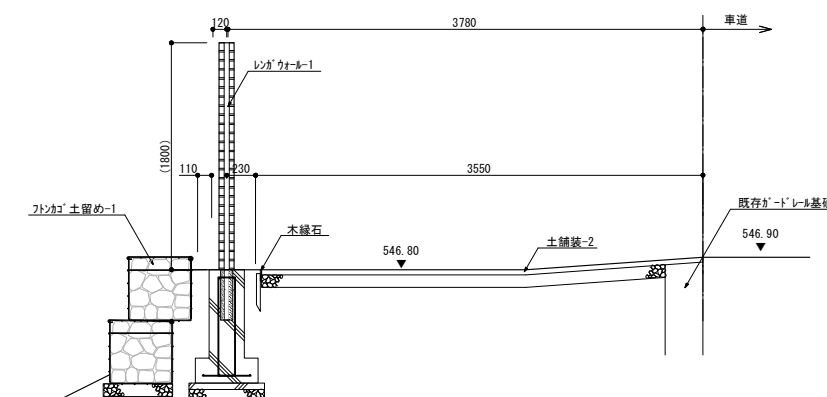
平面图 S=1:100



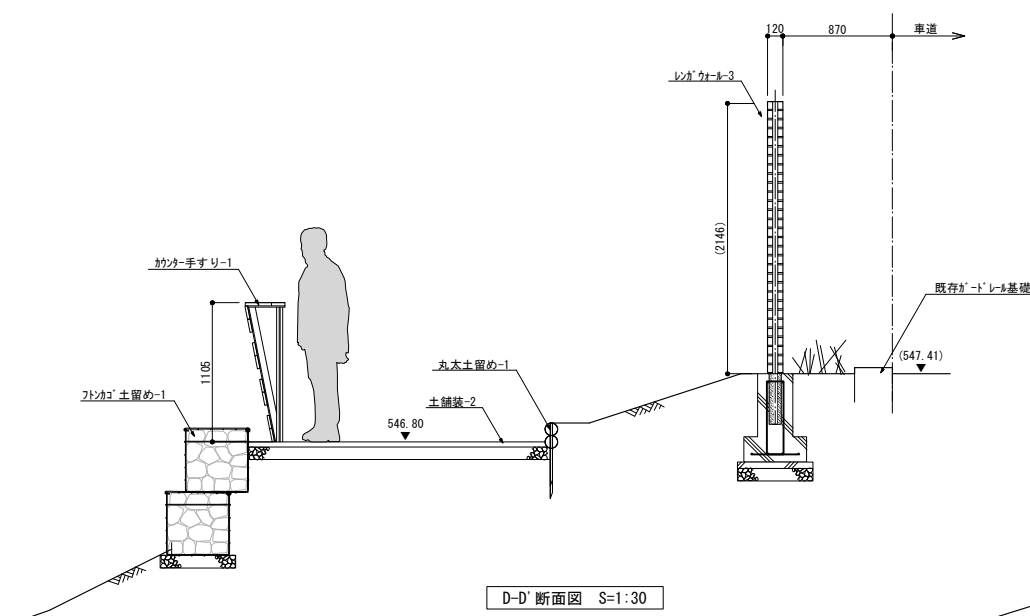
A-A' 断面图 S=1:30



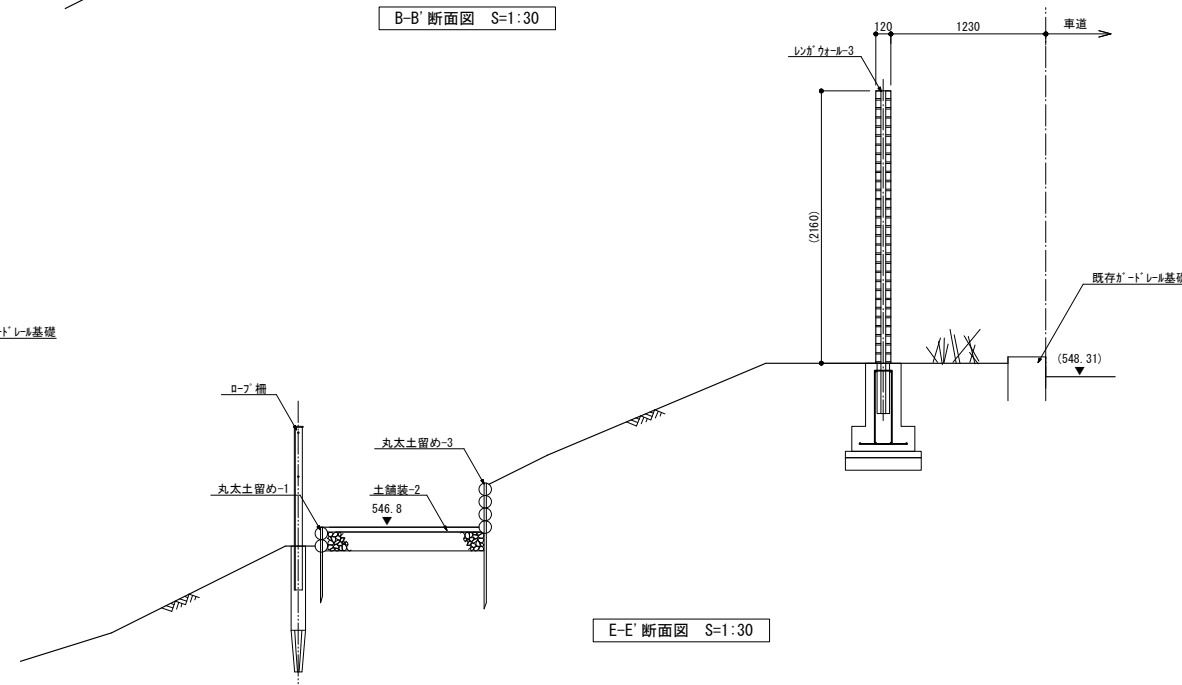
B-B' 断面图 S=1:30



C-C' 断面图 S=1:30

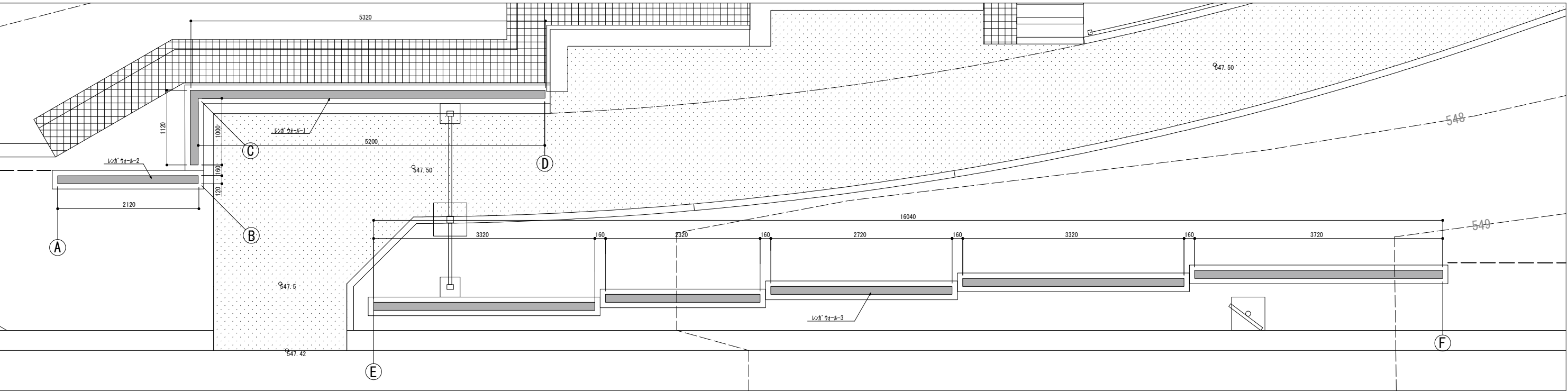


D-D' 断面图 S=1:30

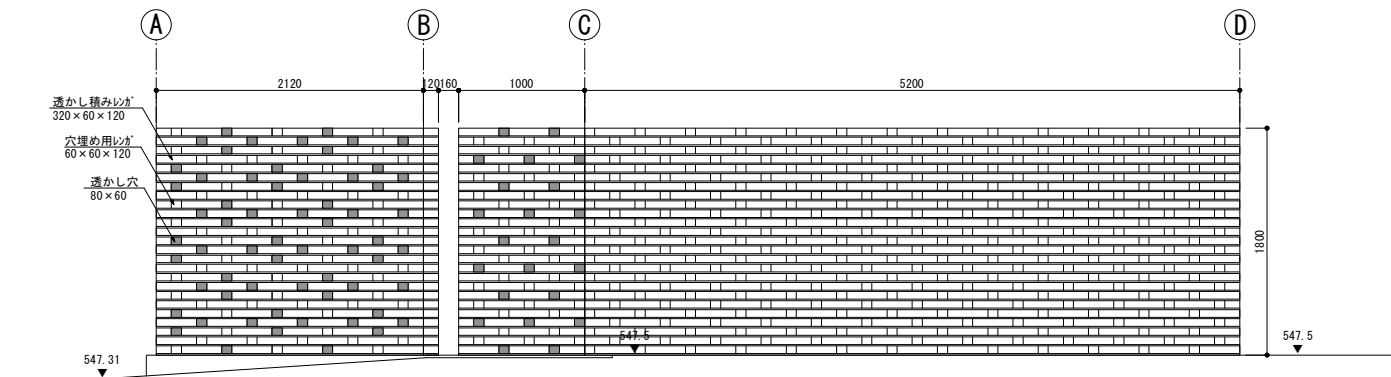


E-E' 断面图 S=1:30

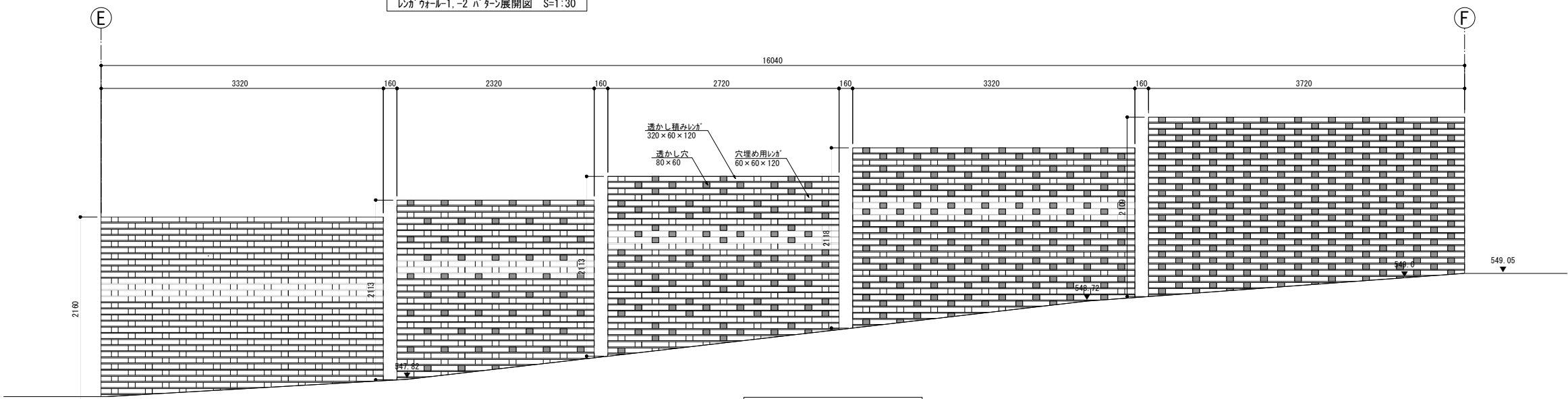
	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部	縮尺 A1:S=図示, A3:S=図示/2	工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事	No. 71 / 79
		設計 令和7年 3月		



レンガウォール配置図 S=1:30

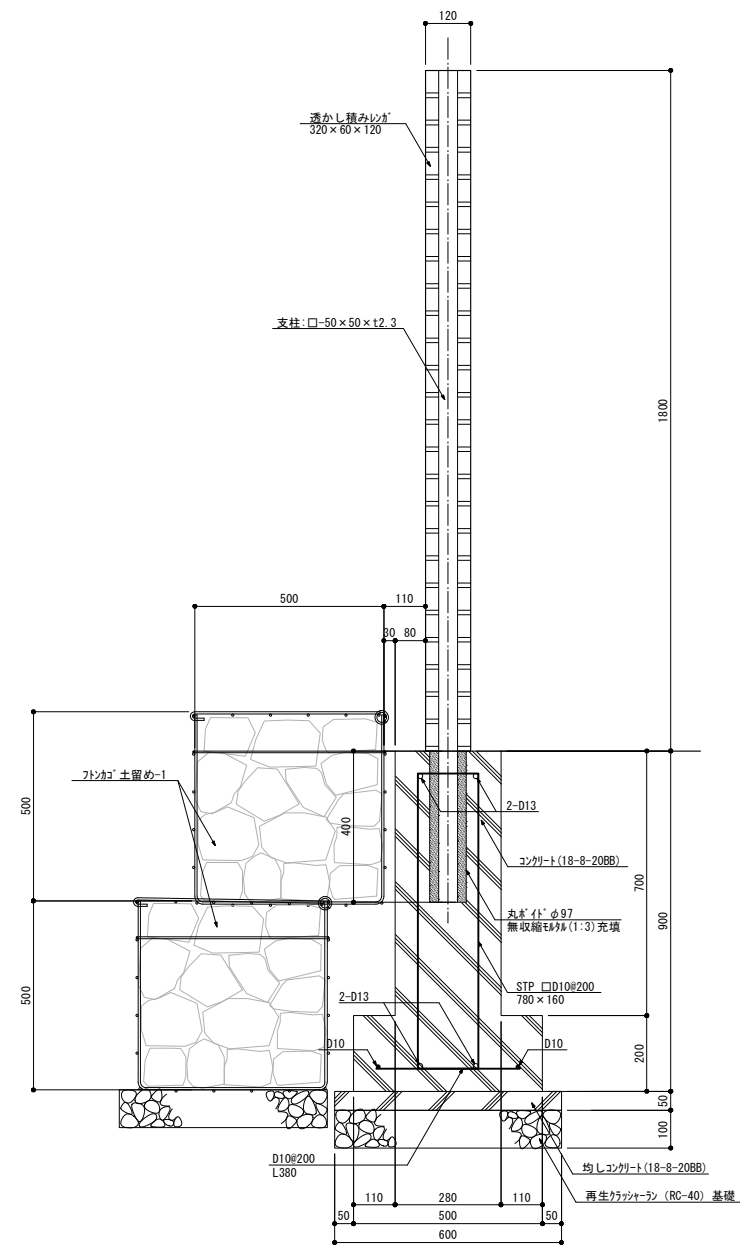


レンガウォール-1、-2 パターン展開図 S=1:30

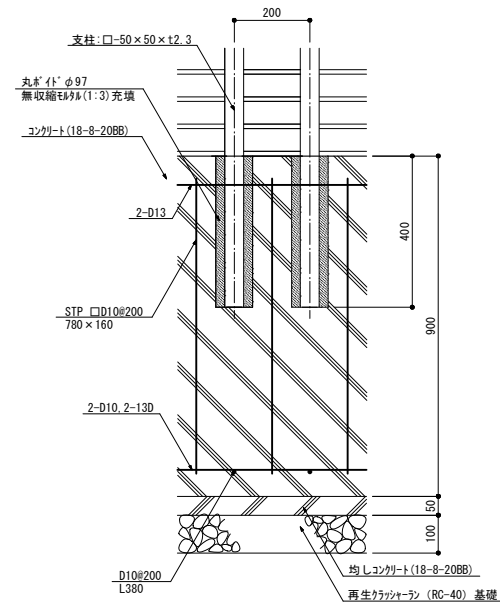


レンガウォール-3パターン展開図 S=1:30

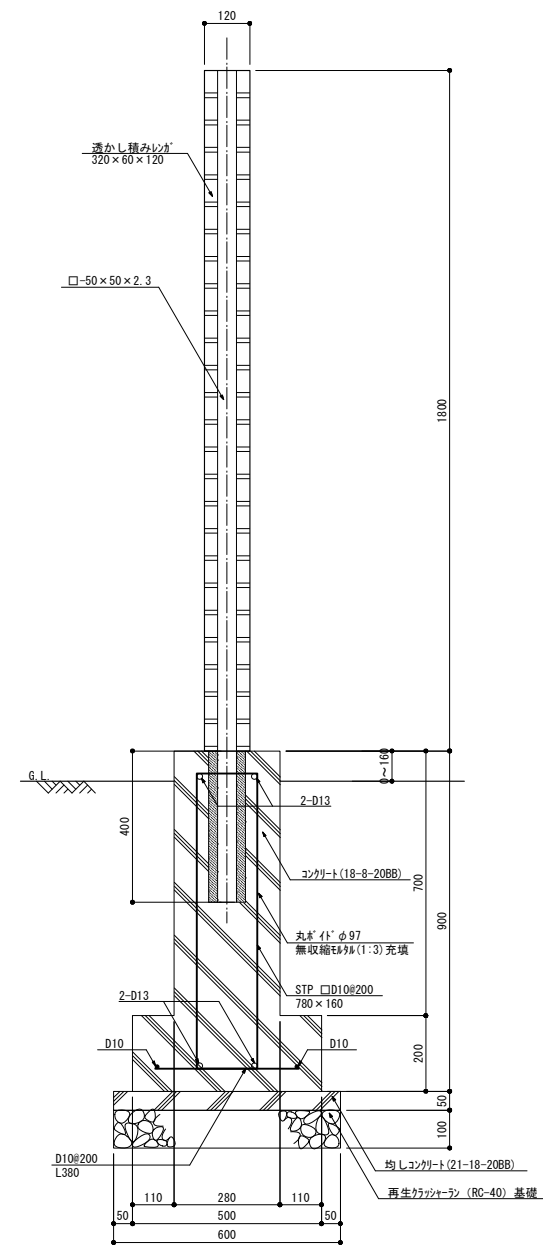




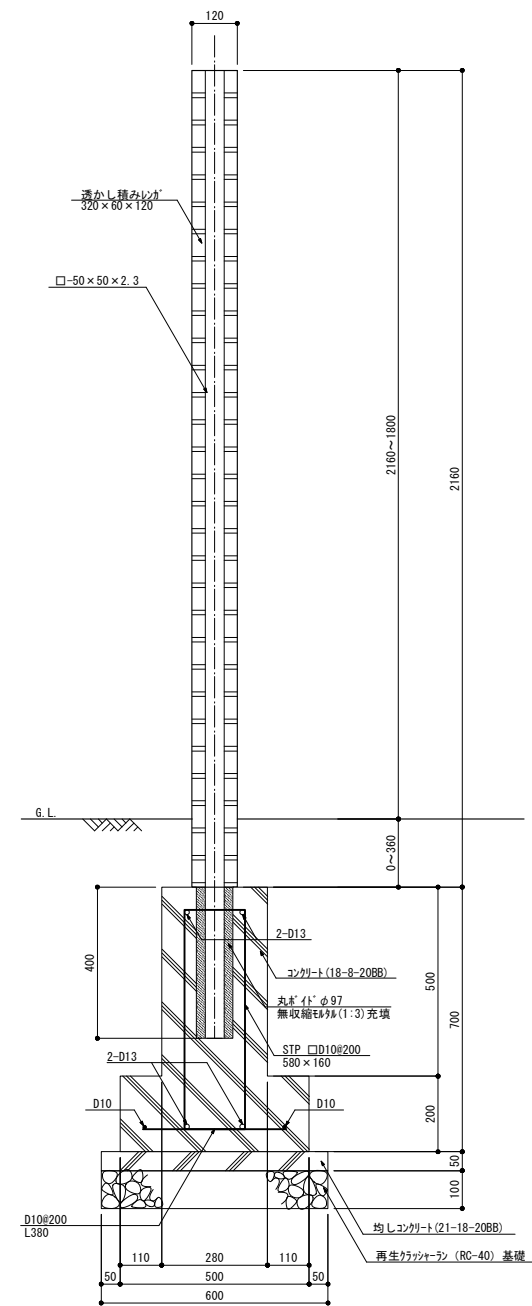
レンガウォール-1 配筋図 S=1:10



レンガウォール-1 配筋図 S=1:10

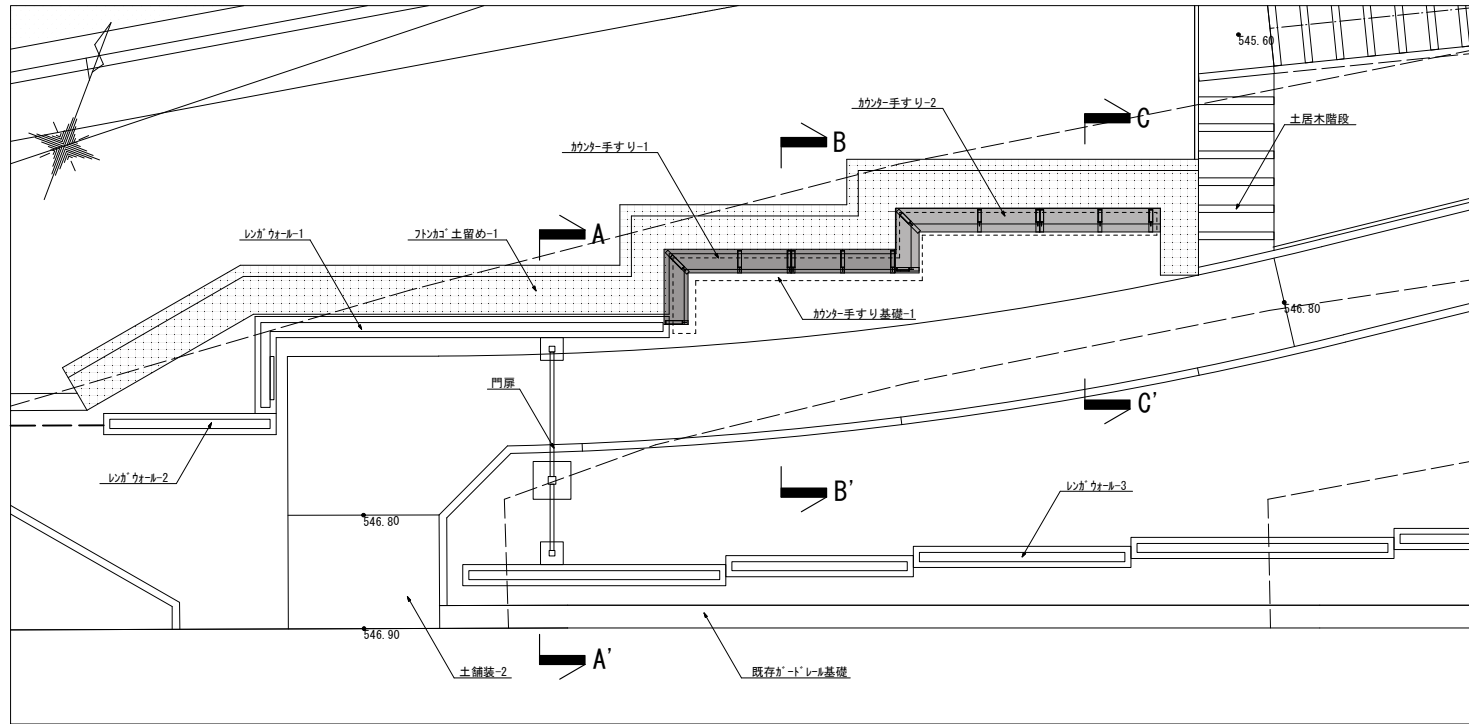


レンガウォール-2 配筋図 S=1:10

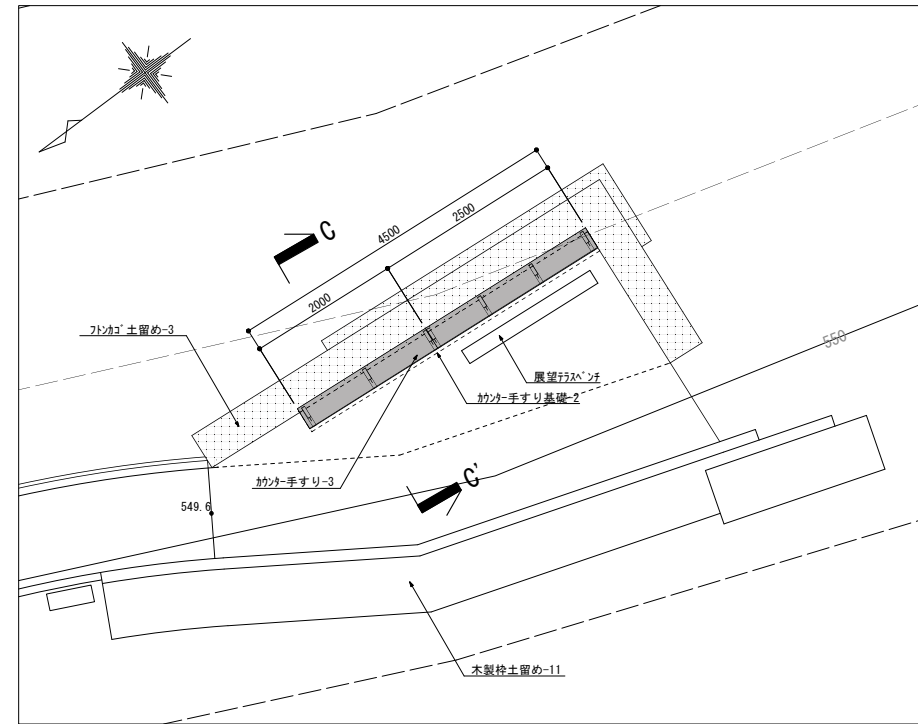


レンガウォール-3 配筋図 S=1:10

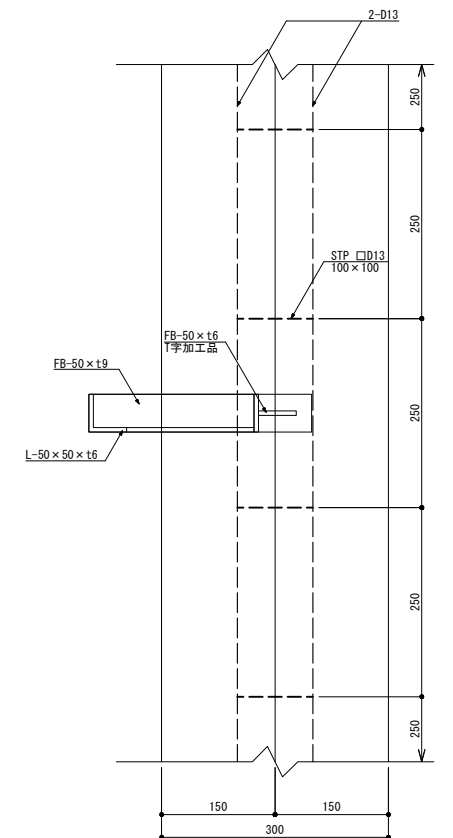
特 記  
・レンガ及び支柱及びは、(株)国代耐火製「レンガ スクリーンfabrix」同等品以上とする。  
・レンガのカラーは、(株)国代耐火の「レンガ スクリーンfabrix」の「FS-BA(白色)」と同じ色にすること。



平面図 S=1:50

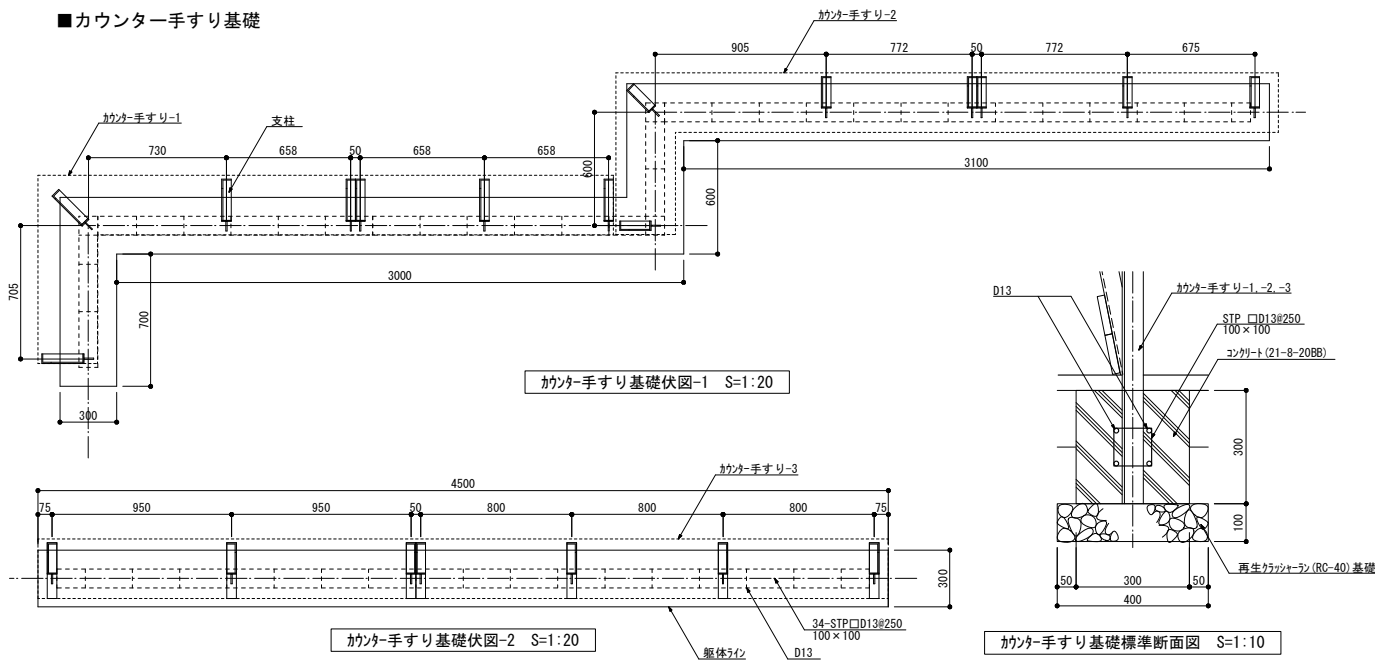


平面図 S=1:50

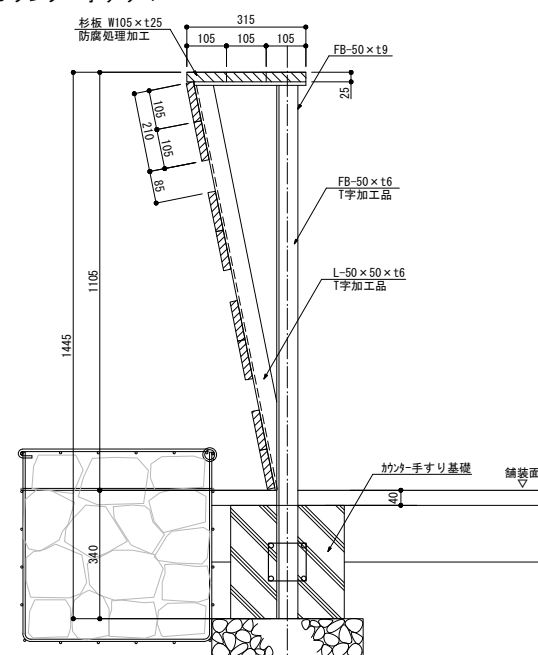
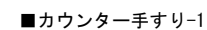


支柱扩大平面图 S=1:5

## ■カウンター手すり基礎

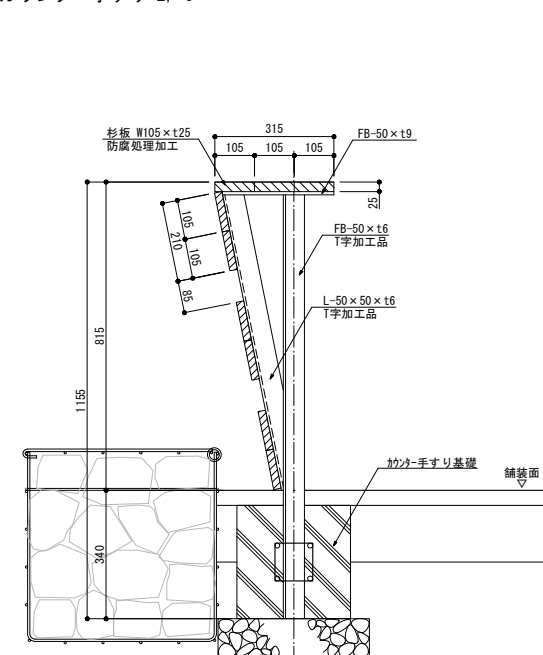


カウンター手すり基礎標準断面図 S=1:10



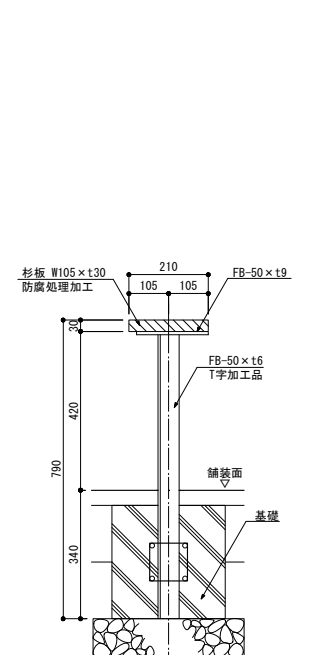
B-B' 断面图 S=1:10

### ■カウンター手すり-2, -3

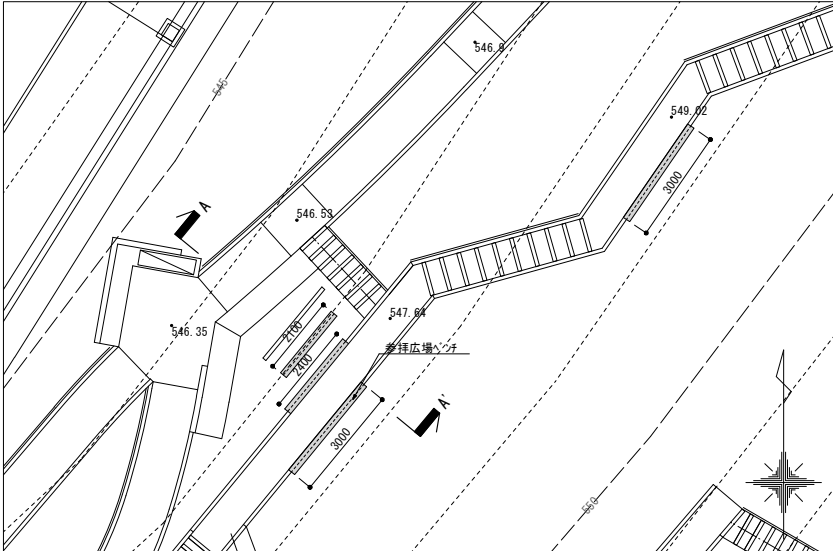
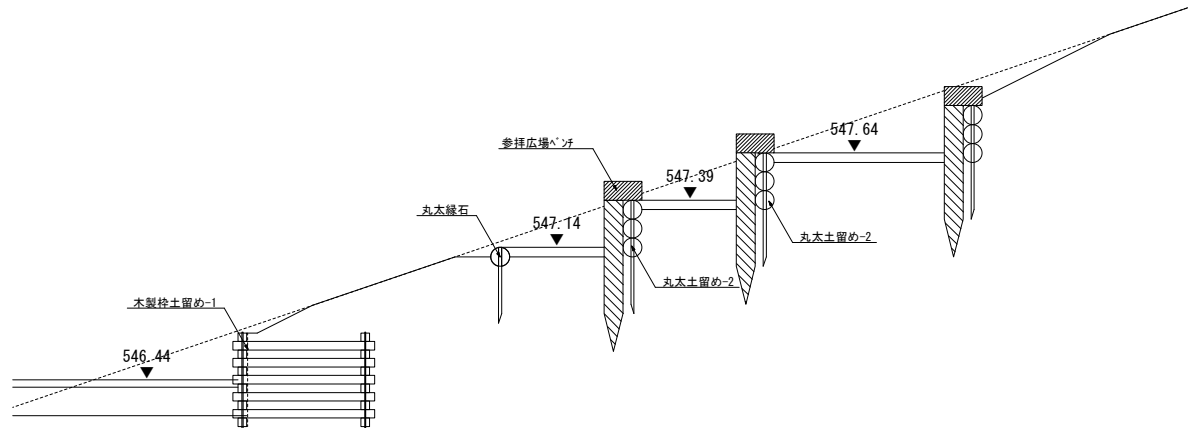
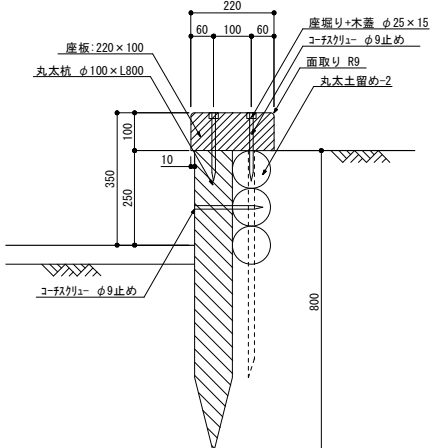
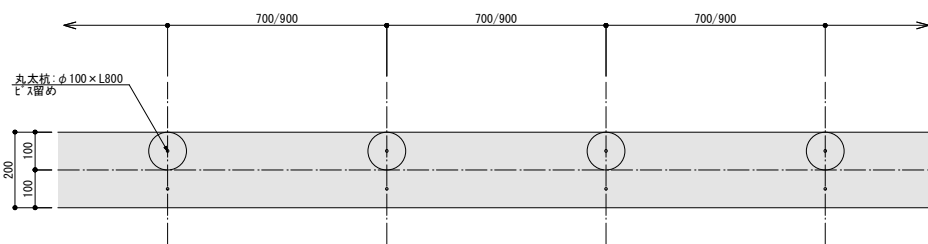


C-C' 断面图 S=1:10

## ■展望テラスベンチ



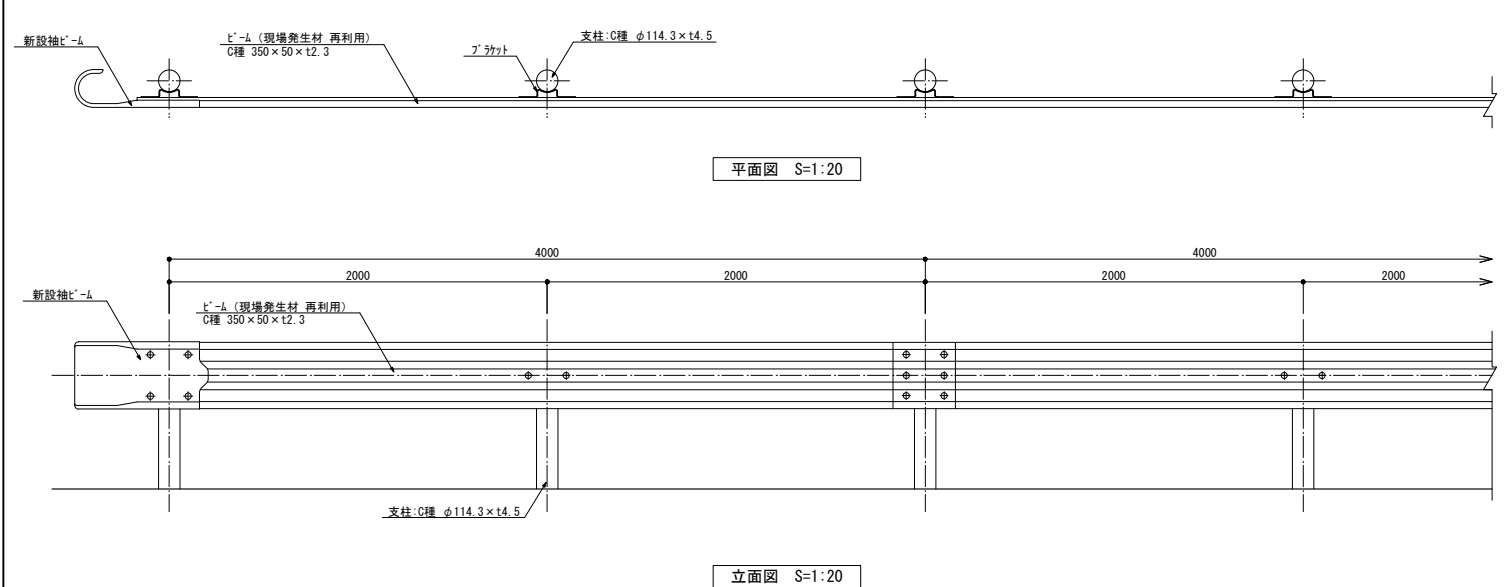
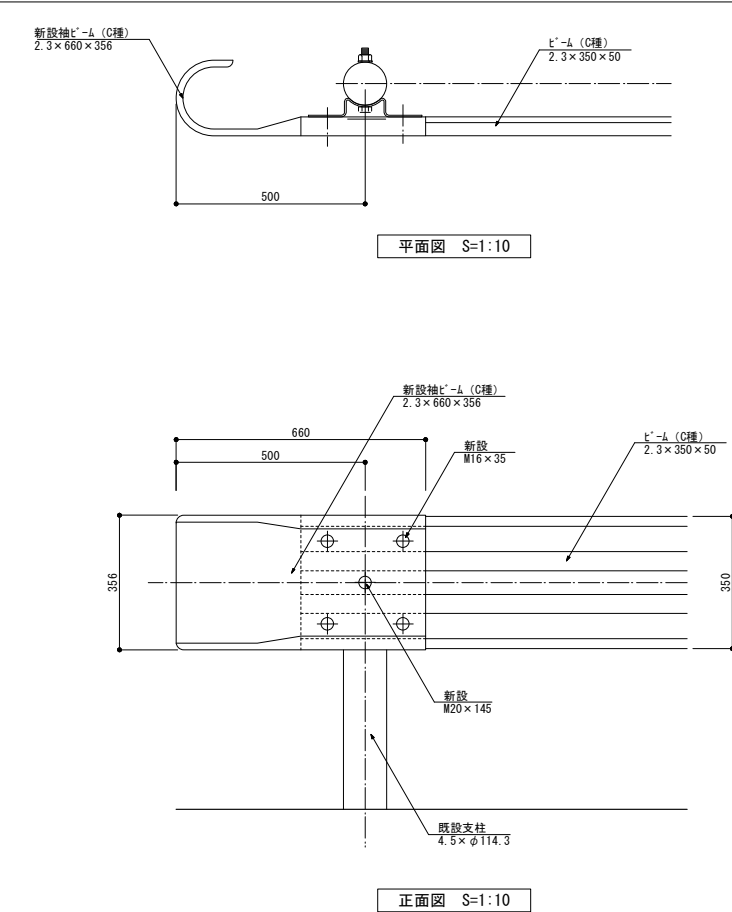
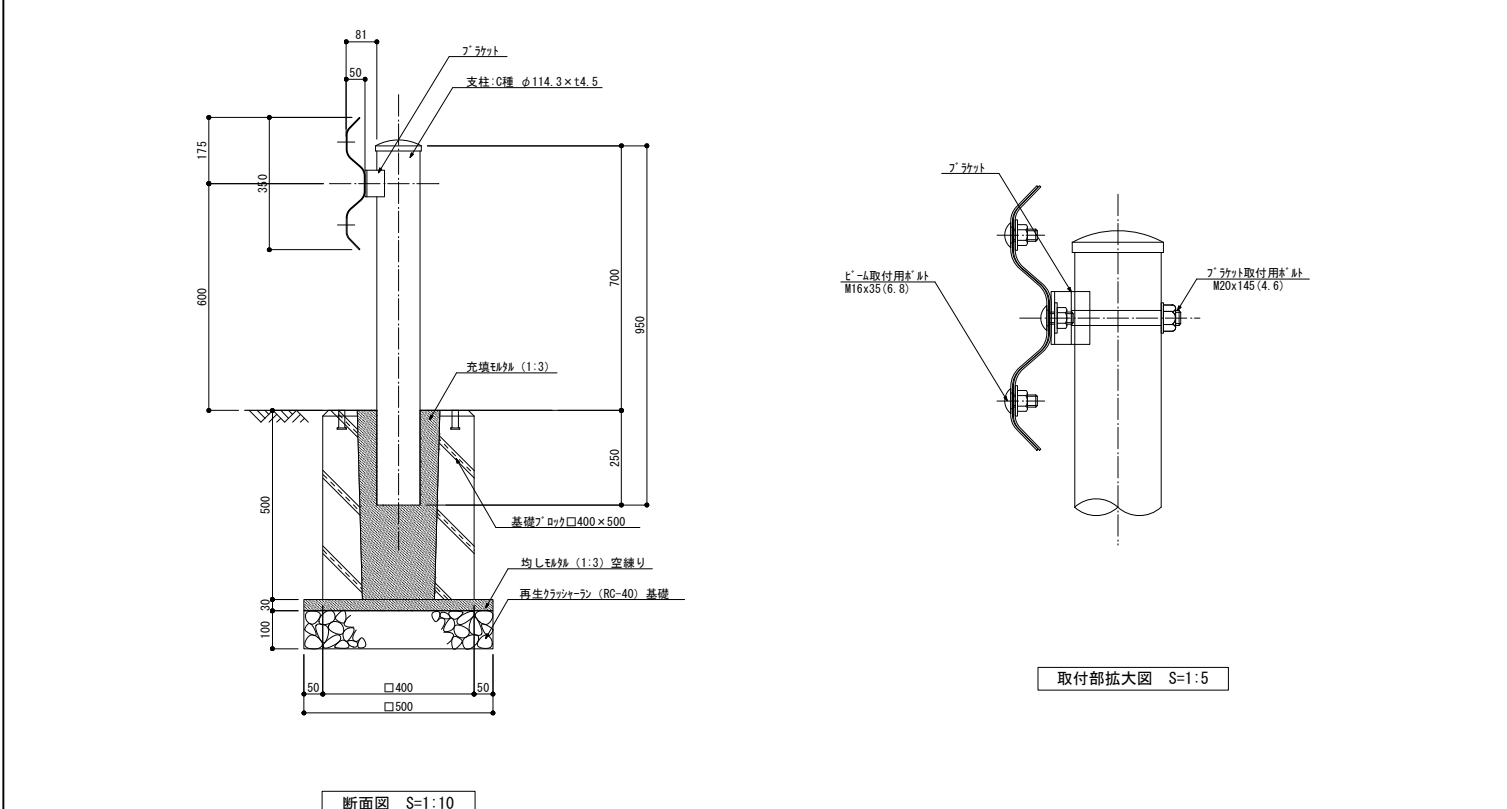
特 記  
・本体は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。  
・木材は、大阪府内産スギとする。  
・木材防腐処理は防腐処理薬剤として、セッコクDPS (JIS-K-1570) を使用し、JIS-A-9002による加圧注入処理 (JAS注入性能区分: K4) とする。

参拝広場ベンチ		図示			
<div><p>配置図 S=1:100</p></div> <div><p>断面図 S=1:20</p></div> <div><p>断面図 S=1:10</p></div> <div><p>平面図 S=1:10</p></div> <div><p>特 記</p><ul style="list-style-type: none"><li>・木材は大阪府内産スギ・ヒノキとする。</li><li>・木材防腐処理は防蟻処理薬剤としてタナリスCY（JIS-K-1570 CUAZ）を使用し、JIS-A-9002による加圧注入処理（JAS注入性能区分：K4）とする。</li></ul></div>					
<div></div> <div></div> <div></div>		公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部	<div>縮尺</div> <div>A1:S=図示, A3:S=図示/2</div> <div>設計</div> <div>令和7年 3月</div>	<div>工事名称</div> <div>大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事</div> <div>図面名称</div> <div>詳細図（20）</div>	<div>No.</div> <div>75 / 79</div>



門扉-1	門扉-2	門扉-3
<div data-bbox="148 168 934 1249"> </div> <div data-bbox="148 1302 934 1879"> <div> <div>■FB加工品</div> <div>部分詳細図 S=1:1</div> </div> <div> <div>■ノブ部</div> <div>平面図 S=1:10</div> <div>断面図 S=1:10</div> </div> <div> <div>■ベースプレート部</div> <div>平面図 S=1:10</div> <div>立面図 S=1:10</div> </div> </div> <div data-bbox="1023 1837 1469 1911"> <p>特 記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体に使用される金物は、溶融亜鉛メッキ仕上とする。</li> <li>・木材は、大阪府内産スギとする。</li> <li>・木材防腐処理は防腐処理薬剤として「シグナDPDS (JIS-K-1570)」を使用し、JIS-A-9002による加圧注入処理 (JAS注入性能区分: K4) とする。</li> <li>・本体は、上屋敷工業 (株) 製同等品以上とする。</li> </ul> </div>	<div data-bbox="1528 157 2166 913"> </div> <div data-bbox="1676 955 2181 997"> <p>特 記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体は、(株) タカショー製「千本格子扉 (90°-ツグ) 片開き」同等品以上とする。</li> </ul> </div>	<div data-bbox="2240 157 2878 913"> </div> <div data-bbox="2389 955 2893 997"> <p>特 記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体は、(株) タカショー製「千本格子扉 (90°-ツグ) 片開き」同等品以上とする。</li> </ul> </div>
門扉-4	門扉-5	
<div data-bbox="1484 1155 2166 1848"> </div> <div data-bbox="1676 1879 2181 1911"> <p>特 記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体は、朝日スチール工業 (株) 製「UN両開き門扉 H1800-50×W3000」同等品以上とする。</li> </ul> </div>	<div data-bbox="2226 1207 2878 1837"> </div> <div data-bbox="2389 1879 2893 1911"> <p>特 記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体は、朝日スチール工業 (株) 製「UN片開き門扉 H1800-50×W1000」同等品以上とする。</li> </ul> </div>	<div> <div>縮尺</div> <div>A1:S=図示, A3:S=図示/2</div> </div> <div> <div>設計</div> <div>令和 7 年 3 月</div> </div> <div> <div>工事名称</div> <div>大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地 (12区エリア) 整備工事</div> </div> <div> <div>図面名称</div> <div>詳細図 (21)</div> </div> <div> <div>No.</div> <div>76 / 79</div> </div>

アルミ製フェンス		図示		獣害対策用フェンス-2		図示	
特 記 ・本体は、（株）タカショー製「干本格子足付ユニット」同等品以上とする。				特 記 ・本体は、日亜鋼業(株)製「フレキシブルフェンス」同等品以上とする。			
獣害対策フェンス-1		図示		ロープ柵		図示	
特 記 ・本体は、朝日Steel工業(株)製「FMD-2」同等品以上とする。 ・支柱及びワイヤネット等は、亜鉛・75ミリの鉛合金鋼板を樹脂コート仕上げとする。 ・傾斜部に施工するため、現場の勾配を確認後その勾配に対応したフェンスを設置すること。				特 記 ・本体は、溶融亜鉛メッキ仕上とする。			
		公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部		縮尺 A1:S=図示、A3:S=図示/2 設計 令和7年 3月		工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事 図面名称 詳細図（22）	
						No. 77 / 79	

ガートレール		図示		ガートレール袖ビーム		図示	
<div><p>平面図 S=1:20</p><p>立面図 S=1:20</p></div>				<div><p>平面図 S=1:10</p><p>正面図 S=1:10</p></div>			
<div><p>断面図 S=1:10</p><p>取付部拡大図 S=1:5</p></div>							
		<div>特 記</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・支柱の形状及び色（景観タイプ（茶色））等は、現地に合わせること。</li><li>・既存ガートレール撤去によって発生したビーム及び取付用ボルトを再利用すること。</li></ul>					
		公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部		縮尺 A1:S=図示、A3:S=図示/2 設計 令和7年 3月		工事名称 大阪北摂霊園 新規樹木葬墓地（12区エリア）整備工事 図面名称 詳細図（23）	
						No. 78 / 79	



